

第七十四回帝國議會 院 昭和十四年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外二件 委員會會議錄(速記)第七回

付託議案 昭和十四年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出) 作業會計法中改正法律案(政府提出) 兌換銀行券整理法中改正法律案(政府提出) 農業再保險特別會計法案(政府提出) 海軍工廠資金會計法中改正法律案(政府提出) 北海道殖産銀行法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和十四年二月八日(水曜日)午前十時十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 板谷 順助君

理事松尾 四郎君 理事宇賀 四郎君

理事松木 弘君 理事森 幸太郎君

駒井 重次君 紫安新九郎君

遠山 房吉君 川崎末五郎君

松田 正一君 深澤 吉平君

金澤 正雄君 宮澤 清作君

田中源三郎君 平野 力三君

坂本宗太郎君 塚本 重藏君

野溝 勝君 道家齊一郎君

青木 作雄君

同日委員加藤鑠造君辭任ニ付其ノ補關トシテ野溝勝君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

商工大臣兼拓務大臣 八田 嘉明君

大藏大臣 石渡莊太郎君

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 松村 光三君

大藏省主計局長 谷口 恒二君

大藏省銀行局長 入間野武雄君

農林政務次官 松村 謙三君

農林省農務局長 小濱 八彌君

農林省蠶絲局長 吉田 清二君

臨時物資調整局次長 竹内 可吉君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十四年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

作業會計法中改正法律案(政府提出)

兌換銀行券整理法中改正法律案(政府提出)

農業再保險特別會計法案(政府提出)

海軍工廠資金會計法中改正法律案(政府提出)

提出)

○板谷委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、此ノ際農林省關係ノ質疑ヲ許シマス——平野

力三君

○平野委員 私ハ農業保險ノ特別會計法案ニ關シマシテ質問ヲ致シタイノデアリマス

ガ、第一點ハ農業保險ノ根本問題ニ關スル農林當局ノ所見ヲ質シテ見タイノデアリマス、是ハ既ニ農業保險法案ガ前議會ニ上程サレマシタ時ニ、相當議論サレタコトデゴザイマスケレドモ、尙ホ農林大臣モ迭ラレタノデアリ、旁、愈、本案ガ實施ト云フコトニナリマスルノデ、此ノ際特ニ所見ヲ質シタイト思フノデアリマスガ、一體農業ヲ救済スルト云フ見地ニ立ツテ見ルト、現在農林省ガ立案シテ愈、著手サレマス所ノ、此ノ農業保險法ト云フモノニ依ツテ、實際農民ガ助カルカドウカト云フ問題デス、固ヨリ助カラスト云フコトハ言ヘナイト思ヒマスケレドモ、極メテ申譯的ナコトニ終ルノデハナイカト云フ吾々ノ見解ナノデアリマス、現ニ上程サレテ居リマスル所ノ豫算ヲ見マ

シテモ、今日年々歳々起ル所ノ我國ノ被害ヲ、政府ハ斯ノ如キ貧弱ナル豫算ヲ以テシテ、果シテ救済出來ルカト云フコトニナリマスルナラバ、恐ラク七十萬圓ヤ八十萬圓ノ金ヲ政府ガ犠牲ヲ拂フド云フダケデ、農業ノ災害ト云フモノヲ救済スルコトハ出來ナイ、ソコデ農林省ニ於テハ、農業保險ト云フガ、是ハ共濟事業ナノダ、斯ウ云フトヲ言ハレルノデアリマスケレドモ、共濟ト云フコト、固ヨリ吾々ハ其ノ思想ニ於テ反對デハナク、宜イコトデアルト思ヒマスケレドモ、今日農業ガ引合ハナイト云フトニ付テ、非常ニ重大ナル理由ガ多クアル時ニ、國家ガ苟モ農業保護ト云フ點ニ立ツナラバ、モウ少シ大膽ニ金ヲ農業保險ノ爲ニ犠牲ヲ拂ツテ、サウシテ農民ヲ助ケルノデアル、農業ヲ救済スルノデアル、所謂農業保護政策ノ見地ニ立ツノデアルト云フ、一ツノ根本的ナ考ニ依ツテ之ヲ運用サレル

ノデナケレバ、私ハ農民ノ期待ニ副フコトハ出來ナイト思フ、斯ウ云フヤウニ感ズルノデアリマスガ、此ノ點ニ對シマシテ一ツ率直ナル御答辯ヲ願フテ置キタイト思ヒマス、

言ハバ一年ニ相當ノ金額ヲ國ガ犠牲ヲ拂フ、金ヲ投出ス、是ダケノ根本觀念ヲ持ツテ行カナケレバナラヌモノデアアル、斯ウ私ハ思フノデス、農林當局カラ言ハセルト、是非非常ニ嫌ハレルコトデアツテ、農民ノ災害ノ爲ニ唯金ヲ漠然ト年々損ヲスルヤウナコトハイケナイノダ、ヤハリ農民ガ金ヲ積合セテ、其ノ共濟ニ依ツテ大體オ互ガ救濟出來ルト云フコトガ理想デアアル、斯ウ考ヘテ居ラルルト思フノデアリマスガ、

念ニナツテ貫ヘナイカドウカ、此ノ一點デアリマス
○松村(議)政府委員 私モ至極其ノ趣旨ニハ同感デアリマス、是マデ凶作等ニ對スル國家ノ施設トシテ、サウ云フ場合ニ色々ノ救濟事業ヲヤツタコトガアリマス、或ハ農業土木デアリマストカ、其ノ他色々ノコトヲヤツタコトモアリマスガ、ソレハ本當ニ被害ヲ受ケタ實害者ガ、實害ノ額ニ應ジテ救濟サレルト云フ譯ニハ行ツテ居リマセ

念ヲ失ハナイヤウニシテ、國カラ言ヘバ之ニ依ツテサウ云フ凶作等ノ被害ヲ救済スルト云フ建前デ行カナケレバナラヌト思ヒマシテ、是非サウ云フコトニ努力致シタイト考ヘテ居リマス

○松村(議)政府委員 只今ノ平野君ノ御質問デアリマスガ、此ノ保險ハ御話ノ通りニ共濟ノ意味ハ勿論含シテ居リマスケレドモ、ヤハリ農業ヲ安定スル意味ニ於キマシテ、農民救濟ノ意味ヲ多分ニ含マネバナラヌコトト思ツテ居リマス、隨テ私共ハ此ノ豫算デ決シテ十分トハ考ヘテ居リマセヌ、又此ノ保險ノ額ニ付キマシテモ、非常ニ僅ナモノデアリマシテ、十分デアルトハ考ヘテ居リマセヌガ、先ヅ是ハ我國ニ於テモ初メテノ試ミデアリマスノデ、先ヅ此ノ邊リカラ出發致シマシテ、色々經驗ヲ積ミマシテカラ、所期ノ目的ニ達スルヤウニ致シタイト

際ニ於テ救濟出來ナイカラ、私ハ農業保險ノ特別會計ト云フヤウナモノヲ作ツテ、一億圓ナラ一億圓ノ金ヲ計上シテ置イテ、ソレダケノモノヲ以テ相當ニ國家ガ犠牲ヲ拂ツテ遺線ヲ付ケルト云フヤウナ觀念ニ出發サレナケレバ、農業保險ト云フモノヲ作ツテヤリマシタ、農業保險ガ日本ニアリマスト云フダケノコトデ、農民カラ言ハセルト、或ル意味ニ於テハ、僅カノ掛金ヲ掛ケルコトスラ厭フト云フヤウナコトニナツテ居ルモノガアルノデハナイカ、斯ウ考ヘルノデアリマス、モウ一回申シマスト、農業保險ト云フモノニ對シテ、國ガ相當ノ金ヲ年々犠牲ヲ拂フ、斯様ナ根本觀

○平野委員 大體御趣意ハ諒承シテ居ルノデスガ、私ガ眞ニ問ハントスル所ハ此處ナノデス、農業保險ヲ共濟ノ觀念デヤツテハ駄目ダ、詰リ農業ニ對スル災害ハ、私カラ

テ矛盾ガアル、言換ヘレバ米一石ト云フモノノ値段ヲ、農民ガ立派ニ勞働賃銀其ノ他ヲ加ヘテ、幾ラノト計算ラシテ之ヲ賣ルト云フコトハ、ドウシテモ米ガ特殊ノ食糧デアアル關係上出來ナイ、一方買ツテ來ル肥料ハ、農林當局ガ如何ニ統制ヲサレ、値段ヲ決メラレテモ、ヤハリ米ノ値段カラ見ルト矛盾ガアル、是ハ今日我國ノ農業ニ於テ最モ遺憾デアアル、之ヲ放ツテ置ケバ、極端ナル議論ヲスル人ハ、我國ノ農業ト云フモノハ段々衰微スル、百姓ハ勞働ヲ厭フヤウニナル、百姓ガ農業ヲ自ラ輕蔑スルヤウニナル、段々都會ニ行ツテシマフ、百姓ヲヤリタクナイヤウニナル、斯ウ云フコトヲ根本的ニ打破シナケレバナラヌト云フ思想カラ行ケバ、農業保險ト云フモノノヤリ方ノ根本觀念ガ、之ニハ國家ガ或ル程度ノ犠牲ヲ

思ウテ居ル譯デアリマス、隨テ是カラ經驗ヲ積ムニ從ヒマシテ漸次御趣旨ニ適フヤウニヤツテ行キタイト思ヒマス、只今ノ著手ト致シマシテハ、此ノ程度デ先ヅ始メテ見タイト考ヘテ居リマス

○平野委員 大體御趣意ハ諒承シテ居ルノデスガ、私ガ眞ニ問ハントスル所ハ此處ナノデス、農業保險ヲ共濟ノ觀念デヤツテハ駄目ダ、詰リ農業ニ對スル災害ハ、私カラ

念ニナツテ貫ヘナイカドウカ、此ノ一點デアリマス
○松村(議)政府委員 私モ至極其ノ趣旨ニハ同感デアリマス、是マデ凶作等ニ對スル國家ノ施設トシテ、サウ云フ場合ニ色々ノ救濟事業ヲヤツタコトガアリマス、或ハ農業土木デアリマストカ、其ノ他色々ノコトヲヤツタコトモアリマスガ、ソレハ本當ニ被害ヲ受ケタ實害者ガ、實害ノ額ニ應ジテ救濟サレルト云フ譯ニハ行ツテ居リマセ

念ヲ失ハナイヤウニシテ、國カラ言ヘバ之ニ依ツテサウ云フ凶作等ノ被害ヲ救済スルト云フ建前デ行カナケレバナラヌト思ヒマシテ、是非サウ云フコトニ努力致シタイト考ヘテ居リマス

○平野委員 大體御趣意ハ諒承シテ居ルノデスガ、私ガ眞ニ問ハントスル所ハ此處ナノデス、農業保險ヲ共濟ノ觀念デヤツテハ駄目ダ、詰リ農業ニ對スル災害ハ、私カラ

際ニ於テ救濟出來ナイカラ、私ハ農業保險ノ特別會計ト云フヤウナモノヲ作ツテ、一億圓ナラ一億圓ノ金ヲ計上シテ置イテ、ソレダケノモノヲ以テ相當ニ國家ガ犠牲ヲ拂ツテ遺線ヲ付ケルト云フヤウナ觀念ニ出發サレナケレバ、農業保險ト云フモノヲ作ツテヤリマシタ、農業保險ガ日本ニアリマスト云フダケノコトデ、農民カラ言ハセルト、或ル意味ニ於テハ、僅カノ掛金ヲ掛ケルコトスラ厭フト云フヤウナコトニナツテ居ルモノガアルノデハナイカ、斯ウ考ヘルノデアリマス、モウ一回申シマスト、農業保險ト云フモノニ對シテ、國ガ相當ノ金ヲ年々犠牲ヲ拂フ、斯様ナ根本觀

○平野委員 大體御趣意ハ諒承シテ居ルノデスガ、私ガ眞ニ問ハントスル所ハ此處ナノデス、農業保險ヲ共濟ノ觀念デヤツテハ駄目ダ、詰リ農業ニ對スル災害ハ、私カラ

念ヲ失ハナイヤウニシテ、國カラ言ヘバ之ニ依ツテサウ云フ凶作等ノ被害ヲ救済スルト云フ建前デ行カナケレバナラヌト思ヒマシテ、是非サウ云フコトニ努力致シタイト考ヘテ居リマス

○平野委員 大體御趣意ハ諒承シテ居ルノデスガ、私ガ眞ニ問ハントスル所ハ此處ナノデス、農業保險ヲ共濟ノ觀念デヤツテハ駄目ダ、詰リ農業ニ對スル災害ハ、私カラ

際ニ於テ救濟出來ナイカラ、私ハ農業保險ノ特別會計ト云フヤウナモノヲ作ツテ、一億圓ナラ一億圓ノ金ヲ計上シテ置イテ、ソレダケノモノヲ以テ相當ニ國家ガ犠牲ヲ拂ツテ遺線ヲ付ケルト云フヤウナ觀念ニ出發サレナケレバ、農業保險ト云フモノヲ作ツテヤリマシタ、農業保險ガ日本ニアリマスト云フダケノコトデ、農民カラ言ハセルト、或ル意味ニ於テハ、僅カノ掛金ヲ掛ケルコトスラ厭フト云フヤウナコトニナツテ居ルモノガアルノデハナイカ、斯ウ考ヘルノデアリマス、モウ一回申シマスト、農業保險ト云フモノニ對シテ、國ガ相當ノ金ヲ年々犠牲ヲ拂フ、斯様ナ根本觀

○平野委員 大體御趣意ハ諒承シテ居ルノデスガ、私ガ眞ニ問ハントスル所ハ此處ナノデス、農業保險ヲ共濟ノ觀念デヤツテハ駄目ダ、詰リ農業ニ對スル災害ハ、私カラ

念ヲ失ハナイヤウニシテ、國カラ言ヘバ之ニ依ツテサウ云フ凶作等ノ被害ヲ救済スルト云フ建前デ行カナケレバナラヌト思ヒマシテ、是非サウ云フコトニ努力致シタイト考ヘテ居リマス

拂フコトヲ覺悟スルノダ、此ノ建前ヲ執ラ
ナケレバ、私ハ正シイモノデヤナイト考ヘ
マスノデ、特ニ此ノ點ハ政務次官カラ、農
林大臣ニモ能ク斯ウ云フ點ニ付テ吾々ニ意
見ガアルト云フコトヲ、御傳ヘテ願ヒタイ
ト云フコトヲ、希望トシテ申上ゲテ置キマ
ス、次ニ御伺致シタイノハ、此處ニ戴キマ
シタ參考資料ニ依リマスルト、昭和十四年
ニ百八十九ノ農業保險組合ヲ作ルト云フコ
トニナツテ居リマスガ、此ノ比率デ行ケバ、
十年掛ツテ千八百九十デ、全國ノ市町村ニ
行フノニハ百年近クモ掛ルト云フ計算ニナ
ルノデアリマス、マサカサウ云フ緩慢タル
コトヲ爲サラウトハ存ジマセヌガ、一體是
ハドノ位ノ比率デ、何年間位ニ完璧ナル農
業保險組合ヲ全町村ニ作ラレルノカ、數字
的ナ御考ヲ一ツ聽イテ置キタイノデアリマ
ス

○小濱政府委員 施行ト同時ニ十四年ニ設
立致シタイト計畫致シテ居リマスノハ百四
十一デアリマス、ソレカラ次ノ年度ニハ四
十七、其ノ次ガ二十七ト云フ風ニ進ンデ行
キマシテ、差當ツテ五箇年位ノ計畫ヲ持ツ
テ居リマス、ソレデ一組合ハ郡ヲ單位トシ
テ考ヘテ居リマス、大體一郡ヲ單位トシテ
一ツノ組合ガ出來ルト云フ風ニ考ヘテ居ル

ノデアリマシテ、町村單位デハナイノデゴ
ザイマス

○平野委員 昨年本案ガ通りマシテカラ、
今年マデ一年間ニ實施ノ準備ヲサレタコト
ニナツテ居リマスガ、其ノ一年間ニドウ云
フ風ヲ準備ヲ爲サツタノデアアルカ、其ノ内
容ヲ少シ承リタイ

○小濱政府委員 十四年カラ實施致シマス
ル場合ニ於キマシテハ、四月ノ初メニ直グ
農業保險ガ開始出來ルヤウニ、ソレデソレ
マデノ間ニ組合ガ實質的ニハ大體出來上ツ
テ、仕事ガ始メ得ルヤウナ状態ニ準備ヲ進
メタイト思ツテ、準備ヲ進メテ參リマシタ、
法案ガ公布ニナリマシテ以來、先ヅ農業保
險ノ趣旨ヲ十分ニ徹底セシムル必要ガゴザ
イマスルノデ、而シテ是ハ所ニ依リマシテ
ハ養蠶實行組合モ參加致シマスルケレドモ
主トシテ農會系統デ實行ヲ致シテ參ラナケ
レバナラヌト考ヘテ居リマスノデ、道府縣
農會長會議、或ハ道府縣農會ノ主任技術者
ノ協議會等ヲ數回ニ互ツテ開キマシテ、先
ヅ其ノ人達ニ對シテ農業保險ノ趣旨ヲ十分
ニ徹底セシムルコトニ努メマシタ、ソレカ
ラ各道府縣ニ互リマシテ郡市町村農會長、
市町村長、ソレカラ養蠶關係者等ノ會合ヲ
各府縣毎ニ催シマシテ、サウシテ農業保險

ノ趣旨ヲ更ニ徹底ヲ圖ツタノデアリマス、
更ニ其ノ次ニハ、縣内ニ於テ農業保險組合
ガ設立サレルダラウト云フ豫定ノ郡ヲ先ヅ
決メマシテ、其ノ郡ニ又協議會ヲ開キマシ
テ、市町村農會長、部落組合長、其ノ他多
數ノ人ニ集ツテ戴キマシテ、農業保險ノ趣
旨ヲ十分ニ徹底セシムルコトニ努メタノデ
ゴザイマス、更ニ本年度内ニ於キマシテ、
四月一日カラ直グニ出來上リマスル爲ニハ、
團體ヲ直グ動かシテ行クノニ事實上ノ準備
ヲシナクテハナリマセヌノデ、農業保險團
體ノ中心トナツテ動キマスル人ヲ置キマシ
テ、サウ云フ人達ニ準備ヲ進メテ貫ハナケ
レバナラヌ、其ノ實施セントスル郡ニ於ケ
ル危險率ノ算定、色々ナコトヲヤラナケレ
バナリマセヌ、ソレデ斯ウ云フヤウナ實務
ニ携ハル人ニ對シマシテ、實際ノヤリ方ニ
付テノ講習ヲヤラナケレバナリマセヌノ
デ、其ノ點ニ付テハ目下分ケテ致シマシ
テ、サウ云フ實務ニ携ハル人ニ對スル色々
ナ講習ヲ進メテ居ルヤウナ次第デアリマス

○平野委員 次ニ承リタイノハ、此ノ前農
業保險法案ガ通りマス時ニ、稻熱病ト云フ
モノハ一體防ゲルカ防ゲナイカト云フコト
ガ、大變議論ニナリマシタ、是ハ私共ハ技
術ガ能ク分ラナイノデ、相當ニ興味ヲ以テ

當局ノ話ヲ聞イタノデアリマスルガ、長野
長廣氏ノ意見ニ依リマス、稻熱病ハ絕對
ニ防ゲナイノダ、其ノ防ゲナイコトニ付テ
ハ、相當ナル一ツノ過去ノ實驗ヲ以テ論ゼ
ラレタ、而シテ其ノ實驗ト云フモノハ、吾々
ガ聞イテ居リマシテモ相當ニ肯綮ニ值スル
モノデアツテ、恐ラク事實ハ防ゲナイモノ
デヤナカラウカ、斯ウ云フヤウニ吾々モ感
ズルニ至ツタ程ノ議論デアリマシテ

〔委員長退席、宇賀委員長代理著席〕
之ニ對シテハ相當ニ農林當局モ防ゲルノ
デアルト云フ、相當ナル知識ヲ傾ケテ討論
ガアツタコトハ言フマデモナイノデアリマ
ス、所ガ圖ラズモ、今年ノ稻ヲ見マスルト、
全國ヲ通ジマシテ未會有ノ稻熱病ガ蔓延シ
タヤウニ思フノデアリマス、是ハ統計ヲマ
ダ手ニ入レテ居リマセヌケレドモ、私ノ信
ズル所ハ非常ナモノデハナカラウカ、而シ
テ其ノ稻熱病ガ實際ニ於テハ防ゲナカツ
タ、其ノ防ゲナカツタ理由ニ付テハ、私ハ
其ノ噴霧器ガ足ラナカツタト云フヤウナコ
トモアルト思フノデアリマスルガ、事實ニ
於テ當局ガ稻熱病ハ防ゲルノダ、防ゲルノ
ダト言ツテ、議會ニ於テ非常ニ答辯ヲシタ
ニ拘ラズ、其ノ年ノ稻熱病ト云フモノガ、
現實ニ於テ防ゲナカツタ、斯ウ云フ事實ニ

第六類第一號 昭和十四年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外二件委員會議錄 第七回 昭和十四年二月八日

三

付テ農林當局ハ如何ナル感想ヲ持タルルカ、又之ニ對シテ如何ナル考ヲ今後持ツテ行カレルカト云フコトニ付テ、一ツ責任アル答辯ヲ得テ置キタイノデアリマス

○小濱政府委員 昨年御議論ノゴザイマシタ點ハ、農業保險ノ中ノ保險スベキ災害ノ種類ノ中ニ、稻熱病ヲ採入レタラドウカト云フ御議論デアツタと思フノデアリマス、

是ハ御承知ノ通りニ道德的危險ヲ多分ニ包含シテ居ルモノナノデゴザイマス、ソレデ稻熱病等ニ付キマシテハ、其ノ發生ノ初期ニ於キマシテ相當ノ手當ヲ致シマスル場合

ニ於キマシテハ、是ノ防除ヲヤリ得ル性質ノモノデアアル、現ニ北海道ニ於キマシテハ、稻熱病ノ防除ニ付キマシテ、

藥劑ノ撒布ヲ廣ク行ツテ、其ノ習慣ガ可ナリ行渡ツテ居リマスルガ爲ニ、稻熱病ヲ相當ニ防除致シテ居ル譯デアリマス、

隨ヒマシテ稻熱病ニ依ツテ收穫ガ減少致シマシタ場合ニ、之ヲ保險ヲスルト云フ形ニ

致シテ置キマスル場合ニ於キマシテ、其ノ際發生ノ初期ニ早ク手當ヲ致シマスレバ防

ギ得タモノヲ、手當ヲ怠ルト云フ風ナ道德的危險ヲ多分ニ加味シマスモノデゴザイマ

スルカラ、外ノ保險セントスル所ノ災害トハ其ノ趣ヲ異ニ致シマスノデ、ソレデ稻熱

病ヲ保險スベキ災害ノ種類ノ中ニ入レナカッタ、斯ウ云フコトデアラウト考ヘマス、ソレデ稻熱病ガ出タラ全部是ハ防ゲルカ、

是ハ災害ノ初期ニ早ク手當ヲ致シマスル場合ニ於キマシテ相當ニ防ギ得ルノダ、斯ウ

云フ御話デアツタト考ヘテ居リマス、然ルニ本年度ニ於テ稻熱病ノ災害ガ非常ニ多ク

發生シテ居ルデヤナイカ、之ニ付テ防ギ得ナカツタデヤナイカト云フ御議論ト承リマ

スルガ、本年ニ於キマシテハ天候ノ急激ナル變化等ニ依リマシテ、稻熱病ガ各地ニ於

テ非常ニ多ク發生致シマシタ、稻熱病ノ防除等ニ付キマシテ、農家ガ藥劑ヲ撒布シテ

之ヲ防除スルト云フ習慣ガ廣ク行ハレテ居リマセスガ爲ニ、氣候ノ激變等ニ因リマシ

テ、稻熱病ガ昨年ハ非常ニ多ク各地ニ發生ラシタノデアリマス、是ハ早ク手當ヲシタ

ケレドモ、併シ防ギ得ナカツタト云フノデ

ラナガツタ爲ニ蔓延シタノデハナイダラウカト云フ御話ノヤウニ承リマシタガ、稻熱

病ノ發生ノ徵候ヲ認メマシタ場合ニ、噴霧器ニ依ツテ藥劑ヲ撒布スル必要ガゴザイマ

スルノデ、其ノ噴霧器ガ十分ニ行渡ラナイト云フコトデアハ困ルト云フノデ、當局ト

致シマシテモ其ノ手配ヲ早クカラ著手ハ致シマシタ、ソレデ毎月一日ト十五日ニ噴霧

器ノ製作者ノ所デ、手持ノモノハ何臺デア

ルカ、ソレカラ十五日間ニドレ位ノ製造ノ見込カト云フ風ナコトモ調査致シマシテ、

ソレニ必要ナル材料ニ付キマシテハ、商工省ト交渉ヲ致シマシテ、ソレダケノモノハ

早ク材料ヲ廻シテ貰フヤウニト云フコト

ノ交渉ヲ致シテ居リマシタヤウナ譯デアリ

マシテ、又所ニ依リマシテハ、或ル地方ニ昨年稻熱病ガ相當發生シタノデ、噴霧器ハ相

當ニ農家ノ手許ニアル、所ガ今度ハ外ノ郡ニ發生シタ、其ノ時ハ其ノ縣内デ噴霧器ノ

融通ヲスルヤウニ斡旋ヲ致シタヤウナ所モゴザイマス

(宇賀委員長代理退席、委員長著席)

○平野委員 政治ハ言フマデモナク議論デ

ハナイノデ、實際ニソレガドウナルカト云フコトデアアル、當局ハ稻熱病ハ防ゲルノ

ト言ツテ、アレ程三日モ費シテ議論シテ置

イテ、實際問題トシテ稻熱病ガ防ギ得ナカ

ツタト云フコトニ付テハ、私ハ相當責任ガ

アルト思フ、ソレハ確ニ農業保險ハ道德的

ナ意味ガアルカラ、學術的或ハ技術的ニ防

ギ得ルモノヲ入レルコトハイカヌト云フコ

トハ能ク分ルカラ、ソレハ賛成デアルケレ

ドモ、苟モ議會ニ於テ稻熱病ガ防ゲルカ防

ゲナイカト云フ議論ニナツテ、當局ハ絕對

ニ防ゲルノダト斷言シテ答辯ヲシテ居リナ

ガラ、現實ニ於テ噴霧器ガナカツタ、噴霧

器ガナケレバ誰ガドウ言ツテモ稻熱病ハ防

ゲナイノデアアルカラ、全國ニ必要ナ噴霧器

ヲ、ドウ云フ譯デ用意ヲシテ置カレナカツ

タノデアアルカ、是ハ勿論昨年ニ於キマシテ

ハ鐵、眞鍮等ノ配給ガ非常ニ困難ニナリマ

シテ、其ノ關係上恐ラク噴霧器ノ製造ガ間

ニ合ハナカツタノデアアル、斯ウ私ハ解釋シ

テ居ルノデアリマセスガ、サウ云フ場合ニ於

テ、少クトモ農林當局トシテハ、日本全國ニ

噴霧器ガ是ダケノ數量ガナケレバ、是ダケ

ノ稻熱病ガ起ツタ場合ニハ防ゲヌト云フコ

トヲ、早ク調査ヲサレテ居ツテ、ソレデ商

工省ナリ企畫院ナリニ前以テチャント話ヲ

シテ置カレテ、苟モ稻熱病ガ起ツタ場合ニ

ハ、噴霧器ヲシテ相當ニ動員セシムルダケ

ノ用意ガナケレバナラヌ、議會デ稻熱病ガ

防ゲルカ防ゲナイカト云フ議論スレバ、技術官ヲ連レテ來テ、ソレハ防ゲルノダト云フモノデ、現在ノ稻熱病其ノ他農村ニ於ケル所ノ、所謂害蟲驅除等ニ付テ間ニ合ツテ居ルノデアアルカ、或ハ間ニ合ツテ居ナイノデアアルカ、此ノ關係ヲ能ク御説明願ヒタイ

○小濱政府委員 稻熱病ハ毎年此ノ地方ニハ多ク起ルト云フ地方ガゴザイマスガ、又天候ノ加減ニ因リマシテ到ル所ニ起ル場合ガアルノデアリマス、ソレデ稻熱病ガ起ツタ場合ニハ噴霧器ガ要ルカラト云フノデ、豫メ噴霧器ヲ用意シテ居ル農家ト云フモノハゴザイマスモト思ヒマス、斯ウ云フコトガアルカモ知レヌカラト云フノデ、必要ナル農具ヲ揃ヘテ居ル農家ハナカラウカト思ヒマス、ソレデ農家ガ噴霧器ガ必要デアリマスレバ、其ノ時ニ買ヒマス、ソレカラ又前ノ年ニ稻熱病ガ起ツタ所ニ噴霧器ガゴザイマシテ、今度外ノ處ニ起リマシタ場合ニハ、ソレヲ彼此レ融通スルト云フ風ナコトハゴザイマス、ソレデ幾ラノ噴霧器ガア

レバ、ドンナニ稻熱病ガ發生シテモ防ゲルノダト云フ風ナ計算ハ致シタコトハゴザイマセヌ、昨年ノ春ニ調査ヲ致シマシテ、噴霧器ガドレ位アルカト云フ調査ヲシタノガゴザイマス、其ノ時ハ六十六万臺バカリアツタヤウニ思ツテ居リマス、ソレカラ以後昨年稻熱病ノ發生ヲ見マシタノデ、是モ早ク防除ヲシナケレバナラヌ、噴霧器ガ間ニ合ハナクテハ困ルト云フノデ、先程申上ゲマシタ通り、八月以降一日、十五日毎ニ、噴霧器ノ製造業者ノ持つテ居リマスル手持ノ噴霧器ガドレ位アルカ、ソレカラ其ノ後十五日間ニ製造スル見込ハドレ位アルカト云フ風ナモノヲ調査致シマシテ、是位ノ數量ナラバ先ヅ行渡リハシナイカト云フ風ナコトヲ考ヘナガラ、其ノ材料ニ付キマシテハ、十分デハナカツタカモ知レマセヌガ、商工省トモ交渉致シマシテ、銅、眞鍮ト云フモノニ付キマシテノ配給ヲ早クヤツテ下サイト云フノデ、手當ヲ致シタ積リデゴザイマス

○平野委員 只今ノ御答辯デマダ不徹底ナノデアリマスガ、要スルニ昨年稻熱病ヲ完全ニ防ギ得ナカツタ理由ハ、噴霧器ガ足ラナカツタト私ハ解釋シテ居ルノデアリマスガ、ソレハ農務局長ハドウ思ハレマスカ、噴霧器ガ足ラナカツタガ故ニ、稻熱病ト云

フモノガ防ゲナカツタト私ハ解釋シテ居ルノデアリマス、ソレニ對シテ農林當局ハサウデハナカツタ、斯ウ云フ解釋デアリマスカ、此處ニ災害ガ起ルカラト云フノデ、豫メ噴霧器ヲ買ツテ置ク百姓ハナイト言ハレルガ、農民ト云フモノハ大體其ノ地方ニ於テ、葡萄ナラ葡萄ニ對シテ斯ウ云フモノガ必要デアアル、斯ウ云フ風ナモノガ必要デアルト言ヘバ、凡ソ用意シテ置クベキモノデアアル、又農家個人ノ經濟ノ關係上、用意ガ出來ナカツタナラバ、ソレハ其ノ地方ニ於ケル農業ノ團體ガ用意シテ置ク、或ハソレガナケレバ買ツテ置イテ用意シナケレバナラヌノデアリマスガ、昨年ニ於テハ少クトモ其ノ用意ガ足リナカツタ、斯ウ私ハ解釋スルノデアリマスガ、之ニ對シテモウ一回御答辯ヲ得テ置キタイ

○小濱政府委員 農家ニ噴霧器ガ適當ナ時期ニ適當ニ行渡ラナカツタガ爲ニ、稻熱病ノ防除ガ十分ニ出來ナカツタノデハナイカト云フコトニ付キマシテハ、其ノ手配ハ手落チナク致シマシタト、斯ウ申上ゲル譯ニハ參ラスカト思ヒマス、サウ云フ所モ地方ニ依ツテハアリマス、唯稻熱病ハ御承知ノ通りニ、其ノ發生ノ初期ニ於テ早く手當ヲ致シマスレバ、早く防除ガ出來マスモノヲ、

少シ手遅レニナリマスルト、防除致シマスル面積ガ非常ニ擴ガルト云フヤウナ關係モゴザイマス、昨年ノ稻熱病ノ發生ハ、噴霧器ガ足ラナカツタガ爲ニ、斯ノ如キ状態ニナツタト云フコトハ斷言致ス譯ニハ參ラスト思ヒマス、藥劑ノ撒布等ニ付テ農家ガ相當ニ習熟シテ居リマスル所、其ノ指導ノ徹底致シテ居リマスル所ニ於テハ、早く手當ヲ致シマスレバ防除ガ出來ルモノガアルノデアリマス

○平野委員 私ハ昨年ノ農林當局ノ答辯ニ於テ、噴霧器ヲ以テ藥劑ヲ撒布スレバ防ゲルノダト云フ、此ノ技術ノ點ニ付テハ承認シテ居ル、承認シタカラ昨年宜カラウト云フコトニナツタノデアリマス、私ガ言フノハ、昨年ハ稻熱病ヲ防グ爲ニ、農林當局ノ御見解トシテ、噴霧器ガ數量ノ點ニ於テ兎ニ角日本全國ニ不足ガアツタノデハナイカ、之ヲ御認メニナラナイト云フコトハナイダラウト思フノデアリマス、現ニ昨年ニ於キマシテハ、眞鍮ノ配給ト云フモノガ非常ニ制限ヲサレ、殊ニ農器具ニ對スル鐵ノ配給ト云フモノハ、百分ノ五ト云フヤウナ未曾有ノ制限デ、農器具業者ハ全減ト云フヤウナ、農業界稀ニ見ル現象ガ起ツテ居ル、是ハ噴霧器バカリデハナイノ

デス、農器具ニ對スル鐵ノ配給ガ百分ノ五以内ト云フヤウナコトハ以テノ外デ、荷モ農具ハ兵器ニ匹敵スル重大ナルモノデハナイカ、政府ハ片一方ニハ農業生産力ヲ維持スルト云フコトヲ主張シナガラ、農器具ニ對スル鐵ノ配給ガ僅ニ五「パーセント」デア、殆ド修繕ニモニ間合ハナイ、地方ノ鍛冶屋ハ全滅スルト云フヤウナ悲運ニ逢著シテ居ルニ拘ラズ、農林省ハ唯手ヲ拱イテ居ツテ、商工省ガ聞イテ呉レナイ、企畫院ガ聞イテ呉レナイト云フコトバカリ言ツテ居ル、ソナコトデアツテハ、農林省ガ幾ラ議會デ稻熱病ヲ防グト云フコトヲ言ツテモ信用ガ出來ナイ、荷モ農器具ガ出來ナケレバ農業生産力ヲ維持出來ナイ、噴霧器ガ出來ナケレバ稻熱病ヲ防除出來ナイト云フコトヲ私ハ言フノデア、私ガ聲ヲ大ニシテ言フノハ、サウ云フヤウナ重大問題ニ對シテハ、議會ニ於テ率直ニ、現在噴霧器ガ足りナイト云フコトヲ明確ニ答辯サレテ、足ラナイガ故ニ眞鍮ノ配給ヲ商工省ナリ企畫院ニ向ツテ要求ヲサレテ、之ヲ造ルト云フコトニナサレナケレバナラヌト思ヒマスノデ、敢テ質問ラシテ居ルノデアリマス、是等ニ對スル所ノモウ少シ忌憚ナイ所見ヲ當局カラ承リタイト思ヒマス

○小濱政府委員 昨年來物資ガ窮屈ニナリマシタ場合ニ、今平野サンノ御話ノアリマシタ通りニ、護謨ソレカラ鐵等ニ對スル配給ガ非常ニ窮屈ニナリマシタ、サウシテ稻熱病ノ發生ノ徵候ヲ見マシテ、是ハ早く噴霧器ヲ用意シナケレバナラヌト云フノデ、噴霧器ニ使ヒマス所ノ材料ト云フモノハ、ソナニ大シタモノデアリナイデアリマスカラ、是ハ例ヘバ五「パーセント」トカ何トカ云フコトデアリナイデアリマシテ、別ニ一ツ扱ツテ下サイト云フコトデ、ソレニ必要ナ材料ヲ早く別ニ供給シテ貰ツタト云フ關係ニアルノデアリマス、先程申シマシタ通りニ、十三年ノ春ニ調査致シマシタ所、六十六万臺位ゴザイマシタ、是ハ稻熱病ノ爲ニノミ使フノデハ勿論ゴザイマセヌノデ、果樹園藝等ニハ是ハドウシテモナケレバナラヌモノデアリマス、サウ云フモノニ使フモノガ可ナリ入ツテ居リマス、ソレデ何臺アレバ稻熱病ヲ防除出來ルカト云フコトニ付キマシテハ、稻熱ノ發生致シマスノハ、土地ニ依ツテ、天候ノ加減ニ依ツテ年々違フノデアリマシテ、如何ナル場合、如何ナル處ニ稻熱ガ發生シテモ、ソレヲ防除スルダケノ噴霧器ト云フモノヲ豫メ農家ノ手許ニ用意シテ居ル譯デアリナイト云フコトヲ、先程

私ハ申上ゲテ積リナノデゴザイマス、昨年ハ大體ニ於テ噴霧器ガ無イ爲ニ、稻熱ノ發生ヲ防ギ得ナカツタト云フコトハナカラウト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレニ依ツテ完全ニ間ニ合ツタトハ私ハ申シ兼ネマスガ、大體ニ於テソナニ支障ハナカツタト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○平野委員 私ノ見解ハ少シ農林當局ト違フノデス、私モ昨年鐵ノ配給ガ非常ニ制限ヲサレル當時ニハ、農器具業者ニモ會ヒ、又農民ノ意見等モ聞イテ、相當ニ運動ヲシタノデアリマス、農務局長ガドウモ噴霧器ガ足りナイト言ツテ、眞鍮ヲ要求サレテ居ツタ時ニハ、既ニ稻熱病ガドウト蔓延シテ居ル時デアツタ、泥棒ヲ見テ繩ヲ綯フト云フ言葉ガアリマスガ、正ニ昨年ノ稻熱病ニ關スル農林當局ノ態度ハ、稻熱病ガ既ニ起ツテ、サウシテ農民ガ實ニ悲痛ナ顔ヲシテ居ル時ニ、商工省ヤ企畫院ニ行ツテ、ヤア鐵ヲ寄越セ、眞鍮ヲ寄越セト云フ運動デアナカツタカト思フ、是ハ私ハサウ云フコトヲ言ウテ、別ニ無暗ニ追及ラスルノデアリマセヌガ、此ノ邊ガ實ニ重大ナ問題デアルト思フ、荷モ農業生産力ヲ増大シヨウトシテ、或ハ農民ニ現在ノ生産力ヲ維持セヨト云フコトヲ言フガ、掛聲バカリデハ駄目デ

アル、今日何十何臺ノ噴霧器ガアレバ、日本ノ稻熱病ガ防ゲルト云フヤウナコトニ付テノ明確ナル數字ハ、固ヨリ天候ニ依ル産業デアルカラ不明確デアラウト思フケレドモ、既ニ農業保險ヲ制定セラレル上ニ於テハ、二十年來ノ日本ノ被害統計ヲ取ツテ居ラレテ、吾々ニ此ノ被害ノ實情ヲ數字デ示サレテ居ルノデアアルカラ、少クトモ日本ニ於ケル平常ノ場合ノ稻熱病ヲ防グ爲ニハ、是レノ噴霧器ガ必要デア、而モ是レノモノニ付テハ、是ダケノ用意ガアルカラ安心ヲシロト云フコトデアリナラヌ答デア、是ハ單ニ噴霧器バカリデアリマセヌ、例ヘバ昨年私ガ商工省ヤ企畫院ニ對シテ、農器具ニ對スル鐵ノ配給ガ、斯ノ如クンバ農業生産力ニ重大ナ影響ガアルト云フコトヲ言ツタ時ニ、企畫院ナドニ於テハ、農民ノ農器具ナドハ三年位鐵ヲヤラナクテモ、近所隣リノモノヲ借り合ツタリ、或ハ三年間位ハ現在ノ農器具デ耐久ガ出來ルノダト云フ答辯デアツタ、私ハ此ノ企畫院ノ答辯ヲ聽イテ愕然トセザルヲ得ナカツタ、ソレハ農民ノ農器具ハ三年デモ五年デモ使ヘルモノモアルケレドモ、鎌トカ鐵トカハ毎年毎年減ル、殆ド消耗品デア、例ヘバ護謨「ローラー」ニシテモ、何時マデモ其ノ護謨

ガ使ヘルモノデナイ、一臺ノ護謨「ローラー」ガ千俵ナラ千俵ノ米ヲ消化スレバ、ソレニ應ジテ相當ニ護謨ヲ替ヘナケレバナラヌ、又精米機ニ於キマシテモ、無限ニ米ガ搗ケルモノデハナイ、一定ノ所マデ搗ケバ精米機ハ修繕シナケレバナラヌ、ソレ等ノ鐵ヲ計算シテ見ルト、五「パーセント」ノ鐵ノ配給ト云フコトデ、何デ農業生産力ノ維持ガ出來ルカ、農器具ノ修繕ガ出來ルカ、少クトモ五「パーセント」ト云フコトヲ發表サレルト同時ニ、農林當局ハ、農器具ニ對シテハ直チニ企畫院ヲ説カレナケレバナラヌノニ、私ノ其ノ時ノ經驗ニ依ルト、三箇月モ四箇月モ殆下無方針ノ儘ニ農器具ニ對スル所ノ鐵ノ配給ガ放任サレテ居ツタ、現在ニ於テハ農器具業者ト云フモノハ、殆下大半ハ軍需工業ニ轉業シテ居ル、鐵ガ貰ヘナイカラ農器具業者ト云フモノハ長イ間ノ商賣ヲ捨テ去ツテ居ル、無論農器具業者ガ軍需工業ニ轉業スルト云フコトハ、其ノ農器具業者自體ハ、ソレデ自分ノ生活ガ立ツテ行ケルダラウケレドモ、農器具ヲ造ラナクナレバ日本ノ農業生産ハドウナルカ、此ノ根本問題ニ付テハ、殆下農林當局ハ無方針デ居ラレタカノ感ガアルト云フコトヲ、私ハ洵ニ遺憾ニ思ツテ居ルノデアリマス、

此ノ際我國ノ農器具ト農業生産力ノ維持ヲ、ドウ云フヤウナ觀點ニ於テ農林當局ハ考ヘテ居ルノデアアルカト云フコトニ付テ、少クトモ此ノ席上ニ於テ、私ハ相當吾々ニ安心ヲ與ヘルヤウナ明確ナ御答辯ヲ得テ置キタイト思フノデアリマス

ハ、是非得タイト思ヒマスカラ、努力スル積リデ居リマス

○平野委員 肥料ニ付テハ、豫算委員會ニ於キマシテ、我國ノ農業生産力ヲ維持スル爲ニ必要ナルモノハ輸入敢テ辭セズ、斯ウ云フ答辯ヲサレテ居ルヤウデアリマス、私ハ此ノ農業生産力ヲ維持スルノニヤハリ必要ナル肥料ト云フモノハ、此ノ時局デアルト雖モ輸入モ已ムヲ得ヌ、是ダケノコトヲ言ハルナラバ、農業生産力ヲ維持スル上ニ於ケル必要ナル農具ニ對スル鐵又然リデアリマス、斯ウ云フ點ハ吾々ノ方ガ肥料ナラ肥料ニ對シテ輸入スルカ、ソレデヤシマセウ、鐵ハドウダト斯ウ言ハレテ、ソレニ對スル簡單ナル答辯ヲサルノデハナク、少クトク今日ニ於テハ農器具ナラ農器具ニ對スル所ノ一定ノ計畫ト云フモノガ、既ニ私ハ農林省ニ於テハ立ツテ居ナケレバナラヌモノダ、斯ウ解釋ヲスルノデアリマサルガ、私ノ此ノ際農器具ニ對スル所見ヲ以テ致シマスナラバ、我國ノ農器具界ニ於ケル是ハ正ニ一大革命デアラウト思ヒマス、從來ハ色々ナ機械ヲ作り、又色々ナモノヲ獎勵ヲシテサウシテモ宜イ、アレモ宜イト云フノデ、農民ノ方ニ色々ナモノヲ賣付ケラレテ居ツタ、ソレガ中ニハ優良ナモノ

モアレバ、中ニハ宣傳ノ效ヲ奏シテ居ル爲ニ農民ニ餘計使ハレテ居ルガ、實ハ優良デナカツタト云フヤウナ農器具モ相當アルノデアリマス、此ノ際鐵ノ供給ト云フモノガ多少ハ減少サレルト云フコトハ、時局柄已ムヲ得ナイノデアリマスガ、農林當局ガ眞ニ農器具ト云フモノニ對シテ専門的ナル知識ヲ發揚サレテ、サウシテ噴霧器ナラ噴霧器、或ハ脱穀機ナラ脱穀機、或ハ精米機ナラ精米機、繩綯機ナラ繩綯機ト云フモノニ對スル最高ノ種類ハ是デアアル、一番良イモノハ是デアルト云フ風ニ品物ヲ定メラレテ、而モ其ノ繩綯機ト云フモノハ、日本ノ現狀ニ於テハ是ダケノモノガ必要デアアルカラ、是ダケノ鐵ガ必要デアルト云フ、農器具ニ對スル根本計畫ヲ御持チニナツテ、ソレヲ企畫院ナリ商工省ニ對シテ十分ナル御折衝ニナツテ然ルベキダト私ハ思フノデアリマスルガ、之ニ對スル御用意ガナケレバ是非願ヒタイ、アレバ斯ウ云フ風ニアルカラ安心ヲシテ居レ、斯ウ云フ御答辯ヲ得テ置キコトガ、此ノ際必要デハナカラウカト思フノデアリマス

○松村(謙)政府委員 只今ノ御質問デアリマスガ、決シテ肥料ノ方バカリ重視シテ、農具ノ方ヲ輕視シテ居ルト云フ譯デハアリ

此ノ際我國ノ農器具ト農業生産力ノ維持ヲ、ドウ云フヤウナ觀點ニ於テ農林當局ハ考ヘテ居ルノデアアルカト云フコトニ付テ、少クトモ此ノ席上ニ於テ、私ハ相當吾々ニ安心ヲ與ヘルヤウナ明確ナ御答辯ヲ得テ置キタイト思フノデアリマス

○松村(謙)政府委員 昨年ノ農業生産ニ必要ナル品、殊ニ鐵其ノ他ノ金屬ニ對スル配給ニ付キマシテハ、農林省ト致シマシテハ、出來ルダケノ力ヲ盡シテヤツタノデアリマスケレドモ、事ガ初メテノコトデアリマスカラ、色々用意ノ整ハナイ點モアツタカモ知レマセヌ、又關係各省ノ方ニ對シテモ、色々理解ニ努メマシタケレドモ、他ノ省ニ於テハ農林省デ感ジテ居リマシヤウナ風ニ理解ヲ得セシメルノニハ相當ニ困難ガアリマシテ、其ノ爲ニ十分ノ配給ヲ爲シ得ナカツタト云フコトモアルカモ知レマセヌケレドモ、是カラ以後生産ノ維持擴充ト云フコトニ付テハ、御話ノ通りニ農具ノ點ハ相當ニ必要ガアリマスカラ、是ハ十分ニ各省ト打合セテ致シマシテ、關係各省ニ要求シテ、今年ハサウ云フ遺憾ノ點ハ出來ルダケ排除致シタイ、勿論斯ウ云フ際デアリマスカラ、十二分ノコトノ出來ナイコトハ是ハ當然デアリマス、併シ最小限度ノ必要モノダケ

ハ、是非得タイト思ヒマスカラ、努力スル積リデ居リマス

○平野委員 肥料ニ付テハ、豫算委員會ニ於キマシテ、我國ノ農業生産力ヲ維持スル爲ニ必要ナルモノハ輸入敢テ辭セズ、斯ウ云フ答辯ヲサレテ居ルヤウデアリマス、私ハ此ノ農業生産力ヲ維持スルノニヤハリ必要ナル肥料ト云フモノハ、此ノ時局デアルト雖モ輸入モ已ムヲ得ヌ、是ダケノコトヲ言ハルナラバ、農業生産力ヲ維持スル上ニ於ケル必要ナル農具ニ對スル鐵又然リデアリマス、斯ウ云フ點ハ吾々ノ方ガ肥料ナラ肥料ニ對シテ輸入スルカ、ソレデヤシマセウ、鐵ハドウダト斯ウ言ハレテ、ソレニ對スル簡單ナル答辯ヲサルノデハナク、少クトク今日ニ於テハ農器具ナラ農器具ニ對スル所ノ一定ノ計畫ト云フモノガ、既ニ私ハ農林省ニ於テハ立ツテ居ナケレバナラヌモノダ、斯ウ解釋ヲスルノデアリマサルガ、私ノ此ノ際農器具ニ對スル所見ヲ以テ致シマスナラバ、我國ノ農器具界ニ於ケル是ハ正ニ一大革命デアラウト思ヒマス、從來ハ色々ナ機械ヲ作り、又色々ナモノヲ獎勵ヲシテサウシテモ宜イ、アレモ宜イト云フノデ、農民ノ方ニ色々ナモノヲ賣付ケラレテ居ツタ、ソレガ中ニハ優良ナモノ

モアレバ、中ニハ宣傳ノ效ヲ奏シテ居ル爲ニ農民ニ餘計使ハレテ居ルガ、實ハ優良デナカツタト云フヤウナ農器具モ相當アルノデアリマス、此ノ際鐵ノ供給ト云フモノガ多少ハ減少サレルト云フコトハ、時局柄已ムヲ得ナイノデアリマスガ、農林當局ガ眞ニ農器具ト云フモノニ對シテ専門的ナル知識ヲ發揚サレテ、サウシテ噴霧器ナラ噴霧器、或ハ脱穀機ナラ脱穀機、或ハ精米機ナラ精米機、繩綯機ナラ繩綯機ト云フモノニ對スル最高ノ種類ハ是デアアル、一番良イモノハ是デアルト云フ風ニ品物ヲ定メラレテ、而モ其ノ繩綯機ト云フモノハ、日本ノ現狀ニ於テハ是ダケノモノガ必要デアアルカラ、是ダケノ鐵ガ必要デアルト云フ、農器具ニ對スル根本計畫ヲ御持チニナツテ、ソレヲ企畫院ナリ商工省ニ對シテ十分ナル御折衝ニナツテ然ルベキダト私ハ思フノデアリマスルガ、之ニ對スル御用意ガナケレバ是非願ヒタイ、アレバ斯ウ云フ風ニアルカラ安心ヲシテ居レ、斯ウ云フ御答辯ヲ得テ置キコトガ、此ノ際必要デハナカラウカト思フノデアリマス

○松村(謙)政府委員 只今ノ御質問デアリマスガ、決シテ肥料ノ方バカリ重視シテ、農具ノ方ヲ輕視シテ居ルト云フ譯デハアリ

マセヌ、肥料ノ方ハ御質問ガアリマシタカラ、大臣ハアア云フ風ニ御答致シタノデアリマスガ、農具ノ問題モ極メテ重大デアリマスノデ、當局ト致シマシテ、ソレトモ今年ノ計畫ヲ立テマシテ、サウシテ商工省ナリ企畫院ナリヘ申出テ、今日ソレトモ交渉致シテ居リマス、自分等ハ今年ハ相當ニ是等ノモノニ對シテハ配給ヲ致シ得ルモノト存ジテ居リマス、農具ニ對スル選擇ノ點ニ付キマシテモ御説ノ通りデアリマシテ、此ノ際相當ニ優秀ナ農具ヲ農村ニ使ヒマシテ、其ノ經營ノ能率ヲ擧ゲタイト云フ積リデヤツテ居リマス、併シ何ト致シマシテモ斯ウ云フ際デアリマスカラ、農具ノ足リマセヌコトハ致方ガアリマセヌカラ、ソレニ對シテハ共同使用モヤツテ戴キマシテ、ソレニ依ツテ能率ヲ擧ゲタイト思ツテ、出來ルダケ優秀ナ農具ヲ共同ニ使用サセルト云フコトニ致シテ居リマス

○板谷委員長 平野君ニ一寸御注意申上ゲタイト思ヒマスガ、農業保險ニ對スル直接ノ御質問ハ決シテ制限スルコトハ致シマセヌ、併シナガラ後モ問ヘテ居ルコトデモアリマスルシ、關聯事項ニ付キマシテハ、成ベク簡單ニ一ツ御願シタイト思ヒマス、順序ヲ越エテ特ニアナクニ御許シテ居ルノデアリマスカラ、ソレヲドウカ御承知ノ上成ベク簡單ニ御願致シマス

○平野委員 委員長ノ御注意能ク承知致シマシタ、此ノ際モウ一點ダケ、是ハ農業保險ニヤハリ關係アルト存ジテ居ツタモノデスカラ……私ハ進ンデ農器具ニ對シテハ、農具ノ國家管理ト申シマスカ、或ハ農具ノ國營專賣ト申シマスカ、農具ノ國營化ト云フ位マデノ覺悟ヲ以テ、農林當局ガ御臨ミニナル必要ガアルト信ズルノデアリマシタガ、ソレ位ノ覺悟ガアルカドウカト云フ點ニ付テ、簡單ニ一ツ御答辯ヲ願ヒマス

○松村(議)政府委員 ソレハ理想デアリマスカレドモ、併シ農具ト云フモノハ、相當ニヤハリ工夫發明ニ依ツテ進歩致スモノデアリマスカラ、是等ノ發明工夫ノ餘地ノアルコトニシマセヌト、農具ノ進歩ハ期シ得ナイト思ヒマス、隨テ之ヲ國營ニシ國有ニスルト云フコトニ付テハ、餘程研究考慮ヲ要スルコトト思ヒマス

○平野委員 次ニハ農業ノ災害ニ付テデアリマスルガ、昨年長野縣、山梨縣、東京府方面ニ於キマスル所ノ晩秋蠶ノ被害ト云フモノハ正ニ未曾有ノ被害デアリマス、私ノ經驗ニ依リマシテモ、山梨縣ニ於テハ、私ノ知ツテ居ル範圍内ニ於テハ、昨午程大被害ヲ受ケタコトハナイノデアリマス、而モ其ノ被害ヲ受ケマシタ内容ヲ見テ居リマスルト、縣ガ此ノ蠶種ナラバ絲目ガ餘計出ル斯ウ云フ一ツノ研究ヲ積ミマシテ、所謂優良蠶種ト云フモノヲ獎勵サシタ、其ノ優良蠶種ガ洵ニ遺憾ナコトニ被害ヲ受ケタノデアリマス、サウデナクテ傳來的ノ……多少絲目ハ出ナイケレドモ、從來カラヤツテ居リマスル所ノモノハ、昨年ハ被害ガ殆ドナカツタノデアリマス、所謂絲目ガ少シ出ルカラト云フノデ、優良蠶種トシテ縣ガ獎勵サレタモノ、無論蠶絲局長ニ於テモ十分御承知デアリマセウガ、國家ニ於テ相當研究サレタ其ノ品種ガ、驚ク勿レ實際ニ於テ七割ノ減收デアル、事實農民ニ就イテ見マスナラバ、ソレハ三割ハ殘ツタト云フダケデアツテ、實際ハ全滅デアリマス、是ハ地方問題デアリマスカレドモ、農業災害ト云フコトニナリマスルト、洵ニ重大ナ問題デアリマシテ、少クトモ此ノ原因ガ何處ニアツタノデアアルカ、不幸ニシテ吾々ガ研究シマシテモ、マダ其ノ原因ノ真相ト云フモノヲ突止メル譯ニ行カヌノデアリマスルガ、當局ニ於カレマシテハ、其ノ根本原因ガドノ邊ニアツタカト云フコトヲ、今日ニ於テハ御研究ニナツテ居ラウカト思フノデアリマスルガ、ソレヲ一ツ御發表願ヒタイト思ヒマス

○吉田政府委員 御答致シマス、平野サンノ仰シヤイマシタノハ、例ノ國蠶日一一一號ト國蠶支一〇七號トノ交雜種ガ、昨年ノ晩秋蠶ニ於キマシテ相當廣イ範圍ニ於テ、相當程度ノ被害ガアツタト云フコトデアラウト思フノデアリマス、是ハ御承知ノ通り昭和九年ニ初メテ國ノ蠶絲試驗場ニ於テ研究致シマシテ、一般ニ出シマシタ、品種ナノデアリマス、夏秋蠶ノ作柄ハ、過去ニ於キマシテハ相當不安定ナモノデアツタノデアリマスガ、漸次改善サレマシテ、安定ノ傾向ニナツテ參ツテ居ルト申シテ宜シイト思フノデアリマス、殊ニ昭和九年ニ今申シマシタ蠶種ヲ出シマシテ、是ガ非常ニ絲質モ宜シイシ、蠶作モ宜シイト云フコトデ、實ハ非常ニ人氣ガアツタノデアリマス、爾來是ガ非常ニ普及致シマシテ、ズツト好イ成績ヲ以テ今日マデ進ンデ參リマシタ、實ハ昨年ノ夏秋蠶マデハ何等ノ事ナク參ツタト申シテ宜シイト思フノデアリマスガ、實ハ晩秋蠶、最後ノ蠶種ニ於テ左様ナコトニナツタノデアリマスガ、大體是バカリデアリマセヌガ、昨年ノ晩秋蠶ノ成績ヲ見マスルト、先ヅ關東地方ガ比較的被害ガ多

害ヲ受ケタコトハナイノデアリマス、而モ其ノ被害ヲ受ケマシタ内容ヲ見テ居リマスルト、縣ガ此ノ蠶種ナラバ絲目ガ餘計出ル斯ウ云フ一ツノ研究ヲ積ミマシテ、所謂優良蠶種ト云フモノヲ獎勵サシタ、其ノ優良蠶種ガ洵ニ遺憾ナコトニ被害ヲ受ケタノデアリマス、サウデナクテ傳來的ノ……多少絲目ハ出ナイケレドモ、從來カラヤツテ居リマスル所ノモノハ、昨年ハ被害ガ殆ドナカツタノデアリマス、所謂絲目ガ少シ出ルカラト云フノデ、優良蠶種トシテ縣ガ獎勵サレタモノ、無論蠶絲局長ニ於テモ十分御承知デアリマセウガ、國家ニ於テ相當研究サレタ其ノ品種ガ、驚ク勿レ實際ニ於テ七割ノ減收デアル、事實農民ニ就イテ見マスナラバ、ソレハ三割ハ殘ツタト云フダケデアツテ、實際ハ全滅デアリマス、是ハ地方問題デアリマスカレドモ、農業災害ト云フコトニナリマスルト、洵ニ重大ナ問題デアリマシテ、少クトモ此ノ原因ガ何處ニアツタノデアアルカ、不幸ニシテ吾々ガ研究シマシテモ、マダ其ノ原因ノ真相ト云フモノヲ突止メル譯ニ行カヌノデアリマスルガ、當局ニ於カレマシテハ、其ノ根本原因ガドノ邊ニアツタカト云フコトヲ、今日ニ於テハ御研究ニナツテ居ラウカト思フノデアリマスルガ、ソレヲ一ツ御發表願ヒタイト思ヒマス

害ヲ受ケタコトハナイノデアリマス、而モ其ノ被害ヲ受ケマシタ内容ヲ見テ居リマスルト、縣ガ此ノ蠶種ナラバ絲目ガ餘計出ル斯ウ云フ一ツノ研究ヲ積ミマシテ、所謂優良蠶種ト云フモノヲ獎勵サシタ、其ノ優良蠶種ガ洵ニ遺憾ナコトニ被害ヲ受ケタノデアリマス、サウデナクテ傳來的ノ……多少絲目ハ出ナイケレドモ、從來カラヤツテ居リマスル所ノモノハ、昨年ハ被害ガ殆ドナカツタノデアリマス、所謂絲目ガ少シ出ルカラト云フノデ、優良蠶種トシテ縣ガ獎勵サレタモノ、無論蠶絲局長ニ於テモ十分御承知デアリマセウガ、國家ニ於テ相當研究サレタ其ノ品種ガ、驚ク勿レ實際ニ於テ七割ノ減收デアル、事實農民ニ就イテ見マスナラバ、ソレハ三割ハ殘ツタト云フダケデアツテ、實際ハ全滅デアリマス、是ハ地方問題デアリマスカレドモ、農業災害ト云フコトニナリマスルト、洵ニ重大ナ問題デアリマシテ、少クトモ此ノ原因ガ何處ニアツタノデアアルカ、不幸ニシテ吾々ガ研究シマシテモ、マダ其ノ原因ノ真相ト云フモノヲ突止メル譯ニ行カヌノデアリマスルガ、當局ニ於カレマシテハ、其ノ根本原因ガドノ邊ニアツタカト云フコトヲ、今日ニ於テハ御研究ニナツテ居ラウカト思フノデアリマスルガ、ソレヲ一ツ御發表願ヒタイト思ヒマス

害ヲ受ケタコトハナイノデアリマス、而モ其ノ被害ヲ受ケマシタ内容ヲ見テ居リマスルト、縣ガ此ノ蠶種ナラバ絲目ガ餘計出ル斯ウ云フ一ツノ研究ヲ積ミマシテ、所謂優良蠶種ト云フモノヲ獎勵サシタ、其ノ優良蠶種ガ洵ニ遺憾ナコトニ被害ヲ受ケタノデアリマス、サウデナクテ傳來的ノ……多少絲目ハ出ナイケレドモ、從來カラヤツテ居リマスル所ノモノハ、昨年ハ被害ガ殆ドナカツタノデアリマス、所謂絲目ガ少シ出ルカラト云フノデ、優良蠶種トシテ縣ガ獎勵サレタモノ、無論蠶絲局長ニ於テモ十分御承知デアリマセウガ、國家ニ於テ相當研究サレタ其ノ品種ガ、驚ク勿レ實際ニ於テ七割ノ減收デアル、事實農民ニ就イテ見マスナラバ、ソレハ三割ハ殘ツタト云フダケデアツテ、實際ハ全滅デアリマス、是ハ地方問題デアリマスカレドモ、農業災害ト云フコトニナリマスルト、洵ニ重大ナ問題デアリマシテ、少クトモ此ノ原因ガ何處ニアツタノデアアルカ、不幸ニシテ吾々ガ研究シマシテモ、マダ其ノ原因ノ真相ト云フモノヲ突止メル譯ニ行カヌノデアリマスルガ、當局ニ於カレマシテハ、其ノ根本原因ガドノ邊ニアツタカト云フコトヲ、今日ニ於テハ御研究ニナツテ居ラウカト思フノデアリマスルガ、ソレヲ一ツ御發表願ヒタイト思ヒマス

カツタ模様デアリマス、ソレカラ東北ノ方面ニ深刻ノヤウデアリマス、中國、九州ノ方面ニ掛ケマシテハ、作柄ガ平年ニ比ベテ悪イト云フ状態デアリマセス、先ヅ一番悪イノハ關東地方、殊ニ今御話ノアリマシタ山梨、東京、神奈川ト云フモノガ最モ悪イヤウデアリマス、山梨ノ如キハ、今申サレマシタ品種ガ最モ多ク作ラレテ居リマシタノデ、サウ云フ關係デ實ハ非常ニ其ノ點ハ遺憾ニ存ジテ居リマスルガ、其ノ原因等ニ付キマシテ色々調ベテ見マシタガ、御承知ノ通り違作ノ原因ト申シマスルト、色々原因ガ考ヘラレルノデアリマス、先ヅ最モ結果ニ現ハレル一番直接ノ原因ト申シマスモノハ、飼育ノ仕方デアリマス、此ノ飼育ノ仕方ノ良否或ハ上手下手ト云ツタヤウナコトガ必ズ作柄ニ影響スルノデアリマス、且又桑ノ良シ悪シト云フトコモ影響致スノデアリマス、ソレカラ遡リマシテ蠶種デアリマス、所謂品種デナシニ蠶種デアリマス、種ノ作り方ノ上手下手、或ハ種ヲ作ツテカラ養蠶家ニ行クマデノ間ノ保管ナリ取扱ノ良否ト云ツタヤウナコトガ、蠶ヲ飼ヒマシタ結果ノ上ニ可ナリ現ハレテ參ルノデアリマス、其ノ外天然ノ天候、氣温、濕氣ト云ツタヤウナコトガ或ハ桑ニ、或ハ蠶ニ影響致シマス、

斯ウ云フコトガ關係致シマシテ、結局作柄ノ良シ悪シト云フコトニ現ハレテ參ルノデアリマス、作柄ト云フモノノ原因ヲ調ベテ見マスト、非常ニ多種多様アルノデアリマス、昨年實ハ先程モ御話ノアリマシタヤウニ、天候ノ異變ガアリマシタコトハ御承知ノ通りデアリマス、非常ニ冷氣ガ多カッタ、雨ガ多カッタ、或ハ所ニ依ツテハ風ガ多カッタ、斯様ナ關係デ有ユル災害ガ一時ニ、丁度晩秋蠶ノ飼育時期、或ハ飼育ヲ始メル時期ニ於テ、實ハ綜合的ニ現ハレテ參ツタノデアリマス、國蠶系ノ惡カツタコトニ付キマシテハ、大體ノ傾向ヲ見マスト、冷氣ノ激シカツタコト、要スルニ非常ニ温度ノ低カツタ所ニ概シテアツタヤウデアリマスカラ、是ガ相當ニ原因ヲ致シテ居ルヤウデアリマス、併シ尙ホ雨量ガ非常ニ多クテ、氣温ノ程度ガ惡カツタ、稚蠶期ニ十分ニ實リ行ツテ居ナイ桑ヲ食ハセタ、或ハ丁度風ガアリマシテ、風ノ爲ニ傷ンダ桑ヲ食ハセタ、斯様ナ事情デアルノデハナカラウカト思ヒマス、斯様ナ工合デ多少稚蠶期ニ於テ榮養不足ニ陥ツタノデ、御承知ノ通り風土病ガ出マシタ、斯様ニ吾々ハ見テ居ルノデアリマス、ドレガ唯一ノ原因デ、ドレガドノ程度ニ影響致シテ居ルカト云フコトハ、ハツ

キリ致シマセヌガ、是等ノ各種ノ原因ガ綜合致シマシテ、アノ違作ヲ見ルニ至ツタト見テ居リマスガ、大體ニ於テ此ノ違作ノ多カツタ共通ノ原因ト致シマシテハ、温度ガ非常ニ低カツタ、山梨ノ例ニ依リマスト、稚蠶期ニ於テ例年ヨリモ四度強平均ニ於テ低カツタ、サウシテ非常ニ雨天ガチデ、雨が多ク、雨量ノ如キハ三倍モアツタト云フヤウナコトニナツテ居リマス、非常ニ是等ノモノガ桑ヲ通シテ影響シ、或ハ直接蠶ニ影響致シマシテ、今言フヤウナ違作ノ結果ニナツタ、斯様ニ實ハ考ヘテ居ル次第デアリマス

○平野委員 之ニ對シテハ只今ノ御説明ノヤウナ内容ヲ要約サレテ、來年ハ相當ナル手配ヲスルトカドウトカ云フヤウナコトニ付テ、縣ニ對スル何カ御打合ナリ或ハ御命令ナリニナツテ居リマスカ、ソレトモナツテ居リマセヌデスカ

○吉田政府委員 斯様ナ關係デ、實ハ原因等ニ付キマシテハ、先ヅ申上ダク通りデアリマシテ、要スルニ飼育ノ點ニ於テ十分注意ヲ致シマスルナラバ、昨年ノ如キ轍ハ繰返スモノデハナカラウト吾々ハ思ヒマスガ、實ハサウ云フ結果ニナリマシタノデ、理窟ハ兎モ角ト致シマシテ、養蠶家ガ嫌ツテ居

ルト云フコトハ私共現實ダト思ヒマス、餘リ物ハ惡クナイ、注意シテヤレバ昨年ノ轍ヲ履マナイデ、又良イ成績モ擧ゲ得ラレルト思ヒマスガ、ソレハ理窟デ、サウ云フモノハ聽容レ得ルモノデハナイト云フノガ現實ダト思ヒマスカラ、斯ウ云フ點ヲ注意シテ、此ノ點ヲ變ヘ、此ノ點ガ惡カツタカラ、此ノ點ハ注意セヨト言ツテ、無理ヤリニ飼ハセルコトモドウカ、斯ウ思ヒマシテ實ハ當時、昭和九年ニ今申シマシタ品種ヲ出シマシタガ、其ノ後引續イテ是同ジヤウナ品種デ、蠶ノ比較的強イ——蠶質ノ強健ナモノモ實ハ出來テ居ツタノデアリマス、之ヲ當時引續イテ蠶絲試驗場デ出サウト致シタノデアリマスガ、今申シマシタ——昨年遺憾ナガラ違作致シマシタ品種ハ、絲質ニ於テモ蠶作ニ於テモ非常ニ宜シイノデ、種屋ノ方、養蠶家ノ方デハ、同ジモノヲ幾ツモ矢繼早ニ出シテ貰ツテ困ル、良イモノヲ一ツノ方ガ宜シイト云フノデ、實ハ其ノ當時引續イテ出サナカツタノデアリマス、サウ云フモノガアツタノデアリマス、ソレヲ此ノ際出シテ——百十一號、百十七號ト云フモノガ養蠶家ニ喜バレナイト云フ現實デアリナラバ、生絲ノ織度ガ少シ廣イト云フ嫌ヒハアリマスガ、蠶ノ方ハ昨年ヨリ強イ品

種ガアリマスカラ、之ヲ出シテ、サウシテ代リノ品種ノモノヲ飼ハセテ行ク方ガ宜イノデハナイカト云フ考デ、實ハ代リノモノ

ヲ昨年出シマシタ、無論元ノモノモ出シテアリマシガ、之ヲ希望ニ依ツテドナラデモ

選擇ノ出來ルヤウニト云フ行キ方デ、實ハ臨ンデ居ルノデアリマシテ、大體後ニ出シ

マシタモノニ對シテノ要望モ相當アルヤウデアリマス、斯様ナ方法デ、希望ノモノヲ

選擇サセマシテ、且又昨年惡カツタモノヲ代ヘマスニ付キマシテハ、原因等ニ付キマ

シテ十分調査致シマシテ、隨テ飼方等ニ付テノ注意モ促シテヤツテ行カウト思ツテ居

ルノデアリマス ○平野委員 一寸政務次官ニ御尋致シマス、在來ノモノハ大シテ被害ガナイノニ、縣ナ

リ蠶絲局ニ於テ研究シテ、特ニ良イト思ツテヤラレタモノガ被害ガ多カツタ事件、事

實デスネ、農民カラ申シマス、實際是ハ非常ニ率直ナ言葉デ言フト、怨ンデ居ル、

陳情シテ救済ヲ求メタノダケレドモ、救済方法ハナイ、辛ウジテ肥料資金ト低利資金

ヲ借りルト云フヤウナコトデ、兎ニ角今年ノ所ハ追付ケテ譯デスガ、是等ハ農業保險

レトラ宜イノデアアルカト云フコトニ付テ、御考ヲ承ツテ置キタイト思フノデス

○松村政府委員 去年只今御質問ノヤウナコトガアリマシタコトハ如何ニモ遺憾デア

リマス、併シナガラ養蠶ト云フモノハ、御承知ノ通り天候其ノ他ニ非常ニ微妙ナ關係

ガアリマシテ、去年ハ此ノ種類ハ不作デアツタガ、去年良イ作ヲシタ品種ヲ今年作ツ

タラバ、又其ノ品種ガ良クナカツタト云フヤウナ事例ハ、屢アルノデゴザイマシテ、

是ハ強チ品種ガ不適當ナ惡イモノデアツタト云フコトハ言ヒ得ナイト思ヒマス、此ノ

農家ノ損害ヲ保險ニ依ツテ償ヒ得ル方法ハナイカ、ソレニ付テハ何ト考ヘルカト云フ

御質問ノヤウニ承リマスガ、之ニ付キマシテハ、病害ト云フ風ニ特殊ノ條項ニ當嵌マ

ルモノハ、勿論ソレニ依ツテ救済ヲ致シテ行キマスケレドモ、之ニ當嵌マラナイモノ

ニ付キマシテハ、只今ノ此ノ制度ニ於テハ十分考慮スルコトガ出來ナイコトヲ遺憾ト

致シマス、併シソレ等ノ點ニ付キマシテモ、漸次經驗ヲ積ムニ從ヒマシテ、此ノ保險ノ

ツタンダ、斯ウ云フコトデアアル、是ハ單ニ養蠶ノミナラズ、有ユルコトニ付テ農林省

ガ獎勵シタモノデ、隨分農民ニ迷惑ヲ掛ケテ居ルモノガアルノデス、農民ハ其ノ點至

ツテ諦メガ強イカラ、諦メテ居ルノデアリマスケレドモ、斯ウ云フ國ナリ縣ナリガ農

民ニ獎勵シテヤラシタコトカラ起ル災害ニ依ル不利益、斯ウ云フモノニ付テハ、唯天

候ガ惡カツタカラ已ムヲ得ヌト云フコトデハ、私ハ農業政策ニハナラヌト思フ、之ニ

對シテハ丁度昨年ノ甲信、神奈川、東京方面ニ於ケル所ノ養蠶ノ被害ガ好個ノ事例デア

アリマシガ、今後斯ウ云フ問題ニ對シテ農林當局ハ慎重ナル態度ヲ以テ、農民ニ迷惑

ヲ與ヘザルヤウ、十分ナル御留意ヲ願ヒタイト云フコトヲ希望致シマシテ、大體私ノ

質問ヲ終リマスガ、尙ホ之ニ對スル御答辯ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○松村(謙)政府委員 能ク注意ヲ致シマスガ、唯一言申上ゲテ置キタイト思ヒマスコ

トハ、何カ政府ノ獎勵致シタモノガ、非常ニ惡イ結果ヲ來シタト云フヤウナ場合ダケ

リマス、其ノ進歩ノ一過程ニ於テ斯ウ云フコトガ出來マシタコトハ必ズシモ品種ノ爲

メトバカリモ言ヘナイ、色々ノ天候上ノ去年ノヤウナ未曾有ノ惡イ天候ノ關係

モアリマスノデ、此ノ結果ダケヲ以テ、何か惡イ品種ヲ農村ニ獎メタト云フヤウニ一

口ニ仰セラレルコトハ、如何ニモ吾々ト致シテハ残念ニ思ヒマス、注意ハ致シマスガ、

當局ノ是マデノ苦心ノ存スル所モ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○深澤委員 私ハ保險法ノ狙ヒ所ガ分ラナイノデス、立法觀念ノ底ニ潛ム所ノ狙ヒ所

ヲ聽キタイノデアリマス、隨テ農業保險法其ノモノ、農業再保險特別會計法其ノモノ

ノ形式ニ關シテハ、何等ノ疑問ヲ持つテ居リマセス、形式ノ中ニ潛ム保險ノ表現利益

其ノ觀點カラ當局ノ之ニ盛ツタ所ノ信念ヲ聽キタイノデアリマス、ソレヲ聽ケバ私ノ

疑問ハ氷解致シマス、保險ノ目的トスル水稻ニ付テハ、自然障害ヲ誘因トスル表現利益

ノ損害ニ對シテハ保險ヲ付スルガ、自然障害其ノモノハ保險ノ目的カラ除イタノハドウ

云フ理由デアアルカ、之ヲ聽キタイ、次ニ麥ノ方ヲ見マス、自然障害其ノモノ、直接ノ

表現利益ニ對シテハ保險ハスルノデアアルケレドモ、ソレヲ誘因トスル病蟲害其ノモノ

○平野委員 問題ハ兎ニ角單ナル災害ト云フ上ニ加フルニ、縣ガ獎勵シタモノガ惡カ

ニ對シテハ保險ヲセスト云フ、此ノ觀念ノ出所ヲ聽キタイノデアリマス

○小濱政府委員 農業保險ノ狙ヒ所ガ何處ニアルカト云フ御質問ノヤウデアリマスガ、是ハ昨年農業保險法案ノ御審議ヲ御願スルニ當ツテ申上ゲマシタノデ、繰返シテハ申上ゲマセヌガ、要スルニ農家ガ不時ノ災害ニ依ツテ、普通ノ狀態デアツタナラバ、得ベカリシ收穫ヲ得ラレナカッタト云フ場合ニ、農家相互ノ共濟ニ依ツテ、オ互ニ金ヲ出シ合ツテ、其ノ災害ヲ填補スルコトニ依ツテ、其ノ危險ヲ廣ク農家ガオ互ニ分散シテ行カウト云フコトガ、吾々ノ農業保險ヲ立案致シタ狙ヒ所デアリマス、ソレデ農家ガ掛金ヲ出シ合ヒマシテ危險ヲ分散シテ行ク場合ニ、是ハ何レノ保險ニモ共通ノコトト思ヒマスガ、其ノ危險ハ廣ク地域的ニ分散セラレ、又立體的ニ考ヘテ、年度のニモ廣ク危險ヲ分散サレルコトガ必要デアルト考ヘマシテ、保險スベキ災害ノ範圍ハ、危險ガ廣ク分散サレルト云フコトヲ、選擇ノ一ツノ狙ヒ所ト致シタノデアリマス、ソレカラ收穫保險デアリマスガ故ニ、多分ニ道德的危險ヲ加味致シマスガ故ニ、道德的危險ノ多イ部分ニ付テハ、之ヲ排除致シテ置キマセスト、保險制度其ノモノガ成立タヌ

ト云フノデ、道德的危險ヲ多分ニ包含致シマスモノ、例ヘバ農家ガ注意スレバ防ギ得クドウセ保險金ガ貫ヘルト云フノデ注意ヲ怠リ作業ヲ怠ル、ソレニ依ツテ生ジタ損害ヲ保險スルト云フコトデハ、保險ハ成立チマセヌカラ、道德的危險ヲ多分ニ包含シテ居ル保險ノ種類ハ、除イテ置クト云フ考方カラ參ツテ居ルノデアリマス、ソレカラ自然的損害ニ對シテハ保險スルケレドモ、ソレヲ誘因トシテ起ツタ所ノ色々ナ災害ニ對シテ保險シナイノハ、ドウ云フ譯カト云フ御尋デアツタト思ヒマスガ、其ノ災害ト保險事故トノ關係ヲ客觀的ニ見テ、ドノ程度ニ之ヲ打切ルカト云フコトデアリマス、旱害等ニ當然追隨シテ起ル病蟲害、例ヘバ白葉枯病、旱害立病ト云フヤウナモノニ付テハ、保險ヲ致シテ居ルヤウナ次第デゴザイマシテ、風害ヲ原因トシテ斯ウ云フ障害モ出テ來ク、斯ウ云フ障害モ出テ來タト云フノデ、ソレヲズツト辿ツテ參リマシテ、是モ保險スベキモノダト云フコトデハ保險ハ成立チマセヌノデ、保險スベキ災害ノ範圍ヲ自然

ニ薄ラダ、立法形式ハ完備スルケレドモ、其ノ内容ハ充タサレナイ、日本ノ農業ハ既ニ當局ノ御研究ノ通り、亞熱帶、溫帶、亞寒帶、此ノ三ツニ總テガ分ケラレル、北日本カラ東北地方、北海道ニ掛ケテノ農家ノ損害ノ主タルモノハ、冷害或ハ霜害デアリマス、農家負債ノ原因ヲ尋ネルト、自然的障害ニ依ツテ收穫ヲ掠奪サレタコトニ原因スル、之ヲ吾々カラ見ルナラバ、保險ノ目的ニ依ツテ、狭イ地域ニ於テ相互ニ損害ヲ防グト云フコトハ、可能ノ言葉ノ外ニ出テシマフ、例ヘバ燺ノオブヒ合ヒデアル、是ガ國家ノ立場ニ於テ果シテ妥當ナル立法デアラウカト云フト、吾々ノ立場カラ見ルト、形式ハ完備シテ居ルガ、内容ハ餘リニモ頼リニナラヌ、多年要望シタ目的ト去ツテシマツテ居ル、此ノ保險法ガ亞熱帶或ハ暖かい地方ニ對シマシテハ適スル地域モアリマセウ、ケレドモ冷ヤカナ地方ニ對シマシテハ有難クナイ、當局ハ此ノ點ハドウ云フ工合ニ考ヘテ居ルカ、果シテ道德觀念ト因果關係ガアツテ、ドウダ斯ウダト云フヤウナ感じト、事實表現利益ノ障害ニ對スル保險ト云フ目的カラ見テ、當局ハ此ノ法ヲ以テ完璧ナリトスルカ、或ハ補正ヲ加ヘル餘地ガアルト考ヘマスカ、此ノ點ヲ御聽キシタイ

ノデアリマス

○小濱政府委員 保險ノ制度ヲ立案致シマスニ當リマシテ、收穫保險ヲ考ヘマスル場合ニハ、農家ノ收入ノ大部分ヲ占メテ居ルモノ、而シテソレガ廣ク耕作セラレテ居ルト云フモノデアリマス水稻ト桑、ソレカラ麥ト云フモノト致シマシタノデアリマス、是ガ農家ノ收入ノ全般的ニ互リマシテ、廣ク收入ノ大部分ヲ占メテ居ルノダカラ、先ヅ是カラヤツテ行ツタ宜イノデハナイカ、更ニ之ニ對シマスル被害ニ付キマシテハ、ドウセ農業保險ハ各郡デ農業保險組合ヲ作リマシテ、更ニ之ヲ府縣デ府縣全體トシテ再保險ヲ致シマス、更ニ之ヲ國全體トシテ再保險ヲ致シマス、危險ヲ先ヅ最初ニ郡ノ地域デ分散致シテオ互ニ負擔スル、更ニソレヲ府縣ノ區域ニ擴ゲマシテ危險ヲ分散スル、更ニ之ヲ全國的ニ分散シテ行クト云フ風ナ組織ニ考ヘル方ガ宜シイ、而シテ其ノ場合ニ於テハ、廣ク何レノ地方ニ於テモ起リ得ル災害ニ付テ、廣ク保險ノ制度ヲ立テル方ガ宜シイト云フコトカラ出發シテ參ツタノデアリマス、東北地方ニ於キマシテ、冷害ガ災害ノ非常ナ重要ナル部分ヲ占メテ居ルト云フコトモ承知致シテ居リマス、併シナガラ東北地方ニ於キマシテモ、水害モ

ゴザイマスルシ、早害モゴザイマス、雹害モゴザイマスレバ凍害モゴザイマス、東北地方ニアル冷害ヲ入レナイガ故ニ、此ノ保險ハ東北地方ニ對シテ適用ガナイトハ、是ハ意見ニ涉リマスガ、サウハ考ヘラレナイノデヤナイカト思ヒマス、唯冷害ニ付キマシテハ、其ノ發生ノ過去ノ統計ヲ見テミマスト、非常ニ大キナ災害ガ時期的ニ起ツテ居ルノデアリマス、危險ノ分散ガ立體的ニ見マシテ、年度別ニ見マシテ危險ガ分散セラレテ居ラナイ、或ル年ニハ非常ニ冷害ノ起リマスル工合ガ偏ツテ起ルト云フ風ナ状態ニアリマスノデゴザイマス、災害ノ起ル工合ガ、サウ云フ風ニナツテ居リマスルト、例ヘバ十年置キニハ非常ニ大キナ災害ガ起ルト云フコトニナリマス、其ノ十年目ニ起リマス災害ヲ「カバ」致シマス爲ニハ、ソレダケニ必要ナルモノヲ十年間ニ割ツテ之ヲ積立テ置クト云フ風ナヤリ方ト、同ジヤウナ觀念ニ達スルヤウナ、過去ノ被害ノ状態ガサウ云フ風ナ状態ニナツテ居リマス、是ハ保險ノ中ニ採入レルコトガ適當デヤナイト云フ風ニ、一應考ヘマシタノデアリマス、併シナガラ冷害ニ對スル災害ノ統計等モ、十分ニ完備シテ居ラナイ點モゴザイマス、更ニソレ等ノ點ニ付キマシテ完備

ヲ期シ、又一應サウハ考ヘテ、昨年ノ保險法ノ中ニハ冷害ヲ保險事故ノ中ニ入レテ居リマセヌケレドモ、是ハ保險事故ノ中ニ採入レテヤリ得ルモノナリヤ否ヤ、採入レテヤリ得ナイトスルナラバ、別途ニ如何ナル方法デ、此ノ災害ニ對シテ考フベキカト云フコトニ付キマシテハ、引續キ研究ヲスルト云フコトデ、農業災害保險調査會ニ懸ケマシテ、更ニソレガ特別委員會ニ今懸ツテ居リマシテ、其處デ折角審議中ノヤウナ譯合デアリマスカラ、其點ハ一ツ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○深澤委員 ヨク分リマシタ、次ニ今一點御伺致シタイト思ヒマス、麥ノ赤錆ト云フノガ、東北地方カラ北海道ニ多イデスガ、之ヲ麥類ノ保險目的内ニ入レルト云フ御意見デスカ、入レナイト云フ御意見デスカ、簡單ニ御伺致シマス

○小濱政府委員 只今施行サレテ居リマスル此ノ保險ノ中ニハ、病害蟲ノ保險事故トシテ赤錆ハ入ツテ居リマセヌ、併シナガラサウ云フモノニ付テハ、之ヲドウ扱フカト云フコトニ付テハ、研究ノ餘地ガアラウカト考ヘテ居リマスガ、現在ノ所デハ保險ノ事故ノ中ニ入レテ居リマセヌ

○深澤委員 實ハ私モ農業者デ、北海道デ

三十五年ヤツテ居リマスガ、雨ノ多イ濕潤ノ年ニハ必ズ此ノ赤錆ガ出ルノデス、ソレカラ天氣ノ好イ年ニハ是ハ少イノデス、是ハ直接麥ニ對シマシテハ、自然障害ヲ其ノ目的トシテ居リマスガ、赤錆ノ如キハ自然障害ガ非常ニ多イノデス、學說カラ論ジテモ、技術的ニ見レバ相半バスルノデス、ケレドモ保險ノ目的カラ見テ、サウ年々アル病氣デヤナイノデス、雨量ノ多イ濕氣ノ多イ、所謂濕潤ノ多イ年ニハ赤錆ガ多イノデ、是ハ慎重ニ御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス、私ハ議論ノ爲ノ議論ヲスルノデハアリマセヌ、唯要スルニ今ノ農村ト云フモノヲ見タ時ニ、法令ハ世界一カモ知レマセヌ、列強ヲ見マシテモ、日本程法令ノ完備シテ居ル國ハナイト思ヒマス、ケレドモ又農村社會問題ノ發生スル領域ガ、量ニ於テモ又質ニ於テモ非常ニ多イノデアリマス、デスカラ形式ハ問ハヌ、本質ノ狙ヒドコロヲ自分ハ希望スルノデス、之ヲ以テ私ノ質問ヲ終リマス

○松村(謙)政府委員 只今ノ内容ノ御話ハ能ク承リマシタ、冷害ノ問題ハ實ハ去年ノ議會デモ非常ナ問題ニナリマシタノデ、何トカシテ此ノ中ヘ加ヘ得ルモノナラバ加ヘタイト存ジテ、只今局長ノ御答辯モゴザイマ

シタ通りニ、折角委員會ヲ設ケテヤツテ居ル所デス、ソレデ其ノ方針デヤツテ見テ、ドウシテモ保險ニ入レルコトガ出來マセヌナラバ、已ムヲ得ズ他ノ方法ヲ以テ此ノ冷害ニ對處シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスカラ、ドウカ左様御承知ヲ願ヒマス

○深澤委員 承知致シマシタ

○板谷委員長 松木弘君

○松本委員 此ノ機會ニ當局ニ對シテ雪害ノ防止救済ニ對シテ、政府ニ適切ナル對策ガアルカナイカラ御尋ネシタイノデス、只今冷害ニ付テ色々説明ガアリマシタ、冷害、雪害ハ運用上大分保險制度ニ加ヘルコトハ難カシイト云フコトハ、私共ニモ考ヘサセラルルノデアリマス、ソコデ政府ハ冷害ニ付テハ、只今色々考慮ニナツテ居ルト云フコトデアリマスガ、此ノ問題ニ付テ、農業保險制度ノ案ガ出マシタ時ニモ問題ニナツテ、冷害ハ何カ組合ノ共濟制度ニ依ツテ救済スルト云フヤウナ説明ガアツタヤウニ記憶シテ居ルノデアリマス、所ガ今日マデ此ノ雪害ニ對シテハ、何等考慮シテ居ラナイヤウニ考ヘサセラルルノデアリマス、御承知ノ通り雪害ト云ツテモ、雪ノ深イ所ト淺イ所トアリマスカラ非常ニ被害ノ度モ違フノデアリマスカレドモ、非常ニ甚ダシイ

所ニ至リマス、其ノ被害ハ實ニ甚大ナルモノデア、特ニ北陸四縣ノ如キハ、最近二三年非常ナ豪雪ニ襲ハレテ居リマシテ、新潟縣ノ如キハ農作物ノ被害ダケデモ二千四百万圓カラニナツテ居ルノデアリマス、被害ノ數字ハ農林省ヘ行ツテ、既ニ御調べニナツテ居ルデアラウト思フ、同ジ災害デアリマシテモ、風水害、旱害等ニ對シテハ、保險制度其ノ他共濟制度ニ依ツテ救ハレルガ、雪害ハ其ノ聖澤ノ埒外ニ彷徨サセラレテ居ルト云フガ如キコトハ、是ハ甚ダ不公平デナイカト思フノデアリマス、此ノ悲惨ナル被害ニ對シテ、關係ノ縣民ハ屢々農林省ニ陳情シテ居リマスケレドモ、農林省トシテ之ニ對スル適切ナル對策ガ一向ナイヤウニ吾々ハ考ヘサセラレルノデアリマス、勿論豫算ノ關係モアルデアラウト思ヒマス、殊ニ今ヤ東亞新秩序ノ建設ニ向ツテ國民ガ總力ヲ注グベキ時デアリマスカラ、無論忍ブベキハ忍バナケレバナラス、併シ此ノ事變下ニ於テ出征軍人、軍需産業ヘノ轉出ヤ滿洲移民等デ、農村ガ多クノ勞力ヲ減少セシメラレテ居リマス、又物資配給ノ不足ニ惱ミツツアルニモ拘ラズ、生産維持確保ニ對シテ非常ナ犠牲ヲ拂ツテ努力シテ居ルノデア、慘害ノ救濟ト

吾々ガ國家ニ對スル犠牲心トハ、是ハ別個ニ考ヘナケレバナラナイト思フノデア、果シテ政府ハ此ノ雪害ニ對シテ、今日ドノ程度ニ於テ是ガ防止救濟ニ向ツテ對策ヲ考ヘテ居ラレルノデア、何カソコニ救濟ノ途ヲ立テルベク進メラレテ居ルノデアリマス、其ノ點ヲ此ノ機會ニ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○小濱政府委員

雪害ニ依リマスル農業上ノ災害ニ付キマシテハ、是ハ年々繰返サレテ居ル事柄ダゴザイマシテ、之ニ付テハ農林省ト致シマシテモ深甚ノ注意ヲ拂ツテ居リマス、唯農業保險ノ災害ノ中ニ雪害ヲ採入レマスル場合ニ、被害ノ統計等ニ付キマシテ十分ニ完備シナイ部分ダゴザイマス、雪害ニ因ル農作物ノ被害ト申シマスルト、例ヘバ桑ノ木、果樹等ガ雪折ヲシマシタヤウナ部分ヲ、從來保險ニ入レト云フコトヲ言ハレテ居ツタノデハナイカト考ヘテ居リマスガ、サウ云フモノニ付テノ被害ノ統計モ完備シテ居リマセズ、又サウ云フモノヲ入レマスル場合ニ於キマシテ、保險ノ經理ノ上カラモ非常ナ難カシイ問題ガ起リマス、農家ノ主要ナル收穫物デア、所ノ米、麥ト云フモノカラ先ヅ始メマシテ、漸ヲ追ツテ保險スベキ農作物ノ種類ヲ殖ヤシ、更

ニ保險スベキ災害ノ種類ヲ殖ヤシテ行キタイト云フヤウニ考ヘテ、仰セノアリマシタ雪害ノ部分ニ付テハ、農業保險ノ中ニ入レテ居リマセヌ譯デアリマス、ソレデハ雪害ニ對シテハドウ云フコトヲヤツテ居ルカト云フコトニ付キマシテハ、雪害ニ因リマシテ蒙リマスル農作物ノ被害ニ付キマシテハ、雪ノ爲ニ被害ヲ蒙ラナイヤウナ、雪ニ強イ品種ヲ考ヘル必要ガアルト云フノデ、麥等ニ付キマシテ、其ノ品種ヲ考ヘ研究致シマスルト同時ニ、雪ノ下ニアリマス爲ニ生ジマスル色々ナ病害等ニ付テノ防除ヲ如何ニスルカト云フコトニ付テ、數年來助成ヲ致シテ居リマス譯デアリマス、更ニ其ノ外桑ニ付テモ、雪ニ強イ品種ヲ如何ニ作り出スベキカト云フ研究ガ行ハレテ居リマス、更ニ雪ノ爲ニ耕地ガ壞レマシタ部分ニ付テハ、其ノ年々ニ耕地ノ復舊ト云フヤウナコトハヤツテ居リマス、ソレカラ雪ノコトヲ研究致シマス爲ニ、山形縣ノ新庄ニ雪害ノ調査所ト云フモノヲ置イテ、色々調査シテ居ルコトハ御承知ノコトト思ヒマス、其ノ外新潟、富山、石川、福井、京都ノ農事試驗場ヲ指定致シマシテ、雪ニ強イ品種ノ研究ヲ行フ爲ニ其ノ研究費ヲ廻シマシテ、其處デ今研究ヲ致シテ居ルヤウナ部分モゴザイマ

ス

○松木委員 政府ハ色々研究ノ歩ヲ進メラレテ居ルコトハ吾々モ承知シテ居ルノデアリマス、併シソレガ必ズシモ理想通りニハ行ツテ居ナイ、又是ハ保險ニ加ヘルトカ加ヘナイトカ云フコトハ、相當困難ナ問題デアリマセウ、ダカラ同ジ農産物デアツテモ、又農産物ノ種類ニ依ツテ保險事故ニ加ヘ得ベキモノモアルト思ハレルシ、加ヘラレナイモノモアルト思フノデス、ソレ等ハ無論相當研究ノ餘地ガアリ、又研究ヲ願ハナケレバナラスノデアリマスガ、サウ云フ色々保險トカ科學的研究ニ依ル防止ノコトハ、サウ一時ニ其ノ理想ニ到達スルト云フコトハ困難デアリマセウケレドモ、現在被ツテ居ル災害ニ對シテ、何方之ヲ救済スルニ、補助金デモ交付スルト云フヤウナ、一ツノ對策ヲ立テラレルト云フヤウナ御考ハナイデアリマセウカ、雪害ニ對シテ農林省ガ補助規則ヲ作ツテ、サウシテ其ノ被害ニ對シテ補助スルト云フヤウナ御考ハナイノデアリマス、其ノ點ヲ尙ホ伺ツテ見タイト思ヒマス

○松村(謙)政府委員 實ハ私モ其ノ雪害被害地ノ者デアリマシテ、私カラ答辯致スノハ如何ニモ手前味噌ノヤウニ思ヒマスカラ、

農務局長カラ答辯ヲ願フコトニ致シマス

○小濱政府委員 雪害ニ關シマシテハ、雪

害ノ爲ニ耕地ガ壞レタト云フ風ナモノニ付テハ、如何ニ復舊スルカト云フコトニ付テ、雪害ノ爲ニ生ジマシタ耕地ノ被害等ニ付テ

ノ助成ハ、年々致シテ居リマスコトハ、是ハ御承知ノ通りト思ヒマス、雪害ナルガ故

ニ幾ラノ助成金ヲ出スト云フ、別途ノ雪害ノ爲ノ助成金ト云フモノハ、一括シテ別ニ考ヘテ居ルト云フモノハゴザイマセヌ

○松本委員 ソレヲ一ツ御考願ヒタイト思ヒマス

○松村(謙)政府委員 其ノ點ニ付キマシテ、多少恆久化シタ施設モ現ニアルヤウデアリ

マス、例ヘバ内務省方面ニ於テ、雪害ニ因ル道路ノ修繕維持ニ付キマシテハ、別ニ項ハ置キマセヌケレドモ、實質ニ於テ繼續的ニ考ヘルコトニナツテ居リマスコトハ、

松木サン御承知ノ通りデアリマス、斯ウ云フヤウナ部分々々ニ付テ年々受クル被害ニ付キマシテハ、是ハ十分農業上ノ方面ニ於テモ考慮セネバナラヌコトト云フ風ニ考ヘ

マシテ、出來ルダケ斯様ノコトニ努力ヲ致シタイト思ヒマス

○松本委員 内務省ニハ災害ニ對スルサウ云フ規定ガアルコトハ承知シテ居リマスガ、

農林省ニハナイモノデアリマスカラ、結局

吾々ガ幾ラ陳情シテモ、到頭金ガナイカラト言ツテ逃ゲラレテシマフ、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、何トカーツ御考ヲ願ヒタイ

○板谷委員長 森幸太郎君

○森委員 私ノ質問ハ極ク簡單ナ問題デア

リマスガ、其ノ内容ハ餘程重大ナ意味ヲ持ツテ居ルモノト思フデアリマス、先程ノ平野委員ノ御質問ニ對シテ、當局ノ御説明ニ付テ一應伺ツテ置キタイト思フデアリマス、昨年度ノ蠶作ノ不安定デアツタコトデアリマス、戰時體制ニ於テ、農家ハ何トシテデモ收入ノ増高ヲ圖ツテ居ル時代ニ於

キマシテ、遺憾ナガラ昨年ハ蠶作ガ非常ニ悪カツタ、府縣ニ依リマシテハ全滅ト云フ

程度マデノ甚シイ所ガアリマシタ、其ノ原因ハ何レニアルカ、政府ニ於テモ只今調査ニナツテ居ルコトト思ヒマスガ、併シ此ノ

調査タルヤ、何時結論ヲ得ラレルカ分ラナイト思ヒマス、要スルニ國産系統ノ品種ガ

悪カツタノダト云フ風ニ民間デハ考ヘテ居リマスガ、政府當局ト致シマシテハ、國産

系統ノ百十一號デアリマスガ、是ハ悪イノデハナイ、決シテ全部ニサウ云フ成績ヲ見

テ居ルノデハナイノデ、所ニ依ツテハ非常

ナ成績ヲ舉ゲテ居ル所モアルカラト、斯ウ云フ風ニ説明シテ居ラレマスガ、併シ事實ハ事實デアリマス、民間デ製造致シマシタ

會社ノ持つテ居リマス品種ノ方ガ良クテ、國産系統ノ方ガ悪カツタ、只今モ政府カラ

ノ御説明ニ依リマス、決シテ悪イ品種デハナイノデアルケレドモ、養蠶家ガ懲リテ居リ、ソレヲ更ニ押詰メルコトハ事實上困ル、ソレデ出來ナイコトト思フカラ、茲ニ今マ

デ持つテ居ツタ品種ノ中デ性質ノ強イ、蠶作ノ安定ヲ保證シ得ラレル所ノ品種ヲ出ス

コトニシタ、斯ウ云フ御説明ヲ承ツタノデアリマス、此ノ場合ニ私ノ御尋致シタイコトハ、既ニ養蠶家ガ十三年度ニ於テ非常ニ

迷惑ヲ致シ、新シク品種ヲ御出シニナリマシテモ、其ノ品種ハ十四年度ヨリ飼育シ得

ルコトガ出來ルノデアリマスガ、十五年度ニ至ラナケレバ飼育ガ出來ナイノデアリマ

スカ、十四年度カラ直チニ飼育シ得ルヤウニ原種ヲ御配付ニナルノデアアルカ、先ヅ

第一ニ此ノ點ヲ承ツテ置キマス

○吉田政府委員 新シク出シマシタ品種ハ十四年度ノ晩秋蠶ニ使用出來ルヤウニト云

フコトデ、實ハ出シタノデアリマス、御承知

ノ通り十五年カラハ、原蠶種國家管理法ガ出マスノデ、一月ノ半バニ實ハ原蠶種國家

管理法施行ニ關係致シマス品種ノ決定ニ付

キマシテ、蠶品種審査會ヲ開イタノデアリ

マス、其ノ際ニ決メテモ宜カラウカト考ヘ

タノデアリマスケレドモ、先程モ御話ノア

リマシタヤウニ、十四年、未ダ原蠶種國家管

理法ノ施行以前ノ一年デゴザイマスガ、其

ノ一年ニモヤハリ使用スルコトガ宜カラウ

ト云フコトデ、實ハ昨年ノ暮ニ、原蠶種國

家管理法ニ依ラナイ從來ノ配給規程ニ依リ

マシテ、實ハ指定ヲ致シタノデアリマス、

隨ヒマシテ十四年ノ晩秋蠶ニハ配付出來ル

順序デ、準備致シテ居ルノデアリマス

○森委員 能ク了解致シマシタ、十三年度

ノ成績ガ悪カツタコトニ依ツテ、ソレデ初

メテ十四年度ハ、改メテ養蠶家ガ安心シタ

品種ヲ飼育スルコトガ出來ルノデアリマス、

所ガ今御話ノ如クニ、今後ハ原蠶種國家管

理法ノ施行年度ニ入ルノデアリマスガ、將

來ニ於テ十三年度ノヤウナ不作ヲ見タ場合

ニ、此ノ品種ヨリモ更ニ斯ウ云フ適當ナ品

種ガアルト云フコトヲ、國産試驗場ニ於テ

考ヘラレタ場合ニ、或ハ又生絲ノ需要關係

ニ依リマシテ、斯ウ云フ品種ガ必要デア

ルト云フコトヲ當業者ガ痛切ニ感シタ場合ニ、

其ノ品種ヲドウ云フ風ニシテ普及サレル方

法ヲ御執リニナルカ、申上ゲルマデモナク、

原蠶種國家管理法ガ施行サレマス、國產試驗場ガ出サレタ品種ハ、五年目デナケレバ養蠶家ニ廻ラナイノデアリマス、ドウ云フ方法ヲ考ヘマシテモ、五年目ニ至ラナケレバ養蠶家ハ之ヲ飼育スルコトガ出來ナイ窮屈ナ法律ニナツテ居ルノデアリマス、昨年ノ如キ違作ノアツタ場合ニ、或ハ又需要先ニ依ツテ品種ヲ更ニ交換シナケレバナラヌヤウナ場合ニ迫ラレタ時ニ、此ノ原蠶種國家管理法ガアルガ爲ニ、非常ニ不都合ヲ來スヤウニ思フノデアリマス、此ノ場合ニ政府ハドウ云フ便法ヲ御執リニナル積リデアリマスカ、此ノ點ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○吉田政府委員 原蠶種國家管理法ガ施行致サレマス準備トシテ、先年來各道府縣ニ於テ、原原種或ハ原蠶種ヲ製造致シマス物的設備ノ方ノ準備ハ、著々ヤツテ參ツタノデゴザイマス、又ソレト共ニ原蠶種國家管理法施行後ニ於テ使用サレマス品種ノ決定ト云フコトモ、一面其ノ準備ヲ進メテ參ツタノデゴザイマスガ、物的設備ノ方ハ、大分豫定通り完成ヲ見ル運ビニ至ツテ居リマス、一面此ノ品種ノ問題ニ付キマシテハ、御承知ノ通り蠶品種審査會デ其ノ品種並ニ交配形式ヲ決定スル、斯ウ云フコトニナツテ居

ルノデアリマシテ、是ハ實ハ今年一月ノ十二日、十三日ノ兩日ニ互ツテ開イタノデアリマスガ、是ハ第三回目デゴザイマス、第一回、第二回ノ蠶品種審査會ニ於キマシテハ、大體ニ於テ春蠶ニ適當スル蠶品種並ニ其ノ交配形式ヲ決定致シタノデゴザイマシタガ、大體夏秋蠶ノ方ハ、當時政府ノ方デ出シタモノヲ、二交配形式ヲ第一回ニ決メテ居ツタノデアリマスガ、其ノ後社產系ト申シマスカ、民間ノ有力會社ニ於テ案出シテ作り出シタモノモ相當アリマシタ、此ノ提出ヲ實ハ求メマシテ、サウシテ其ノ性状等ニ付テ數年來研究致シテ居ツタノデゴザイマシテ、ソレヲ其ノ試驗ノ結果成績ノ纏マシマシタ上ニ、蠶品種審査會ニ掛ケテ、實ハ管理法ノ施行マデニハ間ニ合フヤウニ、斯ウ云フ豫定デ、實ハ夏秋蠶ノ方ハ少シ遅レタノデアリマス、春蠶ノ方ハ第一回、第二回デ大體御決メヲ願ツタノデアリマシテ、品種ノ數ハ十六アリマス、即チ十六品種ヲ交配形式十一ト云フコトデ御決定ヲ願ツテ居ルノデアリマス、ソレデ夏秋蠶ノ方ハ第一回、第二回デハ、品種ノ數モ交配形式ノ數モ少ナカツタノデアリマスガ、此ノ間開キマシタ蠶品種審査會デハ、主トシテ夏秋蠶ニ關スル品種並ニ交配形式ヲ御決定願ツ

タノデアリマス、其ノ結果トシテ夏秋蠶ニ適當ナモノトシテハ、品種ノ數ガ多分十二ト思ヒマスガ、此ノ十二品種デハ交配形式ト云フモノガ決メラレタノデアリマス、斯様デシテ晚秋蠶ト夏秋蠶トノ品種並ニ交配形式ガ決定致シマシテ、茲ニ設備モ完成シテ、種ノ方ノ關係モ是デ完備致シマシタト思フノデアリマス、來年カラ管理法ヲ施行致シマシテモ、其ノ關係ノ準備ハ出來テ居ルト思フノデゴザイマス、今森サンノ仰シヤイマシタノハ、今後新シイ品種ガ出來タ際ニ、是ハ追加シテ行クコトニナルト思フノデアリマス、或ハ現在指定サレマシタ品種ノ中デモ、成績ノ良クナイモノハ寧ロ削減シテ行クト云フコトモ、今後行ハレルト思フノデアリマス、森サンノ仰シヤイマスノハ、新シク是カラ研究シ改善サレテ新シイ品種ガ出タ場合ニ、之ヲ普及スルノニ五年モ掛ルデヤナイカ、斯ウ云フ御説ナノデアリマス、今日マデ實ハ準備ヲ致シマスル爲ニ、色々ナ性狀調査デアルト云フコトヲ、實ハ十五年ニヤル豫定ヲ以テ、色々相當年月ヲ掛ケテ丁寧ニ試驗研究ヲ致シテ居リマシタノデ、從來ノヤリ方デゴザイマスト、非常ニ氣長ナモノデ、蠶品種審査會デ決マルマデノ間ニ、相當年月ガ掛ツタカノ

如キ感ガアルノデゴザイマスガ、今後ハサウ云フコトデナク、モウ少シ民間アタリデ相當廣ク試驗研究ヲヤラセマシテ、其ノ成績ヲ以テマシテ直チニ調書ヲ作りマシテ、蠶品種審査會ニ掛ケル、其處デ決定サレタモノハ、出來得ル限り速ニ普及サセルト云フコトニ致シマシテ、成ベク調査デアリマストカ、研究デアリマストカ、所謂事前ノ準備ノ試驗研究等ニ付キマシテハ、出來得ル限りノ便法ヲ講ジマシテ、早く決定シ、決定致シマシタナラバ、出來得ル限り早く配付スルト云フコトニ、極力努メテ行キタイト考ヘテ居リマスケレドモ、森サンノ仰シヤイマシタヤウニ、五年モ掛ルモノトハ考ヘテ居ラスノデアリマス、私モ正確ナコトハ、技術ニ涉リマスノデ、能ク存ジマセヌケレドモ、サウ長クハ掛ラナイデ宜カラウト考ヘテ居リマス、試驗研究ニ付キマシテモ、寄り／＼業者トモ能ク相談ヲ致シマシテ、國ノ試驗機關、會社ノ研究機關ト協力一致致シマシテ、極力良イモノヲ早く出スト云フコトニシテ行カウト云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、出來得ル限り御心配ノナイヤウニ運用致シテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○森委員 益、分ラヌヤウニナツタノデ

ス、此ノ間或ル會合ニ於テ、原蠶種國家管理
法ノ施行ニ臨ンデモ、政府ハ當業者ニ迷
惑ノ掛ラナイヤウニ、何トカ良イ方法ヲ考
ヘヨウト云フコトヲ、御聲明ニナツタヤウ
ニ聞イテ居リマシタ、只今御話ノ審議會ニ
掛ツテ決定シタラ、直チニ之ヲ配付スルヤ
ウニ手續ヲスル、ダカラ五年モ掛ラナイト
仰シヤツタヤウデスガ、五年掛ラズシテ此
ノ原蠶種國家管理ノ施行ハ出來ルノデスガ、
審議會ニ掛ツテ、此ノ品種ハ是ハ良イ品種
ガ、初メテ決定シテ發表サレマシテカラ、
國ノ蠶絲試驗場ヨリ府縣ノ原蠶種製造所ヘ
御配付ニナツテ、ソレガ蠶種製造業者ニ行
ツテ、蠶種製造業者カラ更ニ養蠶家ヘ廻ッ
テ來ルノデスカラ、ドウシテモ決定サレテ
カラ四五年ハ必ズ掛ルコトニナル、五年モ
掛ラヌト仰シヤルガ、何方其處ニ良イ方法
デモ御考ニナツタノデスカ

○吉田政府委員 實ハ此ノ作り方ハ、可ナ
リ何回モ養蠶ヲ繰返シテヤリマシテ、殖ヤ
スコトノ出來ルコトハ森サン御承知ノ通り
デアリマス、今年國ノ方デ作ツタモノハ、
來年ハ原種ノ製造、再來年ハ普通蠶種ノ製
造ト云フヤウニ、氣長ニヤラセルト云フ考
ハ持つテ居ラヌノデアリマス、殖ヤシ得ル

コトハ、ソレハ極力原蠶種管理法施行後ニ
於キマシテハ早く殖ヤシテ行ク、何回モ飼
ヒマシテ、出來得ル限りヤツテ行クコトニ
付テハ極力努メタイ、斯様ニ考ヘマスルノ
デ、其ノ點ハ餘リ長ク掛ラナイデ行クト思
ツテ居ルノデゴザイマス、是ハ技術的デ何
時配付シタモノガ何時種ガ出來、次ノ養蠶
ハ何時出來ルト云フコトニ付キマシテハ、
私モ能ク存ジマセヌガ、何回モ出來ル、場
合ニ依リマシテハ暖地ニ持つテ行キマ
シテ、早く種ニナリ得ル方法モアルノデア
リマシテ、極力努メルコトニ致シマスレバ、
五年モ掛ラナイデ相當廣イ範圍ニ出來ルト、
斯ウ云フコトニ考ヘテ居ルノデゴザイマ
ス、實ハ森サンガ非常ニ長イト仰シヤイマ
スノハ、此ノ移リ變リノ時ニ、此ノ間勅令
ヲ出シマシタコトガ、ズツト永久ニ續クノ
デハナイカト、斯ウ云フヤウニ御考ナノデ
ハナイカト思フノデアリマス、アレハ左様
デハゴザイマセヌノデ、アレハ丁度移リ變
リノ本年ダケノ勅令デゴザイマス、今後原
蠶種ノ管理法ガ施行ニナリマシテカラノ種
ヲ配付致シマス場合ニハ、アノ勅令ハ全
然關係ヲ致シマセヌ、丁度原蠶種管理法ノ
施行ニ移リ變ル時ダケノ規定デ、今年一年
ダケノ勅令デゴザイマスカラ、左様御承知

ヲ願ヒタイノデアリマス
○森委員 サウシマスト、俗ニ言フ文化蠶
種ヲ御認メニナルト云フコトト思ヒマスガ、
サウスルト國ニ於キマシテハ、文化蠶種ヲ
製造スル諸般ノ設備ハ完成出來テ居ルノデ
スカ

○吉田政府委員 大體私モ試驗場等ニ付テ
色々聞イテ居ルノデアリマスガ、大體出來
得ル見込デ居ルノデゴザイマス

○板谷委員長 野溝君ニ一寸申上ゲテ置キ
タイト思ヒマスガ、御承知ノ通り此ノ委員
會ニ付託サレテ居ル所ノ議案ハ五件アリマ
ス、ソコデ出來得ルナラバ各案ニ對スル質
疑ヲ、成ベク順序ヲ逐ウテ片付ケテ行キタ
イト云フ方針デ、今日マデ進ンデ來タノデ
アリマスガ、アナタノ質疑ノ發言ノ要求ハ
農業保險デアリマスガ、此ノ問題ニ付テハ
昨日來大分質疑應答ガ重ネラレタノデアリ
マス、アナタハ本月初メテ飛入りデオ出デ
ニナツタノデアリマシテ、ドウモ段々飛入
リノ方ガ新規ニヤツテ來ラレマス、イツ
マデ經ツテモ中々議案ガ片付キマセヌ、デ
アルカラアナタノ御質疑ニ對シテハ適當ノ
時期ニ御許ラシマス、御許ラシマスガ、併
シ大體農林省關係ノ質疑ニ對シテハ、終了
シタト看做シテモ差支アリマセヌカ

○板谷委員長 ソレダケハ一ツ適當ノ時機
ニ許シマスカラ、必ズ自席ヲ保ツテ居テ貴
ヒタイ、ソレカラ坂本サン、アナタカラモ御
要求ガアリマシタガ、アナタニ對シテモ適
當ノ時機ニ御許ラシマスカラ、必ズ自席ヲ
保ツテ居ルヤウニ御願ヒ致シマス、是ニデ
休憩シマス、午後一時半ヨリ開會致シマス
午後零時十分休憩
午後二時十分開議

○谷口政府委員 昨日田中サンカラ獻品ノ
目的デ以テ獻金シタ、其ノ獻納金ヲドウ云
フモノニ使ツタカト云フ、品物ノ御尋ガア
リマシタ、ソレニ御答致シマス、是ハ支那
事變ガ始ツテカラ後ノコトヲ申上ゲルノデ
アリマスガ、陸軍關係デハ飛行機ガ百七十
七、高射砲ガ百三十一、機關銃ガ五百六十
六、鐵兜ガ一千六百十三、防毒「マスク」ガ
五千六百七十、ソレカラ毛布ガ四万一千六
百一、軍馬一千六十三、其ノ他色々アリマ
スノデスガ、數量ノ多イモノヲ申シマシタ、

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○板谷委員長 ソレダケハ一ツ適當ノ時機
ニ許シマスカラ、必ズ自席ヲ保ツテ居テ貴
ヒタイ、ソレカラ坂本サン、アナタカラモ御
要求ガアリマシタガ、アナタニ對シテモ適
當ノ時機ニ御許ラシマスカラ、必ズ自席ヲ
保ツテ居ルヤウニ御願ヒ致シマス、是ニデ
休憩シマス、午後一時半ヨリ開會致シマス
午後零時十分休憩
午後二時十分開議

○谷口政府委員 昨日田中サンカラ獻品ノ
目的デ以テ獻金シタ、其ノ獻納金ヲドウ云
フモノニ使ツタカト云フ、品物ノ御尋ガア
リマシタ、ソレニ御答致シマス、是ハ支那
事變ガ始ツテカラ後ノコトヲ申上ゲルノデ
アリマスガ、陸軍關係デハ飛行機ガ百七十
七、高射砲ガ百三十一、機關銃ガ五百六十
六、鐵兜ガ一千六百十三、防毒「マスク」ガ
五千六百七十、ソレカラ毛布ガ四万一千六
百一、軍馬一千六十三、其ノ他色々アリマ
スノデスガ、數量ノ多イモノヲ申シマシタ、

○谷口政府委員 昨日田中サンカラ獻品ノ
目的デ以テ獻金シタ、其ノ獻納金ヲドウ云
フモノニ使ツタカト云フ、品物ノ御尋ガア
リマシタ、ソレニ御答致シマス、是ハ支那
事變ガ始ツテカラ後ノコトヲ申上ゲルノデ
アリマスガ、陸軍關係デハ飛行機ガ百七十
七、高射砲ガ百三十一、機關銃ガ五百六十
六、鐵兜ガ一千六百十三、防毒「マスク」ガ
五千六百七十、ソレカラ毛布ガ四万一千六
百一、軍馬一千六十三、其ノ他色々アリマ
スノデスガ、數量ノ多イモノヲ申シマシタ、

品物ニ付キマシテハ、其ノ他ト致シマシテ
戰車、裝甲車、觀測車、無線ノ機械、電話
機械、探照燈、聽音機、自動車等ガアリマ
ス、數量ハ省略シテ置キマス、ソレカラ海
軍ノ關係ト致シマシテハ、飛行機ガ百八十
八、ソレカラ自動車ガ九十五、是モ支那事
變ガ始マリマシテカラ後ノ數字ヲ申上ゲテ
居リマス、ソレカラ内火艇ガ十二、機銃類
八十七、受信機百三十六、鐵兜三百二、望
遠鏡百七十三、其ノ他品物ト致シマシテハ、
聽音機デアリマス、觀測車デアリマス
トカ、マスクリデアリマス、戰車モアリ
マス、方向測距儀、大體サウ云フヤウナ狀況デ
アリマス、是等ノ品物ヲ寄附スルト云フ趣旨デ
金サレタモノデアリマス、恤兵ノ趣旨デ獻納サ
レマシタモノニ付キマシテハ、ソレハ當局ニ
於キマシテ恤兵品ヲ購入シテ戰地ヘ送りマ
ストカ、或ハ戰病死者ニ弔慰金ヲ出シマス
トカ、其ノ他軍事扶助事業ト云フヤウナモ
ノニ寄附シタリナドシテ居ルノデアリマス、
兩當局ニ於キマシテハ、國民各位ノ御援助
ニ對シテハ、深く感謝致シテ居ル次第デア
リマス、

七、高射砲百三十一、機銃五百六十六、鐵
兜一千六百十三、防毒「マスク」五千六百七
十トカ云フヤウニ色々聞キマシタガ、大體
ドノ位ノ金額ニ於テ是ガ支出サレテ居ル
カ、海軍モ同様デアリマス、ソレカラ恤兵
金ハ恤兵品トシテドノ位、ドウ云フ品物ヲ買
ウテ戰地ヘ送ラレタカドウカ、ソレカラ弔
慰ニ使ハレタ金ガドレ位デアルカト云フコ
ト——陸海軍ノ五千万圓ト二千五百万圓ノ
各々ノ金額ニ於テ、飛行機ノ百七十七ニ付
テハドノ位ノ金額ヲ使ツタカト云フ風ナ、
分類別ノ明細ナルモノヲ書面デ配付ヲ願ヒ
タイト思ヒマス、若シ會計ノ方ニ於キマシ
テ、サウ云フコトガ大藏省ノ方デ至難デア
ルト云フコトナラバ、陸海軍ノ方カラ文書
ヲ以テ、モウ少シ明細ニ御示ヲ願ヒタイト
思ヒマス、更ニ私ハ此ノ際政府委員ノ何レ
ノ方カラ御答辯ヲ願ツテモ宜シウゴザイマ
スガ、成程一般ノモノハ大藏省ノ一般會計
ニ充當シテ然リデアアル、他ノモノハ大藏省
ニ入ラヌト斯ウ云フコトデゴザイマシタ
ガ、私共其ノ點ガドウモハツキリ分リマセ
ヌノデ伺ヒタイトデアリマス、然ラバ恤兵
金等ノ如キモノハ、陸軍省ノ方ニ於テ、陸
軍省ノ特別會計ノ方ニデモ之ヲ編入シテ、
其ノ使途ヲ明ニスルト云フコトガ必要デヤ

ナカラウカト思ハレルノデアリマス、是ハ
會計法規ノ上カラ申シマスナラバ、恤兵ノ寄
附ト云フモノハ、單獨其ノ省ニ於テ然ルベ
ク處置ラシテモ差支ナイモノカドウカ、昨
日ノ御答辯ニ依リマス、勝手ニ處置ラシ
テモ宜イト云フ風ニ解釋サレマスケレド
モ、會計法規ノ點カラ考ヘテ見マスルト、サ
ウデナイヤウニ窺ハレルノデアリマスガ、
法規ノ上ニ於キマシテノ點ヲ、ハツキリト
此ノ際御説明ヲ願ヒタイ

○谷口政府委員 陸軍關係ノ飛行機トカ、
高射砲トカ云フヤウナ、今概數ヲ申上ゲマ
シタ中デ軍器關係ノ方ハ、昨日五千万圓ト
申シマシタガ、大體三千万圓バカリデアリ
マス、其ノ他ノモノガ恤兵關係ニ行ツテ居
リマス、尙ホ御尋ノ點ハ、實ハ不調法デソ
コマデ詳シク調べテ居リマセヌカラ、後程
書面デ申上ゲマス、海軍ノ方ハ分ツテ居ル
ノデアリマス、海軍ノ方デハ恤兵ノ方デ約
八百万圓バカリ受取ツテ、其中デ使ヒマシ
タモノヲ申シテ見マス、大日本軍人後援
會トカ云フモノニ寄附シテ、軍事扶助事業
ヲヤツタノガ二十九萬圓、海軍ノ病院ニ於
キマシテ醫療ノ諸施設ヲヤリマシタノガ、
約百三十萬圓バカリアリマス、ソレカラ恤
兵品トカ、救恤品ヲ購入シテ送ツタノガ六

十七萬圓等ガアリマス、差當リ是ダケ申上
ゲテ置キマシテ、出來ルダケ詳シイコトハ
後程御答辯シタイト思ヒマス、ソレカラ後
段ノ御質問ノ陸海軍デ預ツテ居ツテ、其ノ儘
使ツテシマフト云フコトヲ、會計法ノ上カ
ラ見タラドウデアアルカト云フ點デアリマス
ガ、國ニ入りマシタモノハ一切國ノ歳入ト
シ、出スモノハ國ノ歳出トシテ出スノガ、
是ガ會計上正シイコトデアリマシテ、是ハ
御承知ノ通りデアリマス、只今話題ニ上ツ
テ居リマス所ノ品物ヲ獻納スルト云フ趣旨
デ獻金スルト云フ方面ハ、色々沿革ガゴザ
イマシテ、初メハ飛行機ヲ寄附スル、ソレ
カラ又恤兵ノ毛布ヲ寄附スルト云フヤウナ
趣旨デ、品物ヲ持ツテ來ルト云フ所カラ出
發シテ居ルモノデアアルノデアリマス、沿革
上現在ノ制度ニナリマス前ニハ、品物ヲ寄
附致シマス、併シソレヲ便宜現金ニ致シタ
イト云フヤウナ時ニハ、帝國在郷軍人會其
ノ他ガ仲ニ立ツテ、便宜現金ヲ預ツタリ出
入ラシタヤウナコトモアルノデアリマス、
併シナガラ會計上ノ建前トシテハ、サウ云
フ風ニ政府ノ中ノ一部局デ以テ收入ガア
リ、其ノ儘支出ニシテシマフト云フコト
ハ、全體ノ會計ノ上カラ面白クナイト思ハ
レルヤウニナリマシテ、昭和十二年ニハ法

規ノ一部ヲ改正致シマシテ、今ノヤウニ品物ヲ獻納スルト云フ趣旨デ、便宜金デ以テ獻金スルト云フモノモ、政府ノ方デ保管スル、サシウテ歳入歳出外ノ現金トシテ、會計ノ規定ニ從ツテ出納ヲヤルト云フ建前ニ改正致シマシタ、ソレデ之ヲ要シマスルニ、會計ノ本筋カラ申シマシテモ、凡ソ收入ノアルモノハ政府ノ歳入トシテ、ソレヲ入用ノ時ニハ歳出トシテ組ムノガ本筋デアリマスケレドモ、斯ウ云フ恤兵品デアリマストカ、色々軍ノ要スル品物ヲ獻納スルト云フヤウナ趣旨デ、便宜獻金スルト云フモノニ付キマシテハ——恤兵金ニ付テハ隨分古クカラ、陸軍、海軍デ保管シテ宜シイト云フコトガアリマサガ、飛行機其ノ他大砲ト云フヤウナモノヲ獻納スル趣旨デ獻金スルモノニ付キマシテモ、昭和十二年ニ制度ヲ設ケマシテ、保管ヲシテ、會計法令ノ規定ニ從ツテ歳入歳出外ノ現金トシテ保管スルト云フコトニ、只今デハナツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ陸海軍ガ此ノ種ノ獻金ヲ受取ツテ、ソレヲ保管シテ、獻納者ノ獻納ノ趣旨ニ基イテ品物ヲ購買スル爲ニ支出スルト云フヤウナモノニモ、大體會計規則ニ從ヒマシテ、歳入歳出外ノ現金トシテノ規律ヲ受ケ、又監督ヲ受ケテ居ルト云

フヤウナ狀況ニナツテ居リマス
○田中委員 大體了承致シマシタガ、然ラバ歳入歳出外ノ現金トシテ保管ヲ致ス時ニ於キマシテ、假ニ飛行機ヲ拵ヘルニシマシテモ、高射砲ヲ造ルニ致シマシテモ、之ヲ或ハ陸海軍ノ兵器製造廠ニ於テヤリマスカ、又民間ノ兵器製造會社ニ之ヲ委託シテ、サウシテ陸海軍ノ規格ニ合フモノヲ造リ上ゲテ、其ノ範圍内ニ於テ金錢ヲ支拂フ、サウシテソレヲ物件ニ於テ採納スルト云フコトニナルノデアリマスカ、隨テ歳入歳出外ノ現金取扱ト致シマシテモ、會計上ノ規定ニ從ツテ、ソレハ明ニサレテ居ルコトダラウト想像サレルノデアリマス、故ニ今日ノ如キ各民間ノ新聞社或ハ各種團體、或ハ其ノ他ノ個人等カラ、國民ノ熱誠ヲ以テ捧ゲラレマシタス様ナ尊イ獻金ニ對シマシテハ、先ヅ大體下ノ位ナモノガ採納サレテ、サウシテソレガ非常ナ性能ヲ發揮シタト云フヤウナコトヲ知ラセルトコガ必要デハナイカト思フ、偶、飛行機ノ如キモノガ非常ニ働イテ役ニ立ツタト云フヤウナコトヲ、新聞ノ記事ニ於テ拜見スル場合モアリマサガ、一體ドウ云フ風ニ是等ノモノガ獻納サレテ、サウシテソレガドウ云フ風ニ役立ツタト云フヤウナコトヲ、中間的ニデモ國民ノ前ニ

知ラシメルコトガ必要チヤナカラウカト思フノデアリマス、大體各新聞紙上ニ於テ、陸海軍並ニ大藏當局ガ、此ノ數字並ニ從來ノ經過ヲ一應發表シテ、國民ニ能ク之ヲ知ラシメテ、サウシテ一面ニ於テ國民ニ對シテ政府ガ感謝ヲスルト同時ニ、更ニ國民ノ熱意ヲ之ニ依ツテ生ゼシメルト云フ方法ヲ執ツテ行カナケレバナラナイト私ハ思フノデアリマス、今日私共ガ此ノ委員會ニ於テ承リマスマデ、此ノ金ノ使途ガドウ云フ風ニ使ハレテ居ルカト云フコトガ分ラナカッタノデアリマス、斯ウ云フコトハ速ニ發表ヲシテ戴キマシテ、只今申シマシタヤウニ、國民ニ分ルヤニウスルコトガ必要デアルト思フノデアリマスルガ、政府ハ近ク左様ナコトニ付テ何等カノ方法ヲ御執リニナリマサルカドウカ、又更ニ私諄イヤウデサガ、會計法規トシテハ十分ノ明瞭ニシテ、何時デモ其ノ趣旨ヲ發表出來ルヤウニナツテ居ルモノト信ジテ疑ハスノデアリマスルガ、其ノ點ニ付テモ一ツ念ノ爲ニ御説明ヲ承リタイト思ヒマス
○谷口政府委員 此ノ種ノ獻納金ノ收入、支出ニ付キマシテハ、先程申上ゲマシタヤウニ、歳入歳出外ノ現金ト致シマシテ、保管ヲ嚴重ニ致シマシテ、明細ニ常ニ記錄致

シテ居リマスルコトハ、確ニサウ云フコトヲ嚴重ニ履行致シテ居ルノデアリマス、ソレカラ恤兵金ノ費途ニ付テ仰セノアリマシタコトハ、洵ニ御尤デアルト思フノデアリマシテ、陸海軍當局——政府ト致シマシテモ、國民各位ノ熱誠ナル御援助ニ對シテハ、洵ニ感謝措ク能ハザルモノガノルノデアリマスルガ、從來新聞紙其ノ他ニ於テ發表サレテ居リマス以上ニ内譯ヲ明示シテ、更ニ感謝ノ意ヲ具體的ニ表明スルト云フコトハ、洵ニ御尤デアツテ、從來聊カ足りナイ所モアツタカト思フノデアリマシテ、只今仰セノ如キ發表ノ方法ニ付キマシテハ、陸海軍當局ト能ク相談ヲ致シマシテ、御尤ナル御趣旨ニ合フヤウニ努メタイト考ヘマサルカ
○板谷委員長 田中君、宜シウゴザイマスカ
○田中委員 宜シウゴザイマス
○板谷委員長 是ヨリ大藏省關係ノ殘リノ質疑ニ入りマスガ、昨日諸君ノ御同意ヲ得テ居リマシタル通り、出來ルナラバ本日ヲ以テ大體ノ質疑ヲ終了致シタイト存ジマスルノデ、成ベク簡潔明瞭ニ御質疑アラシコトヲ希望致シマス——松尾四郎君
○松尾委員 私ハ重複ヲ避ケルヤウニ致シタイト思ヒマスルカラ、簡單ニ御尋フ申上

ゲタイノデスガ、或ハ重複スル所ガアルカ
モ知レマセヌガ、此ノ兌換銀行券整理法中
改正法律案ニ付テ少シ伺ツテ置キタイ、此
ノ第四條ヲ削除スレバ、將來モウ國債償還
ノ方ニ充ツルト云フコトハ全然ナクナリ、
一般會計ニ入ツテシマフト云フコトガ原則
ニナル、斯ウ云フコトニナルヤウニ思フノ
デゴザイマスガ、サウスレバ昭和二年ノ四
月一日ニ此ノ法律ヲ發布サレタ時ト全然主
張ガ變ル、其ノ當時此ノ第四條ハ相當重イ
役目ヲ持ツテ居ル條文デアツタと思フノデ
スガ、ソレデ一般會計ニ入ルコトニナツテ、
國債償還ノ方ニハ行カナイト云フコトデ宜
シウゴザイマスガ、國債整理基金ニ關係ガ
アリマスカラ伺ツテ置キマス

○入間野政府委員 其ノ點ニ付キマシテ

ハ、先日慥カドナタカノ御質問ニ一應ノ御
答ハ致シテ居リマス、只今又重ネテノ御尋
デアリマスカラ御答致シタイト思ヒマス、
御説ノ通り第四條ヲ削ツテシマヒマスト、
國債整理基金ニ繰入レルコトニナツテ居リ
マシタ從來ノ關係ガナクナリマシテ、一般
會計ニダケ入ルコトニ相成ルノデアリマス、
ト申シマスノハ、御承知ノ通り昭和二年頃
ト只今トハ、國債ニ對スル考ヘ方ガ大分違
ツテ參リマシタ、御承知ノヤウニ昭和二年

ニ於キマシテハ、國債ノ發行額ガ一般會
計、特別會計ヲ通ジマシテ、僅ニ一億五千
萬圓位デアリマシタノガ、昭和十三年度ニ
相成リマス、約五十六億餘萬圓ノ發行額
ニ相成ツテ居リマス、政府當局ト致シマシ
テハ、如何ニシテ此ノ多額ニ發行スル國債
ヲ消化スベキカト云フコトニ付キマシテ非
常ナ苦心ヲ拂ヒ、非常ナ努力ヲ拂ツテ居リ
マスヤウナ譯デアリマス、隨ヒマシテ既ニ
發行シマシタ國債ヲ償還致シマスヨリモ、
將來發行致シマスル國債ノ額ヲ幾ラカデモ
減シマス方ガ、只今ノ國債政策ノ上カラ見
マシテ必要デアアル、斯ウ存ジマシテ、國債
整理基金特別會計ニ入レマスコトヲ止メマ
シテ、一般會計ニ入レルコトニ致シタ次第
デゴザイマス

○松尾委員 諒承致シマシタ、ソレカラ其

ノ次ニ御尋ヲ申上ゲタイノハ、通用ヲ禁止
セラレマシタ札ハ、今ハモウ全ク民間ニ殘
ツテ居ラスモノト認メテ居ラレルト思ヒマ
スガ、大體ハドウ云フコトニ依ツテ、此ノ
約四千萬圓ト云フ大キナモノガ引換ニナラ
ナイヤウニナツタノデアラウカ、或ハ東京
震災ノ爲ダトカ、サウ云フ何カ大藏省ノ方
デ之ニ對スル見方ガアルノナラバ伺ツテ置
キタイ

○入間野政府委員 昭和二年ニ此ノ法律ヲ

出シマス頃ニ、ソレマデニ出シマシタ整理
スベキ兌換券ノ總發行高ハ五十九億餘萬圓
ニナツタノデアリマス、ソレデ昭和二年ノ
三月三十一日ニ、其ノ殘ツテ居リマシタモ
ノガ十三億餘萬圓デ、大體之ヲ整理シヨウ
ト考ヘマシタコトハ、只今御話ノヤウニ、
關東震災等ニ因リマシテ相當額ノ兌換券ガ
滅失シタノデハナイカト考ヘマシタコトガ
一ツデアリマス、サウシテ其ノ結果ト致シ
マシテ、紙幣ノ發行高ト云フモノハ、其ノ
滅失シタ額ダケ餘計ナモノガ擧ゲラレテ居
ル譯デアリマス、又隨テソレダケ正貨準備
ノ方ニモ喰入ツテ居ルヤウナ譯デアリマス
ノデ、一應既ニ發行シマシタ兌換券ヲ整理
シマシテ、新シイ兌換券ニ置換ヘタラドウ
カト云フ趣旨デヤツタノデアリマシテ、御
示シノ如ク此ノ回收未済ノモノノ大部分ハ、
關東震災其ノ他ノ災害ニ遭ツテナクナツタ
モノト考ヘテ居リマス、然ラバ豫算ニ計上
シテ居リマス四千七十一萬八千餘圓ト云フ
モノハ、全部將來返ツテ來ナイカドウカト
云フコトデゴザイマスガ、之ニ付キマシテ
ハ的確ナ數字ハ分リマセヌ、取敢ズ明年度
豫算ニ於キマシテ歲出ノ方ニ二百万圓ヲ上
ゲテ居リマシテ、明年度ハ大體其ノ程度ノ

引換ヲシナクテハナラヌグラウト考ヘテ居

リマス、其ノ根據ト致シマス所ハ、一昨年
ハ約二百三十萬圓引換ヘテ居リマス、昨年
ハ約百七十萬圓引換ヘテ居リマス、二百万
圓モ上ゲテ置キマスレバ、大體大丈夫ダラ
ウト考ヘテ居リマス、尙ホ若シ二百万圓デ
足リマセヌ場合ニ於キマシテハ、補充使途
ニ指定シテ置キマシタ第一豫備金カラ、更
ニ支出シ得ルヤウナ途ヲ開ケテ居リマス、
明年度以降ニ於キマシテモ、其ノ回收額如
何ニ依リマシテ、相當ノ歲出ヲ見込デ置
カナケレバナラヌダラウト考ヘテ居リマス
○松尾委員 諒承致シマシタ、私ハ次ニ今
日ノ兌換券發行ノ状態ニ付テ伺ヒタイノデ
ゴザイマスガ、今日ノ新聞ヲ見マス、昨日
デハ兌換券ノ發行總額ガ二十四億四千萬圓
ト、是ハ新聞デ承知ヲ致シタノデアリマス
ガ、昨年ヨリ急激ナル通貨ノ發行高ガ増加
ヲ致シテ居リマス、特ニ昨年來三四億圓ハ
多ク通貨ガ増發ニナツテ居リマスガ、此ノ
通貨ハドノ方面ニ流レテ行ツテ居ルノデア
リマセウカ、大體其ノ流レテ居ル筋ガ御分
リニナルナラバ伺ヒタイノデゴザイマス
○入間野政府委員 昨年ノ發行高ニ比ベマ
シテ、最近デハ約三億五千萬圓ガラミダラ
ウト思ツテ居リマス、昨年一年平均致シマ

シタ所デ、一昨年ノ平均發行高ニ對シテ三億八千餘萬圓増加致シテ居リマス、最近ノ數字ニ付キマシテハ一寸取調ベタモノモアリマセヌノデ、的確ニ申上ガ兼ネマスケレドモ、昨年ノ平均發行高ト一昨年ノ平均發行高ト比ベマシテ、三億八千餘萬圓増加致シテ居リマス中ニ、朝鮮銀行及ビ臺灣銀行ノ支拂準備ノ増加シタ爲ニ殖エテ居ルト認メラレマス額ガ、約九千四百萬圓ト思ヒマス、其ノ外相當額ノ紙幣ガ中支那方面ニ出テ居ルト考ヘテ居リマスノデ、結局内地ニ於ケル兌換銀行券ノ流通ノ増加ハ、二億數千萬圓位ダラウト考ヘテ居リマス、是ガ如何ナル方面ニ出テ居ルカト云フ御尋デゴザイマスルガ、市場全般ニ撒ツテ居リマスコトト考ヘマシテ、經濟取引其ノ他ノ上カラ見マシテ、此ノ程度ノ増加ハ已ムヲ得ナイノデハナカラウカト考ヘテ居リマス

○松尾委員 中支那ノ方ニハドレ位行ツテ居リマスカ、ソレハ分リマセスカ

○入間野政府委員 是ハ正確ナ出入レヲシテ居リマセヌノデ、色々ノ説ハアリマスケレドモ、的確ナコトハ不明デゴザイマス

○松尾委員 是ハ何カノ方法デ此ノ中支那ノ方ニ行ツタ通貨ノ状態ハ分リサウニ思ヒマスガ、分ラヌト云フコトデアレバ致シ方

ガアリマセスカ、將來此ノ通貨ハ回收ヲ圖ル御考デ居ラレマスカ、ドウモ北支カラ中支ニ行ツテ居ル通貨ト、而シテ彼方ノ法幣トノ關係ハ、色々ハ豫算總會デモ議論ガアツタコトヲ聽イテ居リマシテ、此處デ重複ヲ避ケタイノデアリマスカ、此方ノ物價政策ノ上ニモ相當關係ガアルヤウニ思ヒマスノデ、回收ヲスルト云フ御方針デ、何カ其ノ方策ヲ執ツテ居ラレルノデアリマセウカ、ソレヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○入間野政府委員 中支那方面ニ日本銀行ノ兌換券ガ相當數流通致シテ居リマスコトニ付キマシテハ、當局ト致シマシテモ出來ルダケ之ヲ回收シタイト考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ或ハ軍票ニ置換ヘルトカ、或ハ物ヲ出シテ回收スルトカ、色々ノ方法ヲ講ジテ其ノ回收ニ努メテ居リマサウナ次第デゴザイマス

○松尾委員 次ニ私ハ金利ノコトヲ少シク伺ツテ置キタイノデアリマス、資料トシテ御示シニナリマシタ表ニ依リマスト、大阪ト東京トハ金利ノ違フコトガモウ普通ニナツテ居リマスカ、東京ト大阪ノ兩市場デ金利ガ違フト云フコトハ、經濟界ニ色々ナ影響ヲ與ヘルト思フノデアリマスカ、是ハ違ツテ居ツテモ宜シイノデゴザイマスカ、或ハ

大體同一ノ所ニ持ツテ行カナケレバナラナイノデアリマスカ、ソレヲ伺ヒタイ、東京ハ一錢五厘ノ見當デ、大阪ハ一錢二厘位ノ見當ニナツテ居リマシテ、相當開キノアル數字ガ出テ居リマス、全國ノ金利水準ト云フモノハ、大體一定ノ所ヘ持ツテ行クコトガ、色々ナ點ニ於テ金融ヲ滑カニスルモノト思ヒマスコト、此ノ點御致シマス

○松村(光)政府委員 只今ノ御質問ハ、大體割引手形ノ種類ガ非常ニ違ツテ居ルノデアリマシテ、東京方面ハ一般商業手形ノ平均ヲ取ツテ居リマス、大阪ハ紡績手形ノ金利デアリマス、紡績手形ト云フモノハ、大阪市場ニ於テ特ニ重要デアリ、ソレハ多年安イ金利デアルト云フコトガ、大阪市場ノ慣習デアリマシテ、又手形ノ性質上安イノデアリマス、其ノ間ニ當然區別ノアルコトハ固ヨリ言フヲ俟タヌノデアリマス

○松尾委員 併シ此ノ資料ハ東京、大阪ノ金利ノ比較ヲ示シタ表ニナツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フコトガ事實アルカナイカト云フコトヲ伺ヘバ宜イノデス、東京ト大阪ノ間ニ金利ノ差ガアリヤ否ヤト云フ此ノ點ヲ伺ヒマス

○松村(光)政府委員 或ル場合ニハアリ得マスケレドモ、只今御示シノヤウナ差ハアリ

得ナイト思ヒマス、今御示シノモノハ、東京ノ方ハ普通ノ商業手形ノ割引歩合ヲ示シテ居リマス、大阪ノ方ハ特ニ括弧ノ中ニ紡績手形トシテ、特殊ナル手形ノ歩合ヲ舉ゲテ居リマスルノデ、率直ニ申シマスルト、此ノ表ノ作り方ガ或ハ悪カツタノデハナイカト云フヤウナ感ジモ致シマス、兩者ヲ比較シテ、直チニ東京、大阪ノ金利ヲ比較スルコトハ、是ハ如何カト存ジマス

○松尾委員 政務次官ノ御答辯ハ能ク分ツテ居リマスカ、常ニ金融ノ差ハアルノデゴザイマスカナイノデゴザイマスカ

○入間野政府委員 大體ニ於テ東京ト大阪ノ間ニサウ金利ノ隔リハナイト考ヘテ居リマス、只今ノ統計ハ洵ニ不調法デゴザイマシタガ、大阪ノ方面ハ、主タルモノガ紡績手形デアアル爲ニ、サウ云フモノヲ採リマシタノデ、其ノ點御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松尾委員 金利ハ物ノ生産費ノ「コスト」ニ重大ナ關係ガアルノデアリマスカ、ドウモ地方ニ行クト金利ガ高イ、其ノ高イノハ、地方ノ人カラ言ヘバ借錢ヲスル利子ガ高イノデ、之ヲ預ケル方ノ郵便貯金、信用組合、銀行等ハ、一定ノ基準ニ依ツテ規則ヲ縛ラレテ居リマスカ、高クハ預ツテ呉レナイ、

借りル方ハ高い、預ケル方ハ安い、其ノ間ノ差ガ何處ヘ行クカト言ヘバ、結局都會ニ吸收サレテシマフ、是ハ地方ノ事業ニ非常ナ大關係ヲ持つテ居ルノデアリマス、隨テ此ノ金利ト云フモノハ、今日舉國一致生産力擴充ニ進ンデ行キマスル時ニ於テハ、地方ノ産業モ相當大キナ役割ヲ持つテ居ルノデアリマスカラ、地方ノ人モ安イ——借錢ヲスベキ時ニハ、安イ金利ノ恩典ニ浴スルコトニ出來ナイモノデゴザイマセウカ、之ヲ伺ツテ置キマス

○入間野政府委員 金利ノ高低ガ生産費ニ影響スルコトハ御示シノ通りデアリマス、隨ヒマシテ生産力擴充及ビ生産増加等ノ爲ニ、出來得ルダケ金利ヲ低クシ、生産費ヲ下ゲルコトガ必要デアルコトハ、御説ノ通り申スマデモアリマセス、唯都會ト地方トニ於キマシテハ、預金ノ利子ナドモ相當ノ隔リガアリマス、都會ノ銀行ナドガ比較的安ク預ツテ居リマシテモ、地方ニ行キマスト一定ノ協定金利ノ上ニ、或ハ勉強利率トカ云フモノヲ附加ヘタリ、又其ノ地方々々ニ於ケル金利モ都會ニ比ベマシテハ遙ニ高イヤウナ實情ニアリマス、隨ヒマシテ昨年四月以來、大藏省ト農林省ト協議致シマシテ、地方ノ金利モ國債利廻ヲ水準トシテ、或ル

程度マデ引下ゲタガ宜イノデハナカラウカト考ヘマシテ、ソレム地方長官ニ依頼シテ、銀行及ビ信用組合ト云フヤウナモノ中ニ金融懇談會ノヤウナモノヲ開イテ貰ヒマシテ、ソコデ大體預金ノ金利ノ協定ヲシテ貰ツテ居リマス、只今マデノ所一道四十府縣バカリト云フモノハ、略々其ノ協定モ付イテ居ルヤウナ譯デアリマシテ、地方ニ於ケル預金利子ガ次第ニ下ツテ參リマシレバ、貸付ノ方ニモ無論影響スルダウラト期待致シテ居リマス、唯マダ預金ノ引下ガ懇談會ガ出來テ居リマシテモ纏ラス所モアリマスモノデ、或ハ急ニハイカスカトハ存ジマスルガ、此ノ低金利ノ普遍化ト云フコトガ地方ニ浸潤致シマスレバ、貸付利率モ從ツテ低下シテ來ルノデアラウト、當局ハ期待致シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス

○松尾委員 預金ノ利子ノ協定ハ、特ニ當事者ノ會合ヲ促サレ、或ハ色々ナ方法ニ依ツテ協定ヲ守ラレテ居ルヤウニナツテ居リ、尙ホ更ニ進ンデ安クシテ行カウト云フコトハ、其ノ方針ニ出ラレテ居ルコトハ諒承致シマスガ、併シ貸付ノ方ニハ、其ノ爲ニ預金ノ金利ガ安クナツテ來タカラ、貸付ガ安クナルトハ、ドウモ思ハレナイノデス、別ノ事情デ地方ノ事業ニ放資スルト云フコト

ヲ、普通銀行或ハ特殊銀行ニ對シテ、大藏當局ノ銀行ノ検査官ノ監督ガヤハリサウ云フ方針ニ向ケラレテ居リマシテ、地方ノ事業ニ放資シテ居ルヤウナモノハ、不健全ナル放資ノ如クニ取扱ハレテ居ルノデハナイカト私ハ疑フノデス、サウ云フコトデアレバ銀行業者、信用組合、其ノ他ノ大藏省ノ監督ヲ受ケテ居リマス金融業者ハ、成ルタケ地方ニ貸出スコトヲ差控ヘルヤウニナリマシテ、地方事業ハ衰微スルト思フノデス、サウ云フ點ニ何等カノ御考慮ヲ拂ハレマシテ、地方事業ノ發展スルヤウニヤラナケレバ、今後ノ生産擴充ニモ相當關係スルト私ハ思フノデス、是ハモウ申上ゲルマデモナイコトデスガ小サナ仕事ガ集ツテ大キナ仕事ノ本ヲナシテ居ルノデス、ヤハリ大藏省ノ御方針デ、此ノ點ハ相當ニ地方事業資金ノ低金利ト云フコトガ出來得ルト思フノデスガ、サウ云フコトニ向ケラレルノ御考

ハゴザイマセスカ

○入間野政府委員 地方銀行ガ地方ノ事業ニ投資スルコトヲ厭ガルト云フヤウナコトガアリマシテハ、是ハ私共ノ考ト反シテ居ルト思ツテ居リマス、私共普通考ヘテ居リマスノハ、大都會ノ銀行ハ大企業ニ資金ノ融通ヲスルモ宜カラウガ、併シナガラ地

方ノ銀行ハ、主トシテ地方産業ノ發達ノ爲ニ、貢獻シナケレバナラナイト云フ考ノ下ニ銀行ヲ見テ居リマス、兎角都會ノ銀行ガ地方ニ支店ヲ出シマス、地方ノ預金ヲ都會ニ持つテ來ル傾向ガアリマスノデ、過般來地方ニ支店ヲ設ケル場合ニ於キマシテモ、大都會地ノ大銀行ガ地方進出スルコトヲ成ベク阻止シマシテ、地方ニ於テ支店設置ノ必要アルモノハ、地方銀行ニ之ヲ委ネル方針ヲ執ツテ參リマシタ、斯ウ云フ方針ヲ執リマスノモ、偏ニ地方銀行ハ地方産業ノ爲ニ貢獻シテ貰ヒタイト云フ考ヘカラ出テ居ル次第デアリマシテ、私共ハ決シテ地方ノ銀行ノ産業ヲ閑却スルヤウナコトノナイヤウニ、検査ニ當リマシテモ、寧ロ其ノ心組ミヲ持つテ全體ヲ見テヤルヤウニ努

メテ居ル次第デゴザイマス

○松尾委員 只今ノ御方針ヲ承リマシテ、其ノ御方針ニ對シマシテハ私ハ満足ヲ致シマス、更ニ一點御申上ゲタイノハ、興業銀行ハ地方中小工業者ニ資金ノ貸出ヲヤラヌ御方針デアアルノデスカ、私ハ實ハ二三紹介ヲシテヤリマシタガ、餘リ喜ンデ取扱ヲシテ居ラスヤウニ見エマスルノデ、全然地方方面ニハ興業銀行ノ營業上關知セヌ方ガ宜イト云フコトニナツテ居ルノデスカ、御方

針ヲ伺ツテ置キタイ

○入間野政府委員 日本興業銀行ニ於キマシテハ、特ニ企業金融ヲ致シマスル方ハ、中小商工業ニ對スル資金ノ融通ヲ努メテ居リマス、隨ヒマシテ中小商工業ニ對スル資金ノ融通ハ其ノ中央タルト地方タルトヲ問ハズ、一律ニ之ヲ行ハセタイト考ヘテ居リマス、現ニ昭和十三年六月現在ニ於キマシテ、中小工業資金融通狀況ハ、四千七百七十餘万圓ヲ算シテ居リマスルヤウナ次第デゴザイマス、決シテ興業銀行ト致シマシテ、其ノ點ヲ閑却致シテ居ル譯デハナク、中央地方ヲ通ジテ、此ノ方面ニ努力サセタイト私共ハ考ヘテ居リマス、尙ホ又此ノ外ニ商工組合中央金庫ガアリマシテ、是ガ相當中小商工業方面ノ金融ニモ當ツテ居リマスルヤウナ譯合デゴザイマス

○松尾委員 只今御述ニナリマシタ四千七百餘万圓ト云フノハ、地方ニ放資ニナリマシタ金額デゴザイマスカ

○入間野政府委員 地方別ノ區分ハ明確デゴザイマセヌ、總額デ四千七百餘万圓デアリマス

○松尾委員 其ノ數字デハ銀行局長トシテ、地方ニドレダケ行ツテ居ルカト云フトガ御分リニナラヌグラウト思フノデス

ガ、ドウモ地方ノ方ニ放資スルコトガ喜バレナイ傾向ガアルコトガ顯著デゴザイマスカラ、私ハ餘リサウ云フ細カイ事例マデモ舉ゲルコトヲ避ケマスガ、地方ノ産業ト云フモノニハ相當ノ考慮ヲ拂ツテ戴キタイト思フノデス、ソレニハヤハリ何トシテモ此ノ金融ガ圓滑デナケレバナリマセヌ、殊ニ低金利ノ長期ニ互ル金融ガナケレバ、地方産業ハ發展致シマセヌカラ、普通銀行ノミナラズ、勸業銀行或ハ日本興業銀行、或ハ農工銀行等ニ於テハ、特ニ今後ノ我國ノ生産擴充ノ國策ニ合フヤウニ、御方針ヲ向ケテ戴クコトヲ希望致シマス、ソレカラ是ハ大臣ニモ是非御伺致シタイノデスガ、大臣ハマダ御出席ニナリマセヌデセウカ

○板谷委員 要求シテアリマスケレドモ、マダ分リマセヌ

○松尾委員 今後ノ我國ノ物價ヲドウ云フヤウニ向ケラレルカト云フコトヲ少シ伺ヒタイノデス、是ハ生産力擴充ト非常ニ關聯致シマスカラ、其ノ點ニ付テ私モ少シ所見ヲ申上ゲタイ、殊ニ大臣ニ申上ゲテ伺ヒタイノデスガ、政府ハ物價ノ水準ヲ今後上ゲル積リデスカ、尙又更ニ進ンデ物價ヲ下ゲテ行ク考デアリマスカ、又今ノ物價ガ水準トナツテ、先ヅ此ノ邊ノ所デ止メテ行クト

云フコトデアリマスカ、是ハ大キナ問題デアリマスルノデ、物價ヲ今後ドウ向ケラレル御方針デアルカヲ伺ヒタイ

〔委員長退席、宇賀委員長代理著席〕
○松村(光)政府委員 物價ノ將來ヲドウスルカト云フ問題ハ、申上ゲルマデモナク非常ニ大キナ問題デアルト同時ニ、時局ニ對處スル重大ナル事柄デアリマス、唯政府若クハ大藏省其ノ他トシテ、物價ヲ上ゲテ行クト云フヤウナコトハ、斷ジテ避ケナケレバナラヌコトデアリマスカラ、左様ナコトハ考ヘテ居リマセヌ、ソシナラバ思切ツテ下ゲルカ、此ノ上ゲルカ下ゲルカト云フヤウナコトモ、御承知ノ通りニ物動計畫ノ問題モアリ、物資供給調節ノ關係モアリ、政府トシテハ出來得ルダケ物價ハ既往ノ基準カラ上ルコトヲ避ケナケレバナラヌ、下ゲル爲ニ各般ノ施設ヲ講ジテ居ルヤウナ次第デアリマス、ソレガ需給ノ關係上カラ困難ナコトデアルト云フコトハ、萬承知シテ居リマスルガ、極力物價ノ基準ノ上ラナイコトニ努力致シタイト考ヘ、又將來モ努メテ其ノ方針ヲ繼承スル考デアリマス

○松尾委員 私ハ大臣ガ御出席ニナツテカラ後ノ質問ヲサセテ戴キタイト思フノデス、他ノ同僚ノ諸君ニ一ツヤツテ戴キマス

○宇賀委員長代理 如何デスカ、大臣デナクトモ質問ヲ大藏當局ニシタイト云フ御希望ノオ方ハ一ツ……

○塚本委員 物價ノ話ガ出マシタカラ、序ニ此ノ機會ニ伺ヒマス、物價ハ出來ルダケ抑ヘテ行カナケレバナラヌ方針デ、今後繼承シテ行キタイト云フ當局ノ御話ガアリマシタガ、物價公定委員會デハ、之ヲ戰前ノ物價ニ引下ゲルコトヲ目標トシテ、非常ナ努力ヲ拂ツテ居ラレルト吾々聞イテ居ルノデアリマス、非常ニ結構ナ方針デアルト思ヒマスガ、目下ノ事情カラ見マスルト、戰前ト比ベテ見テ、非常ニ高價ニアルト云フコトハ一般ガ認メテ居リマスガ、特ニ私共ハ日常生活ノ上カラ之ヲ痛切ニ感ズル者デアリマス、一段ト當局ノ御努力ト御配慮ヲ煩ハサナケレバナラヌデアリマスガ、一番物價公定デ喧シイ問題ニナツタノハ、綿ノ問題ダト思フノデス、私共ハ日常生活ニ直接關係ノアルモノヲ一ツ參考ニ申上ゲテ置イテ、御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、私共ガ工場デ使ツテ居リマス作業服デアリマス、是ハ作業服ノ一等ノ雲齋デアリマスカ、事變前ニハ特大ガ二圓五十錢デアツタモノガ、今日ハ五圓八十錢ニナツテ居リマス、大ガ二圓三十錢ノモノガ五圓六十錢デ

アリマス、中ハ二圓十錢ノモノガ五圓四十錢、小ハ一圓九十錢ノモノガ五圓二十錢ト公定セラレテ居ルノデアリマス、ソレカラ作業服ノ小倉服デアリマスガ、是ハ事變前ノ特大二圓ガ五圓二十錢、大ノ一圓八十錢ガ現在五圓、斯ウ云フヤウナ非常ニ高イ値デアリマス、或ハ手袋、「シヤツ」、サウ云フヤウナモノデモ、今申上ゲマスヤウニ戰前ノ物價ト比ベテ見マスト、非常ニ高イノデアリマス、是ハ昨日大藏大臣ニモ話シタノデアリマスガ、労働者ノ賃銀ト云フモノハ、常識的ニ見テ相當收入ガ殖エテ居ルト、大臣ハ御認メニナツテ居ルヤウデアリマスケレドモ、實際ハサウデハナイノダト云フ實情ヲ私ハ話シテ置イタ、其ノ實情ガマダ十分大臣ニハ呑込メテ居ラスヤウデアリマスカラ

政務次官ニ一ツ申上ゲテ置キタイト思ヒマスガ、アレハ實際ハサウナンデゴザイマス、賃銀指數ト云フモノノ上カラ見マス、段々上ツテ居リマスケレドモ、實際労働者ノ働イテ居ル事情カラ申シマス、私ノ昨日引例致シマシタモノハ、昭和十一年ト昭和十二年トノ比較デアリマシタ、ソレハ十一年ト十二年トノ比較ダカラサウ云フコトニナルノダラウ、昭和十三年、十四年ニハ其ノ比較ハ違ツテ來ル、斯ウ云フヤウニ大藏大臣ハ言ハレマシタケレドモ、其ノ關係ハ依然トシテ引續イテ來ルト私ハ見マス、何故サウ云フコトガ言ヘルカト云フト、十一年、十二年ハ徹夜作業ガマダ許サレテ居ツタ時デアリマス

〔宇賀委員長代理退席、委員長著席〕
所ガ昨年ノ半バヲ過ギテ暮ニ至リマシテカラ、厚生省ノ方針トシテソレハイケナイ、労働時間ヲ規定シマシテ、大體十二時間以上働イテハイカス、徹夜作業ハ認メナイ、是ハ避ケテ居ル、斯ウ云フコトニナツテ來マシタカラ、昭和十一年當時ハマダ徹夜作業ハ許サレテ居ツタ、十三年ノ暮方カラ、ソレヲ許サナクナツタト云フヤウナコトカラ、労働時間ガ短縮セラレテ居ル、ソレカラ來ル實收入ノ減退ト云フモノガアルノデアリマス、成程此ノ商工省ナドカラ發表シマシモノハ、年ヲ通ジテ労働者支拂賃銀ガ幾ラト云フヤウナコトヲ發表シマスガ、如何ニモ労働者ノ收入ガ殖エタヤウニナツテ居リマスケレドモ、實際ハソレ程殖エナイ、却テ熟練工ノ賃銀ト云フモノハ減少スル傾向ガアリマス、是デ工場ニ於キマスルモノハ、實際一時ヨリハ是デヤ儲カラヌデヤナイカ、物價ハ段々上ツテ來ル、生活ガ段々苦シクナツテ來ル、尙ホ時局柄ト致シマシテ色々

ナ國民貯蓄ナドモヤラナケレバナラヌト云フヤウナコトデ、實生活ト云フモノハ相當苦シイ状態ニナツテ來テ居ル、デスカラ當局ハ一段ト鋭意努力セラレマシテ、戰前ノ物價ハ公定價格ヲドンク努メテ引下ゲテ行クト云フ方針デヤツテ戴キタイノデアリマス、トモスルトドウモ世間カラジツト見テ居ル限ト、實社會ノ中ニ生活シテ居リマスモノトハ、ソコニ非常ナ隔リガ付イテ來ルヤウナ關係ニアルヤウニモ見ルノデアリマス、モウ少シ深イ洞察ノ上ニ立ツテ、物價ノ引下等ニ御努力願ヒタイト思フ次第デアリマス

ナ國民貯蓄ナドモヤラナケレバナラヌト云フヤウナコトデ、實生活ト云フモノハ相當苦シイ状態ニナツテ來テ居ル、デスカラ當局ハ一段ト鋭意努力セラレマシテ、戰前ノ物價ハ公定價格ヲドンク努メテ引下ゲテ行クト云フ方針デヤツテ戴キタイノデアリマス、トモスルトドウモ世間カラジツト見テ居ル限ト、實社會ノ中ニ生活シテ居リマスモノトハ、ソコニ非常ナ隔リガ付イテ來ルヤウナ關係ニアルヤウニモ見ルノデアリマス、モウ少シ深イ洞察ノ上ニ立ツテ、物價ノ引下等ニ御努力願ヒタイト思フ次第デアリマス

○松村(光)政府委員 物價ト勞銀ノ問題ニ付キマシテハ、昨日大臣カラモ申上ゲタヤウナ次第デアリマス、唯只今ノ御質疑中ニ、昨日モ大臣ガ申上ゲマシタ通りニ、多少尙ホ研究ト申シマスガ、調査シナケレバナラヌ事柄ガ大分アルデヤナイカト、率直ニ言フト思ハレルノデス、ト云フノハ、第一ニ物價ヲ戰前ノ基準ニ引下ゲロ、ソレハ餘程困難ナコトデアリマスカラ、出來得ルダケ物價ノ基準ヲ上ゲナイト云フ方針デ、極力努力シナケレバナラヌノデスガ、其ノ基準ヲ戰前マデ持ツテ行ケルカドウカト云フトニ付キマシテハ、相當面倒ナ問題デヤナ

イカト思ヒマス、尙ホソレヨリモ勞働賃銀ノ問題ニ付キマシテ、昨日來非常ニ勞働賃銀ノ實收入ガ下ツテ居ルト云フ御話デアリマスガ、是ハ私ハ遽ニ承服シ難イト思フノデス、ト云フノハ、吾々ハ必ズシモ日銀トカ、商工省トカ、各種ノ團體ノ賃銀指數ヲ基準トシテ論ズルノデハナイ、實際ノ状態ニ付テ之ヲ見マスナラバ、此ノ一兩年來労働者ノ數ガ非常ニ増加シテ居ル、殊ニ一面不熟練労働者ガ非常ニ増加シテ居リマスカラ、物價ノ平均指數ガ思フヤウニ上ツテ居ラヌト云フ事實ハアリマス、ソレデモ昨日大臣ガ申上ゲマシタ通りニ、昭和十三年度ニ於テハ可ナリ騰貴率ヲ示シテ居ルノデアリマスカラ、隨テ平均ヲ採リマス、物價ノ騰貴程賃限ガ騰貴シテ居ラヌト云フ事實モアリマスガ、ソレハ只今申シマシタ通り、不熟練労働者ガ非常ニ夥シク増加シテ居ル、結局平均率ハ上ツテ居ラヌケレドモ、併シ個々ノ労働者ヲ比較スルナラバ、相當ナル賃銀騰貴ノ事實ハアルト考ヘラレルノデアリマス、ソコデ言フマデモナク國家總動員法ノ發動ニ依リマシテ、特ニ労働者爭奪ヲ防ガシガ爲ニ、高イ賃銀ヲ抑ヘルト云フ國家ノ政策モ此處カラ生レ出テ居リマス、又全國地方中小ノ都會、農村ナドハ、

非常ニ勞働者ニ不足シテ居ルト云フコトハ何ヲ物語ルカ、結局不熟練勞働者ガ段々都會へ都會へ、又地方ノ工場へト集中サレテ、サウシテ農村其ノ他ノ中小都會ノ勞働者ガ非常ニ少クナリツツアルト云フ此ノ事實ハ、結局勞働者ノ賃銀ノ状態ガ、農村ヤ其ノ他ノ状態ヨリ高イト云フコトヲ、如實ニ物語ルモノト思ハレルノデアリマシテ、寧ロ今日ハ農村其ノ他ノ勞働不足ト云フコトニ付キマシテモ、餘程考ヘナケレバナラヌ事柄ト思ハレルノデアリマス、斯様ナコトヲ色々思ヒ合セマス、勞働者ノ賃銀ガ實質的ニ減ツテ居ルト云フ只今ノ御説ハ、遽ニ肯定シ難イ點ガアルト思ヒマス、此ノ點ハモウ少シ調査ヲ進メタ上デナケレバ、ドウモ私ハ率直ニ申上ゲマス、承服シ難イ事實デハナイカト思ヒマス、兎モ角モノノ上ツテ居リマスコト、殊ニ特殊ノ物價ノ上ツテ居ルコトハ事實デアリマスカラ、是ハ政府トシマシテモ極力之ヲ抑ヘテ、サウシテ國民生活、勞働生活ノ上ニ、成ベク支障ノ缺陷ヲ來サナイヤウニ努力スベキコトハ當然デアリマスノデ、此ノ趣旨ニ於キマシテ物價政策ノ目標、重點ヲ置キタイト思フノデアリマス

○塚本委員 私ハ此ノ點デ多クノ議論ヲシヨウトモ考ヘテ居リマセヌ、唯政府カラ發表セラレマシタ資料其ノモノニ基イテ、特殊ナル觀點ヲ以テ之ヲ御聽キ申上ゲテ居ルニ過ギナイノデアリマス、今松村政府委員ノ御答辯ニモアリマシタヤウニ、成程農村ノ青年ガ都會ニ集中シテ來ルト云フ事實ハ認メマス、ソレダカラト云ツテ、都會ノ勞働賃銀ガ必シモ高イノダト云フコトノ結論ニハナラヌト思フ、ソレハ農村ニ於ケル勞働收入ヨリハ、都會ニ於ケル勞働收入ガ高イト云フコトハ認メマス、ソレデアアルカラ都會ニ集ツテ來ルト云フ結論ハ成立チマスケレドモ、ソレダカラ都會ノ勞働者ノ收入ガ増シツツアルトハ考ヘラレナイノデアリマス、ソレカラモウ一ツ勞働者ノ收入ガ殖エテ居ルコトハ、常識上肯カレル點デアルト云フ御議論ハ、ソレハ特殊ナル一部ノ非常ナル優秀ナル技術ヲ持ツテ居リマス者ニ付テ言ヒ得ルコトナノデアリマシテ、今御話ニモアリマシタヤウニ、農村カラ澤山ナ不熟練工ガ都會ニ集ル結果カラ、全般的ニ之ヲ平均シテ見マスナラバ、昨日私ガ申上ゲマシタヤウニ、逆ニ勞働者ノ一人當リノ實收ハ下リツツアルノデアリマス、一人當リノ生産額ガ非常ニ急激ニ増シテ居ルニ拘ラズ、勞働者ノ賃銀ハソレニ逆比例シ

テ——逆比例ト云フト極端デアリマスガ、ソレニ比ベテ件ハナイ、寧ロ十一年ヨリ十二年ノ方ガ却テ收入ガ減ツテ居ルト云フコトガ、政府カラ發表セラレテ居ルノデアリマス、サウシテ一方ニハ物價ガドン／＼高マツテ行クト云フコトデアリマスナラバ、國民ノ貯蓄ト云フモノハ、私ハ相當樂觀ヲ持ツテ居リマスガ、現状カラ行キマスレバ、昭和十三年度ノ國民貯蓄ノ數ニ比ベテ、十四年度ノ國民貯蓄ノ數ハ、又非常ニ急激ナル増額ヲ見ルト想像シテ居リマス、ソレハ昨日來私ガ申上ゲテ居リマスヤウニ、強制デハナイガ、強制的ナ國民貯蓄ガ普遍的ニ各會社工場其ノ他ニ行ハレツツアリマス結果カラ、國民貯蓄ノ數ハ非常ニ急激ニ増シテ來ルコトハ、是ハ各月ニ如實ニ現ハレテ來ルコトダト思フノデアリマス、ソレハ結構ナコトデアリマシテ、私共出來ルダケサウ云フ風ニ致シマシテ、國債ノ消化ガ圓滑ニ行ハレルノニ役立つヤウニ努メタイト考ヘテ居ルノデアリマス、何ニ致シマシテモ、政府當局ガ勞働者ノ賃銀ハ相當高マリツツアル、ソコデ物價抑制ノ爲ニ先ツ賃銀ヲ引下ゲナケレバナラヌ、標準賃銀ヲ設ケテ、賃銀ノ騰貴ヲ防ガナケレバナラヌ、斯ウ云フ一途ヲ考テ持ツテ居ラレマスコトハ的外

レデハナイカ、的外レデナイニ致シマシテモ、狙ヒドコロガ多少間違ツテ居ルノデハナイカト考ヘルノデアリマス、デスカラ此ノ點ハ大イニ注意ヲ拂ツテ貰ヒタイトデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、私ハ厚生省ノ政府委員或ハ大臣ニ對シマシテ、モウ少シ質問ヲシテ見タイト思ヒマスガ、大藏當局ニ於キマシテモ、國民貯蓄問題ト物價騰貴抑制ノ問題ト合セテ、十分ノ御賢察ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松村(光)政府委員 只今ノ御注意ノ趣旨ハ能ク調査致シマスガ、唯一言申上ゲテ置カナケレバナラヌコトハ、勞働賃銀ノ問題ハ、標準賃銀ヲ拵ヘテ勞働賃銀ヲ抑ヘルソデハナイカト云フ御話ガアリマシタガ、御質疑ノ趣旨ガ多少違フヤウニ思フノデス、標準賃銀ヲ設ケルト云フコトハ、特ニ高イ賃銀ヲ抑ヘルト云フ趣旨デアリマシテ、標準賃銀ヲ設ケルコトニ依ツテ、一般ノ普通勞働者ノ賃銀ヲ抑ヘルト云フ趣旨デアナイヤウニ考ヘラレルノデアリマス、此ノ點ハ御質疑ノ點ガ多少違ツテ居ラレハセヌカト云フコトヲ、一言申上ゲテ置キマス、尙ホ勞働賃銀ノ指數ニ付テ、昨日來大臣ニモ御質疑ガアリマシタガ、ソレハ何處カラ來ルカト云フト、恐ラク商工省ノ指數ヲ御覽ニナツテ

居ル、大臣ハ日銀ノ指數其ノ外ノ指數ヲ主トシテ論ジテ居リマスノデ、使ツテ居リマス勞働賃銀ノ指數方同ジモノデナイカラデハナイカト云フヤウナコトヲ今考ヘテ居リマス、日銀ノ指數ニ依リマス、昭和十一年、十二年ト、勞働賃銀ノ指數ハ非常ニ上ツテ居リマス、日銀其ノ他ノ指數モ、皆此ノ騰貴ノ事實ヲ示シテ居リマス、唯下ノ指數ヲ使フベキカト云フコトニ付キマシテハ、率直ニ申上ゲマス、勞働賃銀指數ノ作り方ニ付テハ、吾々個人トシテ色々疑義モアリマスシ、又日銀ノ指數ト商工省ノ指數トノ間ニモ非常ニ相違ガアリマスカラ、是等ノ指數ヲ色々照シ合セテ見テ、勞働賃銀ノ指數ハ、大體ニ於テ決シテ下ガツテ居ラナイト云フコトヲ申上ゲルコトハ差支ナイト考ヘマスノデ、尙ホ重ネテ其ノ點ヲ申シテ置キマス

○塚本委員 私モ其ノ點ハ餘リ繰返シテ申上ゲヨウトハ思ツテ居ナカッタノデアリマスガ、商工省ノ發表ニナツテ居リマス指數ニ依ツテモ事實上ツテ居リマセヌ、昨日モ私ガ具體的ニ申上ゲマシタヤウニ、商工省ガ發表ニナツテ居リマス中ノ金屬工業及ビ機械器具工業、是ハ最モ騰貴増額ヲ示シテ居ルモノニ付テ、特ニ私ハ申

上ゲテ居ルノデアリマスガ、ソレニ依ツテ見マシテモ、是ハヤハリ下ガリツツアルノデアリマス、勿論サウ云フコトニ付テ、私ハ諄ク討論ヲシヨウトハ思ヒマセヌガ、ドウモ大藏省局ノ頭ノ持チ方ガ、唯一概ニ勞働賃銀ハ上ツテ居ルト言ハレマスルノデ、是ハ一ツ是正ヲシテ貰フ必要ガアルト思ヒマシテ、斯様ニ申上ゲテ居ルノデアリマス

○板谷委員長 道家君ニ此ノ際申上ゲテ置キマス、實ハ昨日大臣ガ御出席ニナリマシテ、五時過マデ此處ニオ出デニナツテ、質疑應答ヲ重ネテ居ツタノデアリマスガ、ア

ナタガ議席ニオ出デニナラズガ爲ニ、權利ヲ放棄ナサツタノデアリカト委員長トシテハ考ヘテ居ツタノデアリマス、併シ本日ハ御出席ニナツテ、大臣ニ對スル質疑ヲシタイト云フコトデアリマスカラ、先程來大臣ノ御出席ヲ要求致シテ居リマスケレドモ、マダ御登院ガナイサウデアリマス、ソレデ昨日來大藏省關係ノ質疑應答ガ盛ンニ行ハレタノデアリマシテ、或ハアナタノ御質疑ト重複ニナルコトガ多クアルカトモ考ヘマスルケレドモ、併シナガラ折角ノ御要求デゴザイマスカラ、幸ヒ本日大臣ガ御出席ニナリマスルナラバ御許ヲ致シマス、若

シ御出席ガナイト致シマシタナラバ、本日ヲ以テ大體質疑ヲ終了シヨウト云フコトヲ、昨日既ニ委員諸君ノ御同意ヲ得テ決定シテ居ルノデアリマスカラ、若シ本日質疑ガ出來ヌト致シマシタナラバ、十日ノ日ニ簡單ナル質疑ヲシテ戴クコトニシテ御諒承ヲ願ヒマス、之ヲ豫メ申上ゲテ置キマス

○道家委員 今御話ヲ承ルト、ドウモ一向私ニハ要領ヲ得ナイ、昨日居ラナカツタカラ權利ヲ放棄シタモノダト云フコトハ、甚ダラカシナ話デアリマス、居ラナイト言ハレルガ、私ハ本會議ニ行ツテ居ツタ、順番ガ來タナラバ通知ヲシテ貰フト云フコトニ御話モシテアル、而モ私ハ順番ガ來ナイト云フカラ行ツテ居ツタノダガ、議會内ニ居ルノダカラ、御通知下サツタラ何時デモ參リマス、寧ロソレヲ待ツテ居タ、私ハ必要ノナイ質問ヲ唯聞イテ居ルコトハ出來ナイ、本會議ニ於テモ出席ノ義務ガアルシ、色々用事モアリマス、交渉會モアリマス、サウ一日此處デ全部ノ委員ト同ジヤウニハ詰メテ居ラレマセヌ、御覽ナサイ、ミンナ居ラレハシナイデヤアリマセヌカ、ソレガ爲ニ大藏大臣ニ對スル質問ヲ許サナイノデスカ、許スノデスカ

○道家委員 是ハ公債ノ重大ナ問題デアリマス

○板谷委員長 一寸御待チ下サイ、私ハ唯順序ヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、昨日本會議中ト雖モ委員會ヲ開クト云フコトハ報告シテアル筈デアリマス、アナタガ殆ド此ノ議席ニオ出デニナラナイノデ、今申上ゲマスル通り、大體本日ヲ以テ質問ヲ終了スルト云フコトハ御同意ヲ得タノデアリマスガ、併シナガラ折角ノ御要求ガアルノデアリマスカラ、先程來頻リニ大臣ノ出席ヲ要求シテ居ルノデアリマス、要求シテ居ルノデアリマスガ、未ダニ閣議ノ都合デテ御登院ガナイカラ、ソレヲ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

○道家委員 ソレナラバ延バシテ戴キタイ、打切ラレテハ堪ラナイ、アナタガ打切ルト言フナラバ打切ツテモ宜イ、言論ヲ封鎖スルナンテ、ソナコトヲアナタハ出來ル筈ガナイ、小會派ノ言論ハ……

〔速記ヲ止メナサイ〕「休憩々々」ト呼ビ其ノ他發言スル者多シ

○板谷委員長 サウ云フ意味デヤナイ

暫時休憩致シマス

午後三時二十二分休憩

午後三時三十四分開議

○板谷委員長 引續キ會議ヲ開キマス、大藏大臣ニ對スル質疑ガ保留シテアリマスルノデ、此ノ際之ヲ許シマス——松尾君

○松尾委員 私ハ先刻來物價ノコトニ付テ政府委員ヨリ伺ツタノデゴザイマスガ、此ノ際特ニ大臣ニ御尋シタイト思ヒマス、先日來豫算總會、其ノ他ノ會議ニ於キマシテ大臣ノ質問應答ヲ拜聽致シマシテ、殊ニ御多用ノ時又御疲勞モシテ居ラレマスルノニ餘リ諄ク重複ニ互ルコトヲ御尋スルノハ恐縮デアリマスカラ、其ノ點ハ極力避ケテ御尋ヲ申上ゲタイト存ズル次第デアリマスガ、大臣ノ過日ノ御答ヲ拜聽シテ居リマス内ニ私等ノ疑問ニ考ヘタコトガアリマスノデ、其ノ點ヲ御伺ヲ申上ゲタイ、ソレハ生産擴充ト物價ト云フ問題デアリマスガ、平時ノ經濟狀態ニ於キマシテハ物價ガ高クナレバ高物價ニ刺戟サレテ事業ガ殷盛ニナツテ参リマス、即チソコニ生産ガ段々増産ヲシテ行クト云フコトガ原則デアリマシテ、申スマデモナイコトデゴザイマス、然ルニ物價ハ今日ノ水準ニ置カナケレバナラス、尙ホ今後更ニ低物價ニ導カナケレバナラス、生活安定ノ上カラ是ハ國民齊シク希望スル所デゴザイマスガ、併シ今日我國ハ新秩序ノ

建設ニ進ミマスルニ當リマシテ物ノ不足ト云フコトガ一番大切ナ問題デハナイカト思ヒマス、物ガナケレバ如何ニ屍ヲ戰場ニ曝シテ忠勇ナル軍人ガ戰ヲシテ下サツテモ後ガ續カナイ、私昨年衆議院ヲ代表シテ「ソ」滿國境ヲ慰問シテ参リマシタ時ニモ、アチラノ兵舎ヲ御慰問致シマス、將官ノ方ハ皆サウ言ツテ居ラレマス、斯ウシテ來テ居ツテモ何モ不安ハナイ、併シナガラ一番不安ナコトハ唯一本ノ鐵道デ何百哩隔ツタ所カラ物ヲ運シテ貰フト云フ狀態、是ガ何時切レルカ分ラス、爆彈一ツ見舞ハレレバ此ノ鐵道ノ輸送力ハナクナルノデアルカラ、其ノ時ノ物ノ缺乏ヲ考ヘルト一番心配ダト言ツテ居ラレマシタガ、實ニ戰線ノ人ノ考ヘテ居ラレル氣持ト云フモノハ物ニ對シテ非常ナル不安ヲ持ツテ居ル、又今日殊ニ「ソ」支兩正面ノ對策上カラ見マシテモ物ノ不足ト云フコトハ最モ考ヘナケレバナラスコトデアリマス、併シナガラ一方ニ物價ヲ現在ノ水準ヨリ少クモマダ低物價ニ置イテ増産ヲ圖ラウト云フコトハ、是非非常ニ無理ナコトデアリマス、ノミナラズ其ノ他各般ノ政府ノ政策ハ配當ヲ制限スル、或ハ資金ノ調整法等ニ依リマシテドウモ事業ガ起ラヌヤウニ起ラスヤウニシテ居ラレルヤウニ思フ、私

ハ實業家ノ立場カラ實際問題ニ即シテ考ヘテ居リマスルノデ其ノ氣持ヲ申上ゲマスガ、然ラバドウスレバ此ノ増産ガ出來ルカト言ヘバ、ヤハリ生産ニハソレダケノ利潤ガ伴ハナケレバナラス、ソコデ先般金ノ増産問題ニ付テ豫算總會ノ席上大臣ト或ル委員トノ質問應答ヲ聽イテ居リマシタ所、金ヲモツト増産スルノニ金ノ價格ヲ上ゲタラドウカト云フ質問ニ對シ、大臣ハ金ノ價格ヲ上ゲル意思ハナイ——成程金ノ價格ヲ上ゲル意思ハナイノハ色々ノ點カラ、大臣ノ信念ハ私ハ諒ト致シマスガ、金ノ價格ヲ上ゲナイデ金ノ増産ヲシヨウト云フノハ無理ノ仕事ニナルヤウニ思フ、大臣ノ御答ニ依レバ、今日ハ産金事業ハ採算ガ採レルカラ、是レ以上上ゲルコトハ要ラヌト言ハレマシタノデ、私ハ此ノ點ニ付テ少シ伺ヒタイ、採算ガ採レルカラ金ノ價格ヲ上ゲナイト云フコトデアツタナラバ、是レ以上ノ増産ト云フコトハ考ヘラレナイ、我國ノ今後ノ生産力擴充ニ付テハ少クとも現在ヨリモ物價増産シナケレバナラスト思フ、所ガ採算ガ採レル程度ニ置イテ置イタナラバ、ソレ以上ノ増産ト云フコトハ望マレナイト思フ、而シテ又一面ドウ云フ物ガ今後我國ノ物資ノ上ニ増産セシメ得ル可能性ガアルカ、之

ヲ考ヘテ見ナケレバナラス、如何ニ生産力擴充ヲ叫ンデモ、鐵ノ如ク、銅ノ如ク其ノ原動力ニナル材料ガ不足シテ居ツタナラバ、如何ニ物價ヲ上ゲテ刺戟ヲシテモ到底増産ト云フコトハ考ヘラレマセヌ、ソコデドウ云フ物ガ増産ノ可能性ガアルカト言ヘバ、ヤハリ現在圓「ブロック」内ニアリマス地上ノ物、地下ノ物ニ科學ノ力ヲ加ヘテ増産ヲ圖ツテ行クヨリ途ガナイ、所謂無カラ有ヲ生ズル譯ニハ行カナイカラ、有ル所カラ無イ所ヘ持つテ來ナケレバナラス、今ノ平面ノ上ニ於テ物資ヲ是レ以上殖ヤスニハ新シイ材料ヲ持つテ來ナケレバムツカシイ、此點ニ付テハ大口先生ガ先般特ニ強調サレマシタガ、物價ハ下ゲナケレバナラスシ、生産力ハ擴充シナケレバナラス、之ヲ併行シテ行クトハドウシテモムツカシイ、茲ニ非常ナ矛盾ガ起ルト思ヒマス、之ニ付テハ大口先生ガ言ハレタヤウニ二本建ニシテ行カナケレバナラス、物價ハ下ゲルヤウニ、生産力ハ擴充シテ行クヤウニスル、其ノ爲ニハ生産シタモノノ「コスト」ニ相當ノ利潤ヲ與ヘルト云フコトニシナケレバナリマセヌ、サウシテ出來タ物ガ市場ニ高く賣レルヤウニスル、市場ニハ賣レナクテモ事業家ノ手ニ利潤ガ入ルヤウニシナケレバナ

ラス、ソコデ一本建ニシテ行ク必要ガアルト思ヒマス、是ハ大口先生カラ特ニ強ク御主張ガアリマシタノデ私モ其ノ事ヲ重ネテ申上ゲルノデアリマスガ、大臣ガ金ノ價格ハ是レ以上ゲナクテモ宜イト言ハレタ言葉ヲ考ヘマシテ、若シサウ云フ御氣持デアリマシタナラバ増産ト云フコトハ非常ニムヅカシイコトデアアル、現在ノ程度ニ充實シテ行クコトハ出來ルカモ知レマセヌガ、ソレ以上ノ擴充ト云フコトハ望ミ得ラレナイト考ヘルノデアリマス、大臣ガ御答ニナリマシタ時私ハ傍聽シテ居リマシテ、其ノ事ヲ感ジマシタカラ其ノ點ニ付テ、是ハ大口先生カラ御尋ノアツタコトデアリマスガ、重複ヲモ顧ミズ重ネテ承ツテ置キタイト思フデアリマス

○石渡國務大臣

松尾サンノ御尋ハ、生産力ヲ擴充スルト云フコトニハドウシデモ或ル程度ノ物價騰貴ハ認めナケレバイカヌノデハナイカ、餘リ物價ヲ抑ヘルト云フコトニ專念シテ居ルト、生産力ノ擴充ガ行ハレナイノデハアルマイカ、斯ウ云フ御尋デアルト存ジマス、是ハ物ニ依ツテハサウ云フ物モアルト存ジマス、又物ニ依ツテハ今日既ニ物價ガ採算點ヨリモ餘程高クナツテ居リマシテ、尙ホ引下ゲル餘地ノアル物モ相

當アルト思フデアリマス、此ノ戰時ノ經濟ニ當リマシテハ物價ガ上ルト云フコトハ非常ニ困ル、ソレハ豫算ノ執行、公債ノ發行、輸出ノ振興各方面ニ於テ物價ガ上ルト云フコトハ相當ゲニ相成ツテ來ル譯デアリマス、ソレデアリマスカラ物價ハ出來ルダケ上ゲナイ、寧ロ之ヲ極力下ゲルト云フ方向ニ向ハザルヲ得ナイノデアリマス、多額ノ豫算ガ組マレ、多額ノ公債ガ發行サレル一面ニ於テハ其ノ爲ニ物價ガ上リ勝チダ、斯ウ云フコトハ免レナイノデアリマス、ソレヲ出來ルダケ物價ヲ引下ゲテ行ク、物價ヲ上ゲナイヤウニシテ行ク、斯ウ云フコトハ戰時財政經濟トシテ已ムヲ得ザル方針デアルト思フデアリマス、ソレデ國ノ生産力ノ擴充ガ物價ヲ上ゲナイト云フコトニ依ツテ妨ゲラレルト云フコトデアラナラバ、餘程是ハ考ヘネバナラヌ點ガ生ジテ來ルト思フノデアリマス、併ナガラ昨年中ニ於キマシテモ三十億程ノモノガ必要ナル産業擴充資金ニ充テラレテ居ルノデアリマシテ、隨テ一面ニ於テ不急ト認めラレル所ノ産業ノ方ニ資金ガ廻リ兼ネル、サウ云フ點ハゴザイマセウガ、相當ナ資金ガ此ノ産業擴充ニ廻ツテ居リマスコトハ御承知ノ通りデアルト思ヒマス、ソレデドウモ物價ハ斯ウ

云フヤウナ財政政策、經濟事情ノ下デハ物價ハ上リ勝チデアリマス、其ノ物價ノ上リ勝チデアアルノニ政府ハ物價ノ上リ勝チヲ認メル譯ニ行キマセヌ、出來ルダケ物價ハ之ヲ抑ヘル、斯ウ云フ方針デアリマス、是ハイト思フノデアリマス、昨年一箇年、是ハ色々御批評モアルコトト存ジマスガ、之ヲ自然ノ儘ニ放置シテ置キマシタナラバ、恐ラクハ大正七八年當時ノヤウナ物價高ノ状態ヲ演ジタカモ分リマセヌガ、兎ニ角商工省内ニ物價委員會ト云フモノガ置カレテ、昨年ハ物價ノ抑制ニ努メルト云フコトデ、最高價格ヲ決メ、其他幾多ノ物價抑制策ヲ講ジマシテ、サウシテ物價ヲ或ル程度抑ヘテ居リマスコトハ是亦實際サウデアラウト思フノデアリマス、其ノ儘ニ物價ノ急騰ニ任セル、物ガ不足シテ來レバ、從ツテソレニ對スル需要供給ノ關係カラ物ガ上ルト云フコトハ、是ハ普通ノ經濟狀態ニ於テハ其ノ通りデアルト思ヒマスカラ、其ノ通りニ抛ツテ置キマシタナラバ、此ノ物ノ不足ノ時代ニ於テハ物價ハ急騰スル、暴騰スルコトニ相成ルト思フノデアリマス、其ノ物價ガ急騰シ暴騰スルコトガ、戰時經濟全體ノ運行ニ非常ニ支障ヲ來スノデアリマスカラ、物價ハ出來ルダケ下ゲル、出來ルナラバ之

ヲ戰前ノ價格ニマデモ引下ゲタイト云フコトデ、先年來數次其ノ努力ガ繰返サレテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマシテ、假令其ノ爲ニソコニ多額ノ利潤ガ得ラレヌカラト云フコトデ、生産力ノ擴充ガ多少鈍ルヤウナコトガアリマシテモ物價ハ引下ゲル、斯ウ云フ方向ニ向ハザルヲ得ナイト思フノデアリマスガ、其ノ實際問題ト致シマシテハ必要ナル産業擴充ニ關スル資金ノ運行情ラ見マシテモ、今日ノ場合物價ヲ引下ゲテガ爲ニ生産力ノ擴充ニ妨ゲアリトハ考ヘテ居ラナイ次第デゴザイマス

産金ノ問題ニ付テ、金ノ價格ヲモット上ゲルト云フ御意見ニ對シテハ私先般申上ゲタノデアリマスガ、金ガ昨年ノ豫定通り掘レナカツタコトニ付テハ色々原因ガアルト存ジマス、勞働者ノ不足、爆藥ノ不足、器械具機ノ不足、其ノ他各般ノ原因ガ之ヲ來シタモノト思フノデアリマス、併シナガラ是モ大體ニ於テ昨年ノ下半年期ニ於テハ順調ニナツテ來マシテ殊ニ十一月、十二月ニハ相當多額ノ産出ガアツタコトハ此ノ前モ申上ゲタ通りデアリマス、ソレデ金ノ産出ノ増加ハ政府ノ最モ希望スル所デアリマス、唯之ヲ値段段ヲ上ゲタラ増産ニナルカ、ソレトモ他ノ方法ヲ講ズルコトガ寧ロ産金ヲ増加サセル途デアアル

カ、斯ウ云フコトニ付テハ餘程慎重ニ考ヘル必要ガアルト思フノデアリマシテ、必ズシモ金ノ値段ヲ上ゲルコトソレ自體ガ金ノ増産ニナル譯デモアルマイ、今日ノ状態デハ金ノ値段ヲ上ゲルコトガ最モ效果アリトハ考ヘテ居リマセヌ、先達テモ或ル人ガ産金會社ノ表ヲ送ツテ參リマシタガ、殆ド總テノ産金會社ガ一割以上ノ配當ヲシテ居ル、其ノ中一割五分ト云フヤウナ配當ヲシテ居ルモノモアリマス、今日ノ採算デ金ヲ掘ツテ相當ナ利益ガアル、今日金ノ値段ヲ引上ゲナケレバモウ行詰ルトハ考ヘテ居リマセヌ、今日ノ金ノ値段デマダ〳〵餘程採算ノ取レル金鑛ガアルト存ジテ居ルノデアリマス、サウ云フ意味カラシテ金ノ値段ヲ上ゲナイ、斯ウ申上ゲタ次第デアリマス、モウ今日ノ採算點マデ一杯ニ行ツテシマツテ今後掘ルモノハ金ノ値段ヲ引上ゲナケレバ増産出來ナイト云フ狀況デアリマスナラバ、是ハ政府トシテモ勿論考ヘマスシ、金ノ値段ヲ上ゲル方法モ十分講ズル必要ガアルト思フノデアリマスガ、今日ハ左様ナ状態デアルトハ考ヘテ居リマセヌ、併シナガラ先般申上ゲマシタ通り金鑛石ノ運賃等ノ問題モアリマスノデ、北海道トカ東北トカ云フ方面ニ小サナ精鍊所ヲ置キマシテ、此

ノ方面ノ金鑛石ノ運賃ニ付テハ能ク考ヘテ見タイト思ヒマス、金鑛ニ精鍊所ガアリマスレバ、運賃ガ非常ニ低減サレマスカラ、今マデ掘ツテ居ツタモノヨリ更ニ下位ノ金ガ掘レルコトトナルト思フノデアリマス、御話ノ圓「ブロック」内ノ地下物ノ増産ヲ重視シロト云フコトニ對シテハ全然御同感デゴザイマシテ、今後此ノ點ニ期待スル所ガ相當大キイノデアリマス、斯ウ云フヤウナ御意見ニ對シテハ全然私モ御同感ニ存ジマス

○松尾委員 只今私ノ御尋申上ゲマシタノ

ハ、物價ヲ下ゲナイデ生産擴充ヲヤレト云フノデアリマシテ、物價ハヤハリ下ゲテ行カナケレバ國民生活ハ安定シナイカラ、是ハ何處マデモ下ゲルヤウナ方途ヲ執ラナケレバナラナイ、一方又生産擴充ノ爲ニハ、サウ云フコトニ構ハズニ政府ハドシ〳〵施設シテ貫ハナケレバナラヌ、此ノ二本建テ行カナケレバナラナイ、是ハ足ヲ括ツテ走レト云フノデアリマスカラ、大變難カシイ、私ハ此ノ前大臣ノ御答辯ヲ聽イテ居リマシテ、ドウモ二本建ニスルコトハ非常ニ難カシイト云フ御話ノヤウデアリマシタカラ御尋シタノデアリマス、金ノ値段ヲ上ゲルコトガ必ズシモ増産ニナルトハ申シマセヌ

ガ、値段ヲ上ゲナイデモ、採算點ニアルカラ、是デ生産擴充ガ出來ルト云フ其ノ御考ガ違フノデハナイカト思ヒマス、例ヘバ今マデ金ガ百万分ノ七ガ採算點デアツタモノガ、今度ハ更ニ金ノ價格十五圓ノモノヲ二十圓ニスレバ、百万分ノ三ノ金鑛サヘモ採算點ニ上ツテ、段々地下ノ資源ガ増産シテ行ク、是ハ獨リ金ノミナラズ、銅其ノ他色ナ鑛物デサウ云フ状態ニアルモノガ隨分アルト思ヒマスカラ、サウ云フ點ニ付テ二本建ニスル必要ハナイト云フコトデ申上ゲタノデアリマス

コトヨリ外ニサウ目星シイ問題トシテハ承知シテ居リマセヌ

○松尾委員 私ハ是ハ將來非常ニ大キナ問題ヲ我國ニ投掛ケテ來ルモノト考ヘルノデアリマス、而シテ今日猶太人ヲ排斥スベシト云フ議論ト、排斥スベカラズト云フ議論ガアリ、相當ノ識者、其ノ他ノ實業界方面ニ意見ガ兩立シテ居リマス、全ク私ハ白紙ノ状態ニナツテ其ノ兩説ヲ聽イテ居リマス、排斥スベカラズト云フ議論ハ、獨逸ノ「ナチス」ガ猶太人ヲ排斥シタノハ、獨逸ノ國內ニ立籠ツテ財界ノ攪亂ヲヤル、或ハ政治的ニ働キ掛ケルト云フヤウナコトガアルノデ、ソレヲ排斥シタノデアル、我方國內ニハ猶太人ハ殆ド居ラナイ、唯國外カラ色々ナ商取引關係ガアルノミデアル、政治的ニハ全ク關係ガナイ、サウシテ見ルト商賣上カラ言ヘバ、殆ド世界ノ經濟界ヲ左右スル、各國ニ立籠ツテ居ツテ財力ハアル、經濟力ニハ非常ナ力ヲ持ツテ居ルカラ、是ト絶縁シテ之ヲ敵ニ廻スコトハ、將來我が經濟界ヲ處理シテ行ク上ニ非常ニ不利益デアル、デアルカラ今之ヲ排斥スルト云フガ如キコトヲ言フノハ以テノ外デアル、斯ウ言ウテ、排斥スベカラズト云フ議論ガアルノデ、又現ニ先般「ナチス」ガ猶太人ヲ獨逸カラ排斥シマシタ

ソレカラ今一點伺ヒタイコトハ、猶太人ガ民主主義國家ニ立籠ツテ、民族主義國家ヲ破壞シヨウト云フコトヲ世界的ニ進メテ居ルト云フコトデアリマシテ、上海邊リヲ中心ニシテ色々我國ノ財政方面ニ働キ掛ケテ居ルカノヤウニモ聞クノデアリマスガ、此點ニ付テ何カコチヲノ經濟界ニ働キ掛ケテ居ルヤウナコトガアルト云フコトハ御感ジニナリマセヌカ、其ノ御感ジヲ先ヅ第一ニ承ツテ見タイ

○石渡國務大臣 色々噂モ聞キ、話モ聞イタコトガゴザイマス、一二承知致シテ居ルコトモゴザイマスガ、今回マデノ所爲替管理ノ問題デ一二ノ者ガ違反ヲ致シタト云フ

ガ、値段ヲ上ゲナイデモ、採算點ニアルカラ、是デ生産擴充ガ出來ルト云フ其ノ御考ガ違フノデハナイカト思ヒマス、例ヘバ今マデ金ガ百万分ノ七ガ採算點デアツタモノガ、今度ハ更ニ金ノ價格十五圓ノモノヲ二十圓ニスレバ、百万分ノ三ノ金鑛サヘモ採算點ニ上ツテ、段々地下ノ資源ガ増産シテ行ク、是ハ獨リ金ノミナラズ、銅其ノ他色ナ鑛物デサウ云フ状態ニアルモノガ隨分アルト思ヒマスカラ、サウ云フ點ニ付テ二本建ニスル必要ハナイト云フコトデ申上ゲタノデアリマス

コトヨリ外ニサウ目星シイ問題トシテハ承知シテ居リマセヌ

時ニ、直チニ東京ノ商工會議所ニ商取引ノ紹介ガ澤山出來タ、ソレガ皆猶太人デアツタ、斯ウ云フコトガアリマシテ、相當經濟界ニハ關係ガアル、而モソレ等ノ關係ハ好イ關係ヲ持ツノデス、所ガ一方思想的ニ之ヲ排斥シテ掛ツテ居ル人ノ議論ヲ聽キマス、猶太人ガ今日民族國家ノ破壊ニ掛ツテ居ルノデハナイカ、今日亞米利加ノ「ルーズベルト」ハ純粹ナ猶太人デアアル、又英吉利ノ「チエンバレン」モサウダ、既ニ英國ノ前皇帝ヲ斯ノ如キ状態ニシタノモヤハリ猶太人ノ陰謀ダ、「シンプソン」ヲ戀任掛ト云フカ、色仕掛デ、斯様ナコトニシタノハ陰謀ダ、サウ云フ説ガアリマス、サウ云フコトヲ言ツテ居ル、是ハサウ云フ著述ヲ致シテ居ル本モ私ハ見タノデスガ、又其人ニモ聞キマシタ、ソレデ此ノ猶太人ハ民主主義ノ思想ニ立籠ツテ民族國家ノ破壊ニ掛ツテ居ルノデアアルカラ、經濟的ニドウシテモ日本ニ對シテ、是カラ蔣介石ノ後ロニ立籠ツテ、蔣介石ヲ手先ニ踊ラシテ向ツテ來ルノハ彼等デアアル、斯ウ云フ風ニ言ツテ、排斥スベシト云フ議論ガアル、此ノ際ニ斯ウ云フコトハ餘程將來ニ大キナ問題ヲ起スト思ヒマスカラ、排斥スベシト云フコトニナルナラバ、其ノ排斥スベシト云フ大體ノ統

一シタ考ヲ以テ行カナケレバナラヌト思ヒマスガ、排斥スベカラズト云フ、我國ノ經濟界ニ將來非常ナ大キナ障礙ガ來ルト云フコトヨリモ、寧ロ非常ナ好イ關係ガ起ル、殊ニ商取引ノ如キハ今日或ル會社——名ハ申上ゲマセヌガ、日本一ノ貿易ヲヤツテ居ル會社デスガ、今取引シテ居ル五分ノ一ハ猶太人デアアル、又先般池田前大藏大臣ガ大阪ニオ出デニナリマシタ時ノ演説ニハ、ヤハリ猶太人排斥スベカラズト云フ御主張ヲシテ居ラレマシタ、デアリマスカラ大阪ノ財界人ハ左様ニ考ヘテ居ルガ、一方ニハ思想的ニ排斥スベシト云フ議論ガ相當ニ出テ居リマス、現ニ新聞ニモ廣告ヲ出シマシテ、「猶太人ノ對日攻勢」ト云フ本ヲ出シマシテ、ドン／＼斯ウ云フ議論ヲ宣傳シテ居ル、是ハ若シ排斥スベカラズト云フナラバ、斯ウ云フモノハ全然政府ハ禁止シテシマツテ、ヤハリ非常ナ好感ヲ持ツテ、彼ト商取引、總テノ經濟的關係ヲ續ケテ行クベキモノダトスウ思フノデス、是ハ全ク兩立シテ居リマス、ソレデスカラ今ノ大藏大臣トシテハドウ云フ御考ヲ持ツテ居ラレマスカ、伺ツテ置キタイノデス、私ハ更ニ其ノ御考ニ依リマシテ、他ノ關係ニモ御意見ヲ伺ツテ見タイト思ヒマスガ、今兩論ガ對立シテ居リマ

シテ、私ハ白紙ノ状態デ、ドツチヘ向イテ宜イカ分ラナイ、ドウカ一ツ伺ツテ見タイト思ヒマス

○石渡國務大臣 猶太人ノ中ニモ随分排斥スベキ人モ居ルト思フノデアリマスガ、猶太人デアアルカラト云ツテ、誰モ彼モイカヌト云フ譯ニモ參ラスト思ヒマス、御承知ノ通り日露戰爭ヲ致シマシタ其ノ金ノ大部分ヲ我國ニ貸シマシタノハ猶太人デアリマス、其ノ猶太人ノ金ヲ借りテ、日露戰爭デハアレダケノコトヲヤツタノデアリマシテ、今日何等猶太人カラ其ノ爲ニ害ヲ受ケタト云フコトハナイト私ハ考ヘテ居リマス、要スルニ其ノ猶太人ガ宜クナイモノデアアルカドウカト云フ問題デアツテ、猶太人デアアルカラト云ツテ之ヲ排斥スル、斯ウ云フコトハ餘程考ヘモノデアラウト存ジマス

○松尾委員 今ノ御話デハ少シ要領ヲ得ナイノデスガ、モウ一度……

○石渡國務大臣 ソレハ猶太人ノ中ニハ隨分赤化分子モゴザイマス、又赤化思想ヲ相當持ツテ居ル者モアルト思フノデアリマス、斯ウ云フヤウナ猶太人ニ對シテハ勿論警戒モシ、又場合ニ依ツテハ排斥スル必要モアルダラウト思フノデアリマスガ、サレバト云ツテ猶太人全體ヲ排斥シナケレバイカ

ス、斯ウ云フ理窟ニハナツテ來ナイデアラウト思フノデアリマス

○松尾委員 是ハ直チニ大藏大臣ノ確定シタ意見ヲ承ルコトハ無理ダト思ヒマス、私ハ此ノ程度デ一應質問ヲ打切りマス

○板谷委員長 道家齊一郎君

○道家委員 大藏大臣ニ御尋致シマス、大臣ハ豫算分科會デノ時間ヲ特ニ割イテオ出デ下スツタサウデスカラ、私ハ少シク餘計御伺ラシテ見タイト思フノデスガ、成ベク簡單ニ要點ダケ申上ゲマス、ソレハ日本ノ財政經濟政策ニ付テ根本的ニ多少疑問ガアリマスノデ、其ノ點ヲ伺ヒタイ、今更喋々ト申スマデモナク、一月二十一日ニ陸相ガ議會デ、中國共產黨ガ國民黨ニ代リ、或ハ更ニ日本ノ占據地域ニ入ツテ來テ治安ヲ計畫的ニ攪亂スルニ至レバ、更ニ覺悟ヲシナケレバナラヌト云フコトヲ述ベラレテ居ル、確ニ共產黨ハ千九百三十五年ノ「インクタンションナル」ノ會議デ、「スパイ」ノ戰術ヲ確立シテソレヲ著々實行シテ居リマス、ソレハ滿洲國ニ於テモ御承知ノ通りデアアル、殊ニ最近ハソレヲ徹底的ニ廣東竝ニ上海デヤツテ居リマシテ、非常ニ危險ナ状態ニアリ、滿洲國ノ過去ノ經驗ニ依ツテモ、ソレガ相當續イテ來ルモノト思フ、又陸軍大臣ハ

内部ノ弱點ハ表面化シタケレドモ、特殊ノ事情ガ發生シナイ限り、急速ナ分裂瓦解ヲ中支ニ對シテ待望スルコトハ尙早デアアル、斯ウ斷ジテ居ラレル、確ニサウデアラウト

等ニ付テ如何ナル御見解ヲ有セラレルノデアリマスカ

思フ、又蔣介石ハ他面ニ於テハ英國ノ東洋艦隊ノ完成ヲ待ツテ居ルヤウナ狀況デアアル、ソレハ明年ニナレバ、日本ノ艦隊ト匹敵スルヤウナ英國ノ艦隊ガ出來ル、斯ウ云フヤ

勢デ五十億ノ赤字ガ將來五年間位必要デア

ウナ次第デ、到底事變ハ簡單ニハ片付カナ

ルカドウガ、五十億ノ赤字ヲ認メルカ、斯

イ、是ハ國民ノ常識デアリ、又政府ノ確認

シテ居ラレル所デアリマスカ、然ラバ左様

ナ狀態ニアルトシマスト、國防ノ充實ハ益

必要ニナツテ來ル、サウシテ駐屯兵ハ退ク

コトハ出來ナイ、南カラ退ケバ北ガ保クナ

イ、又退クベキデハナイ、其ノ他面ニ於テ

支那ノ建設ト云フコトガ益、必要ニナツテ

來ル、サウナルト毎年非常ナ多額ナ經費ヲ

要スルコトト思フノデスカ、日本ノ財政ノ

現狀ニ於テハ、ドウシテモ是カラ將來五年

間位ハ——最小限度ニ於テ五年間位ハ五十

億ノ赤字ヲ餘儀ナクセラレルモノト思フノ

デス、私ハ建設ノ爲ニハ、滿洲國ノ過去ノ

出費等カラ豫測シテ、十年ハドシナコトシ

テモ掛ルト思ヒマス、約五年間位ハ五十億

位ノモノデヤルコトガ、絕對必要デハナイ

カト思フノデスカ、藏相ハ其ノ年限、金額

ヲヤウナコトカラ考ヘマシテモ、五十億圓

ノ赤字ト云フモノガ、將來五年間續クカド

ウカ、サウ云フ具體的ノコトハ今日ノ場合

申シ兼ネルノデアリマス、ガ相當多額ノ公

債ガ相當期間引續イテ發行セラレルノデア

ラウト云フコトハ、是ハ仰セノ通りデア

ト存ジマス

○道家委員 大藏當局ハ何年間、何十億ト

云フヤウナコトヲ、限定シテ言明ナサルコ

トハ出來ナイト思フノデスカ、少クトモ現

狀ニ於テ相當ナ經費ガ要ルコトハ御認メノ

ヤウデアリマス、又確ニ三十億位ナ赤字ヲ

伴ハナイ餘裕ガアルト云フコトモ事實デア

リマス、私ハ日本ノ經濟財政ノ將來ニ付テ

ハ、非常ニ樂觀的ニ之ヲ見テ居ルモノデア

ツテ、力ハ十分ニアルノダト思フノデア

リマス、デスカラ大藏大臣ト同ジヤウニ、サ

ウ心配ハ致シマセヌ、明年ハ幾ラト云フコ

トハ豫測ハ出來ナクテモ、大體ノ計畫ハヤ

ハリ當局トシテハ御立テニナツテ、サウシ

テソレニ依ル政策ノ見透シヲ確定シテ進マ

ナケレバナラナイ、サウシナケレバ、國民

モ不安ヲ懷ク、ソコデ當局ハ財政經濟力ハ

確固タルモノデアアルカラ安心セヨ、サウシ

テ年々三十億ヤ五十億ノ赤字ハ斯ウシテヤ

ツテ行クノダ、斯ウ云フコトガハツキリシ

ナイト、民心ガ安定致シマセヌ、ソレガ目

下國民ニ知ラセル最モ必要ナコトデハナイ

カ、ソコデ三十億、五十億位ハ餘裕ガアル

ト假定シテ、大藏大臣ノ、此ノ委員會ニ於

テノ御説ニ依リマス、何等強制シナイデ、

サウシテ公債ハ撒布金ノ循環ニ依ツテ圓滿

ニ消化サレルト云フコトデアアルト云フ御話デ

アリマス、確ニサウデアリマス、洵ニ結構

ナコトダト思フ、又將來モ私ハ左様ニ信ズ

ルノデアリマス、併シナガラ將來若シ茲ニ

——假ニ來年度デナクテモ、二年掛ツテモ、

五十億ニシマシテモ、撒布金ノ循環ニ依ツ

テ、ソレハ消化サレマスケレドモ、其ノ利

拂ト云フモノハ、大藏大臣ガ言ハレタヤウ

ニ、國民ノ増税ニ依ツテ之ヲ賄ツテ行ク、

無利子ノ金ヲ借りテ行クト云フノデスカ、其

ノ増税ハ現狀ニ於テ見マスト、戰前ノ約二

倍ニナル、サウシテ公債ガ増加シテ行クト

國民ハ更ニ是カラ二倍若クハ三倍、或ハ四

倍ノ負擔ヲ覺悟シナケレバイケナイ、其ノ

覺悟ヲ豫メサセルコトガ必要デヤナイカト

私ハ考ヘル、ソレ位ナ覺悟ヲ以テ行カナケ

レバ、中々東亞ノ建設ハ出來ナイト思フノ

デスカ、此ノ收入ニ關スル利息ノ利拂ハ、

ヤハリ税デズツト負擔ヲサセル御考デア

リマスカ

○石渡國務大臣 是ハ將來ノコトデアリマ

スノデ、私ハハツキリ此ノ場合ニハ申上ゲ兼ネルト思フノデゴザイマス、併シナガラ先達テ公債ノ利子ニ付テ、其ノ利拂ニ付テ御心配ノ方ガゴザイマシタカラ、利拂ハ其ノ利子ガ更ニ公債ノ發行ノ上ニ加ツテ行クト云フコトヲ考ヘルヨリモ、寧ロ一定收入ヲ以テ其ノ利子ヲ償却シテ行クト云フカ、利子ニ相當スル位ノモノハ、是ハ税ニ依ツテ賄ハレバ、結局無利子ノ金ヲ借リテ居ルノト同ジヤウニナルト、斯ウ申上ゲタノデアリマス、併シナガラ財政全體ノ計畫トシテハ唯ソレダケデハイケマスマイ、更ニ出來ルダケ公債ニ依ル所ノ部分ヲ少クシテ、税ニ依ル部分ヲ餘計ニシテ行クト云フ必要ガアルト存ジマス、ソレデ公債ノ利子ガ後年ノ負擔ニ相成リ、税ニ依ル收入ガ其ノ時代ノ人ニ負擔ヲサセルカラ、後年ニ累ヲ及ボスト云フコトヲ能ク言ハレルノデアリマスガ、ソレモ一ツノ見方デアルト存ジマス、税ニシマシタ所デ、詰リ税金ヲ徵收サレル、其ノ爲ニ必要デアル所ノ生産擴充其ノ他ニ廻ル所ノ資金ト云フモノガ徵收サレルノデアリマスカラ、ソレハヤハリ將來ノ國民ノ負擔ト云ヘバ負擔ニ屬スル一部分デアルト思フノデアリマス、併シナガラ此ノ税ニ依ツテ相當多額ノ部分ガ賄ハレルト云フコト

ガ、是ガ當然デアラウト思ヒマス、隨テ國民ハ將來ニ付テ尙ホ負擔ノ増加スルコトヲ覺悟スル必要ガアルノデハナイカト云フ御尋ハ、ソレハ今後ノ情勢如何ニ依リマスガ、ソレハサウ云フコトノ必要モアルト存ジマス、同時ニ負擔ノ増加ト云フモノハ獨リ税率ノ増加バカリデハゴザイマセヌ、先達モ御尋ガゴザイマシタガ、結局稅收入ノ増加デアリマスノデ、一面ニ於テハ自然增收ニ期待シ、一面ニ於テハ増率ニ期待スル、斯ウ云フコトニ相成ツテ來ルノデハアルマイカト思ヒマス

○道家委員 只今ノ御答辯御尤デゴザイマス、私ハドウシテモ此ノ際國民ガ十分覺悟シテ、稅デ公債ヲ賄ツテ行クト云フ覺悟ヲシツカリ決メテ置キサヘスレバ、サウ財界モ動搖シナイ、日本ノ負擔能力ハ「インフレ」ニ從ツテアルト思ヒマス、併シサウ云フコトデ公債ハ國內ニ於テ循環作用ニ依ツテ消化サレ、サウシテ利拂ハ先ツ増稅ト云フコトヲ中心トシテ考ヘラレル、ソコデソレハ片付キマスガ、對外支拂ノ關係デアリマス、戰爭ガ續ク以上、ドウシテモ最低限度ニシテモ、輸入ヲ或ル程度以下ニ打切ルコトハ出來ナイ、サウナリマス、日本ノ輸出ハドウデアアルカト云フト、御承知ノヤウニ非

常ナ減少ヲ生ジテ居ル、八億六千万圓カラノ減少ヲ生ジテ居ル、是ハ支那ト滿洲、關東州ハ除キマシテ——是ハ寧ロ二割二三分カラ四割三分位増加シテ居リマスガ、之ヲ除クトソレダケ減少デアル、輸入ノ方モ十二年度ニ比シマス、十一億何千万圓ト云フ減少ヲ生ジテ居ル、稍、輸出ハ回復シタヤウナモノ、多ク豫期スルコトハ出來ナイ、ソレカラ海外カラノ送金ナドモ、餘リ多ク豫期スルコトハ出來ナイ、産金ハドウダト云フト、昨年政府ガ軍事公債ノ時、其ノ他ノ機會ニ説明サレマシタヤウナ計畫通りニハ行ツテ居リマセヌ、ソコデ昨年ハ八億位ノ金ガ現送サレタヤウデアリマスガ、今年ハ一體何ヲ以テ對外支拂ヲ充足ナサル御考デアルカ、茲ニ問題ハ、五億ノ金準備ガアリマスケレドモ、併シナガラ此ノ金準備ハ全部無クナス譯ニハイカナイ、國內ニ於テハ「ペーパー・マネー」デ澤山ダ、日本國家ガ繁榮スル限りニ於テハ決シテ金ノ準備ナドハ要ラス、ケレドモ對外關係ニ於テハサウハ行キマセヌ、政府ハ之ニ付テドウ云フ御考デアリマスガ、即チ對外ノ支拂ニ對シテ如何ニ之ヲ處理スル考デアルカ

○石渡國務大臣 何ト云ツテモ海外カラ得ル所ノモノハ、一番ガ輸出ノ獎勵デアリマス、此ノ輸出ニ依ツテヤハリ極力外貨ヲ得ルコトニ努メル必要ガアルト存ジマス、二ガ産金額ノ獎勵、ソレカラ三ガ民間ニアル所ノ金ヲ集メル、斯ウ云フヤウナ各種ノ方策ヲ講ズル必要ガアルト存ジマス、輸出ガドウモサツバリ良クナイデハナイカ、斯ウ云フ御話モゴザイマスガ、戰時下ニ於テ輸出ヲ更ニ餘計ニスルト云フコトニ付テハ、是ハ相當ナ努力ガ必要デアリマス、ソレハ利潤ノ關係カラ行キマシテモ、ドウモ軍需品工業ノ方ガ利潤ガ多イト云フヤウナ關係デ、輸出工業カラソチラノ方ニ向ツタモノモアリマス、其ノ他軍需工業ノ必要上、輸出工業カラソチラノ方ニ向ツタモノモアリマス、物價モ勿論關係シマスシ、ソレカラ輸入材料等モ關係スル、又戰ヲシテ居ルデスカラ、各國トノ外交關係モ關係シテ來ル、サウ云フ譯デアリマシテ、第三國ノ輸出ニ付テ相當減ツテ居リマスコトハ事實デゴザイマス、事實デゴザイマスガ、併シハ輸出ノ表デモ御覽下サイマス通り、昨年下半年ニ至リマシテハ、何レカト云フト其ノ前年ニ比較致シマシテ、輸出ハ増加致ス傾向ヲ辿ツテ居リマス、今年ノ一月ニ於キマシテモ、私ハ今ハツキリ覺エテ居リマセヌガ、輸出ノ増額ト云フモノハ、

前年ヨリ増シテ居ツタノデアアルマイカト
思ツテ居リマスガ、此ノ傾向ハ前年ノ下半
期カラ起ツテ居ルノデゴザイマシテ、私共
ハ決シテ此ノ輸出ノ今後ニ於ケル振興ト云フ
コトニ悲觀致シテ居ル譯デハゴザイマセス、
今後ニ於テ輸出ト云フコトハ、更ニ一層振興
ヲ期シテ行ク必要ガアルト思ツテ居リマス、
尙ホ産金デゴザイマスガ、産金ニ付テモ先
程モ御説明致シマシタ通り、昨年ノ下半期
カラ非常ニ順調ニ相成ツテ來テ居ルノデゴ
ザイマシテ、此ノ分デ行キマスレバ、前年ヨ
リハ相當多額ノ産金ガアルノデアアルマイ
カト思ツテ居リマス、ソレカラ一面民間ノ金
ノ引揚ゲ、之ニ付テモ昨年來ヤツテ居リマ
スガ、マダ、相當金ヲ死藏、退藏シテ居ル
人ガアルト想像シテ居リマス、此ノ方面ニ付
テハ何レ御審議ヲ御願シタイト思フノデス
ガ、法律ヲ改正シマシテ、モツト強力ニ集メ
タイト存ジテ居ル次第デゴザイマス、サウ云
フモノガ結局輸入力増大ノ重ナル原因ニナ
ツテ來ルカト考ヘテ居ル次第デアリマス

私ノ憂フル所ハ、果シテ支拂ニ充當スルニ
足ルダケノ産金ガアルカドウカト云フコト、
ソレハ疑問デアアル、ソレカラ輸出ガ此處
一兩年ノ間ニ増加シテ行クト云フコトガ非
常ニ疑問デアアル、ソレガ出來ナイトナルト
財政經濟政策ハ行詰ル、オ先眞暗ト云フコ
トニナルノデスガ、是ハ政府ヲ信賴シ、又
國民トシテハ假令出來ナクテモ之ニ協力ス
ルヤウニシナケレバナナイト思フノデア
リマスカラ、是以上私ハ御尋シヨウトハ思ヒ
マセヌガ、唯今御話アリマシタ産金政策ニ
付テ、モウ少シ政府ガ徹底的ニ急速ニ御ヤ
リニナルコトガ必要ヂヤナイカ、是ガ唯一
ノ道デハナイカト私ハ思フノデアリマス、
鑛山ニ獎勵金ヲ御出シニナリマスガ、良イ
鑛脈ノ所ニハ手ヲ付ケナイデ、貧鑛ヲ掘ツ
テ居ルト云フ所モアル、ソレカラ又大同ノ
砂金デアルトカ、或ハ其ノ他滿洲國ニ於ケ
ル金デアルトカ云フモノニ對シテ、モウ少
シ政府ハ全力ヲ擧ゲラレル必要ガアルノデ
ハナイカ、サウスレバ見込ガアル、之ニ依
ツテ財政經濟政策ハ安定スルノデアナイカ、
此ノ増産サヘ進メバ、假令生産費ガ將來ド
ウナラウトモ——今日考ヘテ見マスト、
此ノ生産費ト金ノ價值トハ、殆ド經濟的ノ
觀念ヲ以テハ、「コスト」ノ觀念ヲ以テハ解

決出來ナイト思フ、ソコデ思切ツテ政府ハ
一億圓位モ支出サレテ、茲ニ増産計畫ヲ立
ツテ、所謂國家總動員ヲ鑛山ニ適用シテ、
サウシテ計畫的ニ御ヤリニナル御考ハナイ
カ、電燈電力ノ國家管理ノヤウニ、鑛山ノ
一部ニ管理令ヲ出ストカ、或ハ總動員ノ適
用ヲスルトカ云フヤウナ考ハアリマセヌカ
○石渡國務大臣 産金ニ付キマシテハ、昨
年來隨分一生懸命ニヤツテ居ルノデアリマ
ス、今御話ノアリマシタ貧鑛ヲ掘ツテ富鑛
ヲ掘ラヌト云フコトモ、割合ニ行ハレテ居
ツタノデアリマシテ

〔委員長退席、松木委員長代理著席〕
昨年ノ春ハ主ナル産金業者ヲ集メマシテ、
富鑛ヲ掘ツタガ宜シイ、貧鑛バカリ掘ツテ
ハイケナイ、斯ウ云フコトデ富鑛ヲ掘出ス
命令モ致シタノデアリマスガ、楮テソレデ
ハ富鑛ヲ掘ルト云フコトデスト、第一其ノ
富鑛マデ行クノニ相當時間ガ掛ルノデス、
一二箇月ヤツテ見タ所ガ、ドウモ却テ減ツ
テシマツタ、減ツテシマツタノデ、是デハ
イカスト云フノデ、昨年ノ七月ニ更ニ産金
業者ヲ集メマシテ協議シタ結果、富鑛ヲ先
ニ掘ルト云フコトヲ止メテ、兎ニ角出來ル
ダケ金ヲ餘計ニ此ノ際産出スルト云フコト
ノ約束ヲシマシテ、ソレデオ前ノ金山ハ幾

ラ、オ前ノ金山ハ幾ラト云フコトデ、相當
多額ノモノヲ割當テマシタ、其ノ割當テタ
モノヲ出來ルダケ骨ヲ折ツテ産出スル、サ
ウ云フコトニシマシタ結果、却テ昨年ノ下
半期ニハ金ガ増シタ、斯ウ云フコトニ相成
ツテ居ルノデアリマス、ソレデ結局今マデ
ヤリマシタ經驗カラ云ヒマスト、コチラデ
富鑛ヲ指定シテ掘ラセルト云フコトヨリモ、
産金本社ニオ前ノ所ハ今年幾ラ掘ツテ呉レ
ト、斯ウ言ツテ掘ツテ貰ツタ方ガ、實際ノ
成績トシテハ却テ好カツタヤウニ思フノデ
アリマス、其ノ後モ引續イテ産金業者トハ
色々協議ヲシテ居リマス、ソレデ出來ルダ
ケ金ヲ餘計ニ産出致スヤウニ骨ヲ折ツテ居
ル次第デゴザイマス、ソレデ日本産金振興
會社モ昨年ノ秋ニ出來タノデゴザイマスガ、
是モ朝鮮内地ヲ通ジマシテ、出來ルダケ金
ヲ掘ルヤウニ皆專念致シテ居ル次第デアリ
マス、隨分其ノ方ノ人々ハ一生懸命ニナツ
テ金ヲ掘ツテ居ルト存ジテ居リマス

〔松木委員長代理退席、委員長著席〕
○道家委員 金ノ生産ニ付テ、政府ハ必ズ
シモ總動員法ヲ發令シナクテモ宜シイデス
ガ、モウ少シ徹底的ニヤツテ戴キタイ、ソ
レカラ先程御話ノアリマシタ金ノ隱匿者ニ
對シテハ、何カ處罰デモナサル御考ハアリ

マセスカ、モウ少シ民間ノ金ヲ回收スレバ
餘裕ガアル、或ル人ハ曰ク三四億アル、私
ハサウハナイト思ヒマスケレドモ、少クト
モ現在出サレテ居ル金ヨリハ、モツトアル
ト私ハ思ツテ居リマス、之ニ對シテ如何ナ
ル御考ヲ持タレルカ、死藏ニ對シテノ處置、
從來何カサウ云フコトデ取締ラレタコトハ
アリマスカ

○石渡國務大臣 是ハ産金法ニ依ツテ政府
ニ申告シナイ、又其ノ條項ニ反シタ者ニハ、
相當ナ罰則ヲ適用スル規定ガゴザイマス、
今日此ノ罰則ヲ適用シタ者ハマダゴザイマ
セヌガ、將來此ノ罰則ヲ適用スルヤウナ機
會ハアルカト思ツテ居リマス、今後ニ於テ
ハ民間ノ金ノ點ニ付テハ、出來ルダケ之ヲ
提出シテ欲シイト思ツテ居ルノデアリマス
ガ、ドウシテモ出サヌト云フ人々ニハ、強
制買上ノ途ヲ講ジタイト思ツテ居リマス
○道家委員 是ハ金ヲ政府ニ買集メル策ノ
小サナモノデアリマスケレドモ、内地デモ
此ノ頃結婚ナドニ指輪ヲ皆缺メテ居リマス
ガ、是等ニ對シテモ、伊太利デヤツタヤウ
ナ鐵ノ指輪ト云フヤウナモノデ、政府ガ引換
ヘル、或ハ結婚ノ時ニ其ノ鐵ノ指輪ヲ賣ツ
テヤルト云フヤウナコトニシテオヤリニナ
ルト、是モ相當ナ額ニ達スルノデハナイカ

ト思フノデスガ、サウ云フ御考ハアリマセ
スカ

○石渡國務大臣 大體指輪ナント云フモノ
ハ、鐵デアツテモ餘リ必要ガナイデヤナイ
カト思フノデアリマスガ、併シナガラ金ノ
代リニ鐵ノ指輪ヲ與ヘルト云フコトハ、事實
伊太利デモヤツテ居リマシタガ、サウ云フ所
デヤツテ居ツタ例ガアルノデゴザイマスガ、
若シサウ云フコトニ依ツテ獎勵ニ相成ルト云
フコトデアリマスナラバ、ソレハ十分考究
シテ見マス

○道家委員 私ハソレハ伊太利デモヤツテ
居ルコトデ、決シテ詰ラヌコトデハナイト
思フ、毎年非常ニ澤山ノ結婚ガ日本ニハア
リマスガ、是等ニ對シテモ一種ノ稅ニナツ
テ、其ノ指輪ヲ十圓ナラ十圓ト決メテ置ケ
バ、知ラナイデ獻金スルト云フコトニナル
ノデスカラ、御考ヲ願ヒタイト思ヒマス、
又ソレハ國民精神總動員ノ一助トモナルコ
トト思ツテ居ルノデアリマス、次ニ金ニ次
イデ、銀ヲ獻納スルヤウナ御計畫ハナイノ
デアリマセウカ、昨年政府ハ銀ヲヤハリ海
外ニ輸送シテオ居デニナリマスガ、是ハ非常
ニ數量モ多クナルノデ、輸送金モ非常ニ高
クナリマスガ、是ハ滿洲國デアルトカ、支
那ニ對スル政策上カラモ必要デハナイカト

思フノデスガ、如何デゴザイマセウカ

○石渡國務大臣 銀ニ付テハ、是ハ昨年一
應計畫シテ見タノデアリマスガ、御承知ノ
通り銀ハ極メテ値段ガ安イノデアリマシテ、
金ノ百分ノ一程度ノ値段デアリマス、隨テ
之ヲ集メルノニ非常ニ骨ガ折レマスノト、
集メタモノガ比較的安イモノデアリマスノ
デ、一應計畫ハシタノデアリマスガ、其ノ
儘ニ致シタ次第デゴザイマス、併シ今後ニ
於キマシテハ、銀ニ付テモ相當ニハ考ヘル
必要ガアルト存ジマス、御尋ノ點ニ付テハ
十分ニハ考究スルコトニ致シマス

○道家委員 モウ少シ伺ヒマス、ソコデ公
債政策ノコトデアリマスガ、公債ハ國內デ
融通シテ行キマスガ、現狀ヲ見マス、金
融機關ノ公債保有ノ狀況デスガ、特殊銀行
十九億、中央金庫ヲ含ム、ソレカラ普通銀
行ガ三十一億、貯蓄銀行ガ十二億、保險會
社ガ四億、信託ガ二億、斯ウ云フヤウナ狀
況デアリマシテ、マア私ハ金融機關トシテ
ハ、色々事情モアリマセウガ、モウ少シ公債
ヲ保有スル能力ヲ持ツテ居ルノデヤナイカ、
餘裕ヲ持ツテ居ルノデヤナイカ、又國家的
ニ見テ持ツ必要ガアルノデヤナイカト思フ
ノデアリマス、ソコデ金融統制トカ或ハ國
家管理トカ、國有トカト云フ、所謂右翼カ

何カノ看板ナドニモ出テ盛ニヤツテ居リマ
スガ、ソレノ爲ニ言フノデアリマセヌガ、
産業經濟、財政ノ基礎ハ金融デアリマス、
此ノ金融機關ニ對シテ國策ニ順應スルヤウ
ニ、モツト更ニ統制ヲ行フトカ、或ハ國家
ガ一部管理ヲ行フトカ、斯ウ云フヤウナ御
考ガアリマスガ、私ハソレガ宜イト言フノ
デヤアリマセヌ、ソレノ影響ハ如何デアリ
マセウカ、如何ナル御考デアリマセウカ、
サウ云フ御考ガアリマセウカ、或ハ今ノヤ
ウナ自由意思ニ依ツテ、國策ニ皆共鳴シテ
居リマスカラ、モツト之ヲ將來公債ガ殖エ
ルニ從ツテ、順應セシムル政策デオヤリニ
ナルノデセウカ、其ノ方針ヲ承リタイ

○石渡國務大臣 金融機關ガ國策ニ順應シ
マシテ公債ヲ多額ニ持ツ、斯ウ云フコトヲ
致シテ居リマスコトハ御承知ノ通りデアリ
マス、今後一體ドウ云フ風ニ考ヘルカ、斯ウ
云フ御尋デアリマスルガ、是ハ金融統制ノ
立場カラ行キマシテ、一面ニ於テハ利子ノ
相當高イモノガゴザイマス、場合ニ依ツテ
ハ國債ノ利子ヨリモ更ニ高イ利子デ金ヲ預
ツテ居ルヤウナモノモ、其ノ中ニハアルカ
ト思フノデアリマス、斯ウ云フヤウナモノ
ハ、幾ラ公債ヲ持テト云ツテモ持テル道理
ハゴザイマセヌ、ソレデアリマスカラ、斯

第六類第一號 昭和十四年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外二件委員會議錄 第七回 昭和十四年二月八日

ウ云フヤウナ利子ハ努メテ引下ゲテ行ヒマシテ、サウシテ出來ルダケ國債ノ持テルヤウニ致シタイト思ヒマス、之ヲ各銀行ニ強制スト云フ考ハ持ツテ居リマセヌ、是ハ銀行各、特殊ノ事情ガ幾多アルト存ズルノデアリマシテ、國債ノ所有ト同時ニ、一面ニ於テハ生産力擴充ノ資金モ必要デアアルノデアリマシテ、或ル銀行ニ之ヲ強制シマシテ一方ノ生産力擴充ノ資金ガ不足スルト云フコトデモ困ルト思ヒマスカラ、結局金融機關ノ自己統制ニ依ツテ、一面ニ於テハ必要ナル生産力擴充ノ資金ニ充テ、一面ニ於テハ國債ヲ買フ、斯ウ云フコトデ進ンデ行クヨリ外ニ考ヘ様ガナイノデアアルマイカト考ヘテ居リマス

○道家委員 モウ一ツ國民ノ覺悟ニ付テ政府ノ御方針ヲ承リタイトデスガ、サツキ御話ノアツタヤウニ、長期抗戰ガ必要デアアルニモ拘ラズ、國民ハマダ戰爭ガ直グ濟ムカト云フヤウナ考ヲ持ツテ居ル、殊ニ株式界ノ如キハ、汪兆銘ガ何トカ言ツタ、吳佩孚ガドウシタトカ云フト、モウ直グニ株ガ動搖シテ居ル、是ハ仕手關係モアリマセウケレドモ、一體國民ノ考ヘ方ガ違フト思フノデアリマス、先程申上ゲタヤウニ、多少デモ増稅ヲヤツテ行クト云フ考ヘ方ガアル、

サウ云フ考ヘ方ガアルガ爲ニ、軍需産業ナド非常ナ股賑ヲ極メテ居リマスガ、マダヤハリ利潤景氣ト云フヤウナ觀念ガ抜ケ切レナイ、ドウシテモ是カラハ數量景氣ト云フヤウナコトデ行カナケレバナラナイ、サウ云フ考ヘ方ヲシナケレバナラナイと思フノデアリマス、斯ウ云フ考ヘ方ヲ業界ニ入レルコトガ必要デアアルト同時ニ、軍需産業ニ對シテハ、モウ少シ増稅ヲシテモ宜イノヂヤナイカト思フノデスガ、サウ云フ考ヘ方ヲ徹底スル爲ニ、國民精神總動員ナドハ大イニ活躍ヲシテ戴キタイ、麥飯ヲ食フトカ、ソシナ事ヨリモ、モツト斯ウ云フ事ガ重要ナコトト思フノデスガ、ソレニ對シテドウ云フ御方針デアリマスカ

○石渡國務大臣 スウ云フ際ニ軍需産業ト云ヒマスガ、股賑産業ニ對シテ相當課稅ヲシタラドウダ、斯ウ云フ御考デアアルト思フノデアリマスガ、之ニ付テハ可ナリ相當ナ増稅ヲ致シタイト思ツテ居ル次第デゴザイマス、國民精神總動員ニ付キマシテハ、斯ウ云フヤウナ方面ニ付テハ、餘程考ヘル必要ガアルト思ヒマスコトハ、御意見ノ通りデゴザイマス

問題ニ付テ色々御説ヲ承リマシタガ、私不審ニ思フコトハ、政府ノ御答辯ガ統一シテ居ラヌト云フコトデス、商工大臣ノ御話ニ依ルト、物價ハ戰前ノ水準ニ引下ゲル、斯ウ云フ御話ガアル、今度ハ政務次官ノ御話ヲ承ルト、ソレハ無理ダト言フ、一體政府ハ物價ヲドウシヨウト仰シヤルノデスカ、何處ニ基準ヲ求メテ統制ヲナサラントスルノカ、其ノ基準ガ斯ウ區々デハ國民ハ判斷ニ苦シム、生活上非常ニ重大ナ問題ダト思フノデスガ、其ノ基準ヲ何處ニ置カレルカ、ソレヲ示シテ戴キタイ、ソレカラ輸入ガ止ツテ物資ハ少クナル、サウシテ此ノ戰時狀態ガ續クベ續ク程物資ハ不足ヲスル、物資ガ不足スレバ益、物價ガ騰貴スルノハ當然ナコトデ、是ハ抑制策モ從來ノヤウナコトデハ效果ハ擧ゲラレナイ、之ニ對シテ經濟警察ガ活動サレルト云フコトデアリマスガ、之ニ對シテモモツトヨリ以上ノ活動ヲ經濟警察ガナサルノデアルカ、ドウ云フ方策デ之ヲ抑壓ナサルノデアルカ、抑壓スルトスレバ、全體の物價ノ抑壓デアルカ、選擇的抑壓デアルカ、此ノ三ツノ點ニ付テ承リタイ

○道家委員 モウ是デ私ハ打切りマスガ、サツキ貿易ヤ其ノ他ニ最モ關聯ノアル物價

ガ、此ノ物價引下ノ水準ト云フモノハ、中是ハ難カシウゴザイマスガ、併シナガラ昨年來物價委員會ニ於テヤツテ居リマスノハ、物價ノ水準ヲ戰前、即チ一昨年ノ五月、六月時分ノ程度マデ引下ゲタイ、斯ウ云フコトヲ目標ニシテ居リマスガ、併シナガラ其處マデ下ゲルコトガ、今日ノ情勢ニ於テ無理ダト思フ物ハ、其處マデ引下ゲテ居リマセヌ、物ニ依ツテハサウ云フヤウナ物モアリマスガ、其處マデ行ツテ居ナイ物モゴザイマス、ガ出來ルダケ物價ノ水準ヲ引下ゲタイ、斯ウ云フ意思デ政府ハヤツテ居ル譯デゴザイマス、ソレカラ輸入ガ少クナツテ來ルカラ、今後物價ノ抑制引下ト云フコトニ付テハ、モウ一層骨ヲ折ラナケレバイカヌヂヤナイカ、斯ウ云フ御尋ニ對シマテハ、ソレハ全く御同感デゴザイマス、品物ガ少ク相成ツテ來ルカラト云ツテ、此ノ際其ノ物價ガ上ツテ宜シイト云フ譯デヤゴザイマセヌ、品物ハ少クトモ物價ハ安イト云フコトニシテ行カナケレバイカヌノデアリマスルカラ、物價ノ抑制ト云ヒマスガ、引下ト云ヒマスガ、此ノ方面ニ向ツテ、更ニ一層ノ強力ヲ必要トスルト思フノデアリマス、ソレカラ經濟警察ノ問題ヲ御答スルノハ如何カト思ヒマスガ、併シナガラ經濟警察問題、勿論

○石渡國務大臣 物價ノ引下ノ水準ヲ一體

是ハ必要ニ應ジテ活動ヲスルモノダト思ヒマス

○道家委員 伊太利ノ「ムッソリニ」ガヤツタヤウナ全體の引下ヲナサルノデアルカ、選擇の引下ヲナサルノデアルカ、其ノ點ヲ御尋致シマス

○石渡國務大臣 物價ニ付キマシテハ、輸入シテ來ル或ル一、二ノ品物ニ付テ引下ゲルト云フコトデヤゴザイマセヌ、主トシテ生活上緊密ノ關係ノアル物、産業上最モ緊密ノ關係ノアル物、サウ云フ物ヲ目標ニシマシテ、昨年來主トシテ引下ヲヤツテ居ル次第デアリマス、サウスルトアナタノ仰シヤル選擇のト云フ言葉ヨリハ、寧ロ一般的引下ト申シタ方宜イカト存ジマス

○道家委員 私ノ質問ハ是デ打切りマス

○板谷委員長 是ニテ大藏省關係ノ質疑ハ大體終了シタト見テ差支アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○板谷委員長 御異議ナシト認メマス、商工大臣ガ才出デニナルサウデアリマスカラ、御著席ノ儘御待チテ願ヒマス——ソレデハ商工大臣ガ才見エニナリマシタカラ、此ノ際坂本君ニ發言ヲ許シマス

○坂本委員 私ノ質問ハ極メテ要點ヲ搔摘ミマシテ御同致シタイト存ジマス、今回ノ

事變ニ際シマシテ、軍需産業ハ非常ニ股賑ヲ極メテ居リマスコトハ、是ハ一般ニ認メテ居ル所デアリマス、其ノ反對ニ平和産業ガ非常ナル不振ニ陥リマシテ、犠牲ヲ拂ツテ居ルノデアリマス、此ノ儘ニ打棄テテ行キマスト云フト、是等産業ハ全ク跡ヲ絶ツカト云フ風ニ憂ヘルモノデゴザイマス、御承知ノ通り我國ノ平和産業ノ中、中小工業ガ最モ多イノデアリマシテ、是等ノ八割ヲ占メテ居ルノデアリマス、此ノ我國ノ産業中ノ中小工業ト云フモノハ、非常ニ特徴ヲ持ツテ居リマシテ、ソコニ外國ノ追從ヲ許サナイ或ル物ガアルノデアリマス、是等中小工業ノ特徴ヲ從來ノ輸出ニ對シマシテ非常ナル貢獻ヲナシテ居ルノデアリマス、今日マデノ中小工業ガ輸出ノ上ニ盡シマシタコトハ非常ニ多イモノデアリマシテ、是ハ相當ニ認メナケレバナラス、又今後ニ於キマシテモ、之ヲ相當ニ助長シテ行カナケレバナラスト、斯様ニ考ヘルノデアリマスガ、政府ノ此ノ點ニ付キマシテノ御考ハ如何デゴザイマスカ、御同致シマス

○八田國務大臣 只今ノ御尋ハ私モ全く同感ニ存ジテ居リマス、即チ日本ノ過去ニ於ケル所ノ輸出産業ノ中心トシテノ大部分ト云フモノハ、全ク所謂中小工業者ノ手ニ依

ツテ、是ガ形作ラレテ今日マデ來タト思フノデアリマス、隨ヒマシテ、其ノ中デモ特ニ日本固有ノ中小工業ニ付テハ、今後物資ノ統制等ニ關聯致シマシテ、相當窮屈デアリマセウケレドモ、出來ルダケノ手段ヲ盡シマシテ、ソレ等ノ事業ヲ最少限度ニ維持スルト云フコトハ、洵ニ必要ナコトデアルト思ヒマス、商工當局ニ於キマシテモ、全ク其ノ考ヲ以テ今日マデ來テ居リマスガ、今後ニ於キマシテモ一層此ノ點ニハ力ヲ致シタイト存ジテ居リマス、唯日本ダケデ生産力擴充ヲヤツテ居ルノデハナク、日滿支全體ヲ打ツテ一丸トスル有無相通ズル所ノ計畫デアリマスガ故ニ、私ハ或ル期間ヲ忍ベバ、ソコニ十分是等ノ所謂御指摘ノ産業ヲ維持シテ行キ、更ニ將來新シク是等ノ産業ノ繁榮ヲ圖ルコトモ不可能デハナイト考ヘテ居ルノデアリマス

○坂本委員 政府ハ輸出ノ振興ニ付キマシテハ、盛ニ之ヲ獎勵ヲ致シテ居リマスカラ、ニ見受ケテ居リマスケレドモ、其ノ實績ガ洵ニ遲々トシテ上ラナイノデアリマス、是ハ私ノ考ト致シマシテハ、其ノ根本ヲ十分ニ御研究ニナラナイ結果デアリ、又同時ニソレヲ御存ジニナリマシテモ、實際ニ於テ其ノ方途ヲ事實ニ講ゼラレナイト云フ結果デア

アラウト思フノデアリマス、私ノ考デハ、主ナル原因ト致シマシテハ、先ヅ日貨排斥ノ根本ヲ改メテ行カナケレバナラスト思フノデアリマス、是ハ外交其ノ他ニ付キマシテノ範圍ニ屬スルコトト思ヒマスケレドモ、ソレ等ガ根本カラ改メラレナイ限りハ、到底困難ナコトト思フノデアリマス、尙ホ「コスト」ノ高イコトデアリマス、只今ノ輸出品ニ對シマスル「コスト」ガ非常ニ高クナツテ居リマス、我國ノ輸出品ハ安イ爲ニ、海外ノ市場ヲ確保致シテ今日マデ參ツタノデアリマス、ソレガ高イト云フコトニナツテ居ルノデアリマスカラ、之ヲモウ少シ引下ゲテ行クノデナケレバ、到底輸出ノ振興ト云フコトハ覺東ナイト思フノデアリマス、之ニ付キマシテハ勞銀ノ暴騰トカ、或ハ最モ私ノ政府ノ御方針トシテ欠陥ト思ヒマスル點ハ、輸出品ノ原料ヲ輸入ニ仰イデ居ルコトデアリマス、是等ガ極メテ極端ナル輸入制限ヲ取ラレテ居リマスノデ、其ノ原料ノ不足ヲ生ジテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ輸出ノ原料ハ茲ニ相當ナル輸入ヲ仰ギマシテ、サウシテ之ヲ加工シ、以テ輸出ヲスルト云フコトノ方策ヲ執ラナケレバナラナイト思フノデゴザイマス、是等ノ點ニ付キマシテ政府ノ御方針ハ如何デゴザイマ

第六類第一號 昭和十四年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外二件委員會議錄 第七回 昭和十四年二月八日 三五

スカ御伺致シマス

○八田國務大臣 輸出増進ニ對シマシテ、マダガノ入レ方十分デナイ、或ハ又輸出品ノ「コスト」ガ高イト云フコトモ、私共認メ得ルノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテハ、十分ニ努力ヲ致サナケレバナラナイト考ヘルノデアリマス、尙ホ輸出ノ原料ヲ輸入ニ仰グ、其ノ輸入ノ方面ガ兎角十分デナイカラ、輸出ト云フモノガ増進セヌノデアルト云フ點ハ、御話ノ如クデアルト思ヒマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、物動計畫等ノ關係カラシテ、輸入力ト云フモノガ或ル程度ニ制限サレテ居リマスノデ、必ズシモ理想的ニハ行カヌト思ヒマスガ、其ノ點ニ付キマシテ若シ御必要ガアリマスレバ、政府委員カラ御答申上ゲタラドウカト思ヒマスガ、大體左様ナ風ニ御答申上ゲテ置キマス

ナツテ居リマスル限度ヲ越エテ、之ヲ御改メニナリマシテ、サウシテ輸出ノ原料タル輸入ヲ相當ニ増大シテ行クト云フコトガ、結局有利ナ點ト思フノデアリマスガ、之ニ付キマシテハ、ドウシテモ從來ノ方法ヲ改メルトガ出來ナイト云フ御考デアリマスカ御伺シマス

ト思ヒマスガ、如何デアリマセウカ
○坂本委員 御伺シタイト思ヒマス
○竹内政府委員 大臣ノ御答辯デ殆ド盡キテ居ルト思ヒマスガ、私共モ今現在ノ物資調整デ一番難澁ヲシテ居リマスルノハ、外國カラ買フ金ノ問題デアリマス、隨テドウシテモ此處デ輸出ヲ増進シマスコトハ軍需品ヲ補給スル爲ニモ第一ニ必要ナコトダト思フノデゴザイマス、今特ニ輸入シマス原料ノ問題ニ付テノ御尋デゴザイマスガ、物動計畫實ニ當初ニ於キマシテハ、多少圓滑ヲ缺イテ居ツタモノガアルノデゴザイマス、ソレハ十分私共モ認メテ居リマス、今日物動計畫ガ大體整頓ヲ致シマシタノデ、輸出品ノ原料ニナリマス物ハ、出來マスナラバ無條件ニ之ヲ輸入シタイノデゴザイマス、唯只今大臣カラモ御答ガアリマシタ通り、一定ノ時期ニ於キマシテハ、爲替資金ノ關係上、是

同ニモ利用サレルト云フヤウニナリマスレバ、二億圓、三億圓モノ輸入ヲシタト同ジコトニナル譯デアリマス、マアヤリ方トシテハ大體サウツタ氣持デヤツテ居リマス、ソレカラ「リンク」制ノ問題デアリマスガ、是モヤツテ見マシテ、色々改善ヲシナケレバナラヌ點ヲ發見ヲ致シマシテ、大體見据エノ付キマシタモノハ、是モ改善ヲ致シテ居リマス、今後又事態ノ推移ニ依リマシテ、改善スベキモノニ付キマシテ成案ヲ得マシタナラバ、是モ即刻改メルトニシテ行ク心持デヤツテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、特ニ今取立テテ輸入原料ノ配給ニ付テ、今日ヤツテ居リマスルコトト異ツタ方法ト云フ具體的ノモノモゴザイマセヌケレドモ、心持ハサウ云フヤウナ心持デ、御趣意ニ副フヤウニ努力シテ行ク積リデアリマス

○坂本委員 只今ノ大臣ノ御答デアリマスガ、是ハ例ヘバ羊毛等ニ付キマシテモ左様デアリマス、又人絹ノ「バルプ」等ニ付キマシテモ、サウデアラウト思フノデアリマス、極端ナル制限ガアルノデ、ヤハリソレニ伴ヒマスル輸出モ、「コスト」ヲ引下ゲルコトガ出來ナイト云フコトニナツテ居ルノデアリマシテ、是ハドウシテモ從來カラ御定メニ

必要ガアリマスレバ、政府委員ヨリ御答申上ゲマスガ、簡單ニ御答申上ゲマスルナラバ、ドウセ輸出ニナルモノナラバ、原料ノ輸入ヲドシ〜ヤツタラ宜イデハナイカト云フ御意見ダラウト思フノデアリマス、ソレハ其ノ通りナノデアリマスガ、輸出ヲスル時ニ當リ、輸出シテソレガ外貨獲得ニナリマスノト、輸入ニ對シマシテ爲替資金ヲ出ス時トハ時期ガ違ヒマスノデ、其ノ間ニアル——詰リ何ト言ヒマスカ、資金繰リノ關係上、ヤハリ或ル程度ノ限度ガ生ズルダラウト思ヒマスガ、其ノ限度ノ差支ナイ限リニ於テハ、當然御話ノ通り最善ヲ盡スベキモノデアラウト存ジマス、而シテ之ニ對シマシテハ、御承知ノ「リンク」制或ハ其ノ他ノ制度ガ開カレテ居ルコトモ御承知ノ通りデアリマス、尙ホ私ノ御答ハ簡單デアリマスカラ、政府委員カラ御答申上ゲタラ宜イ

期ニ於キマシテハ、爲替資金ノ關係上、是ダケノ物ノ輸入ヲ許セバ、ソレダケノ物ガ後日輸出ニナルノダト云フコトガ、極メテ明瞭デアリマシテモ、其ノ餘裕ガナイト云フノガ實ハ今日ノ現状デゴザイマス、之ニ對シマシテ御承知ノ爲替基金ガ設定サレテ居リマスノデ、出來ルダケアレヲ利用スルコトニ致シマシテ、假ニ一億圓ノ輸入ヲシマスルナラバ、一年ノ中ニソレガ二回ニモ三

○坂本委員 次ニ御伺致シマスルノハ、内地向平和産業ノ統制ニ關シテデゴザイマスルガ、時局下ニ於キマスル此ノ統制ハ、全ク已ムヲ得ナイコトトハ存ジマスケレドモ、其ノ統制タルヤ洵ニ跛行ノ事實見テ居ルノデアリマス、尙ホ一面闇相場ト申シマスカ、斯ウ云フコトガ價格ガ公定セラレテ居ルニモ拘リマセズ、實際ニ於テ行ハレ

テ居ル、殊ニ小資本ノ工業家ニ對シマシテハ、サウ云フコトガ實ニ餘儀ナクサレテ居ルノデアリマシテ、原料ノ獲得其ノ他ニ付キマシテハ、實ニ氣ノ毒ナ状態ニナツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ方面ニ付キマシテハ、是ハ内務省關係ノ方面カモ存ジマセヌガ、經濟警察ノ活動、取締ト云フヤウナコトヲ十分ニヤツテ戴キマシテ、サウシテ闇相場ト云フ風ナモノ、又跋行的統制ト云フヤウナモノニ付キマシテ、十分ニ御取締ヲナサル御考ハアリマス御伺シマス

○八田國務大臣 闇相場等ニ付キマシテモ十分取締積リデ居リマス、最近モ段々サウ云フ聲ヲ聞キマスルノデ、又府縣廳等ニモ特ニ其ノ通牒ヲ致シマシテ、此ノ點ヲ警戒致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、尙ホ他ノ殷賑産業ト一般平和産業トノ關係ニ付キマシテモ、十分其ノ跋行状態ヲ是正スルコトニ付キマシテハ、今後トモ十分力ヲ致シタイト思ツテ居リマス

○坂本委員 此ノ統制ノ結果ト致シマシテ、地方ニ失業或ハ離職者ガ多數出テ居リマスルガ、斯ウ云フ方面ニ付キマシテノ轉業ト云フヤウナコトニ付キマシテハ、地方デハソレ等ノ世話ヲ餘リ能ク焼カナイノデアリマス、斯ウ云フコトヲ面倒ト思ヒマシテカ、

中々速ニ之ヲ世話ヲシナイト云フ状態ガ事實デゴザイマス、斯ウ云フ方面ニ付テ當局トシマシテハ、今後統制ニ付テ幾分緩和ノ意思ガゴザイマス、又此ノ統制ハ今後益々強化ヲ致シマス、又此ノ統制ガ何時頃マデ繼續シマス、ソレ等ニ付キマシテノ御意見ヲ拜聽致シタイト、尙此ノ統制ノ結果、平和産業ガ非常ニ衰退ヲ來シマスガ、民力ノ衰退等ニ付キマシテハ何カ御考ガアリマス、其ノ點ヲ御伺致シマス

○八田國務大臣 現在日本ノ情勢ガ戰時状態ニアリ、然モ將來ノ重要産業ノ自給自足ヲ期シテ、生産力擴充ノ計畫ヲ遂行シテ参リマスル以上、ドウシマシテモ、通俗的ニ謂フ所ノ統制ハ今後強化サレルト考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、今日問題ニナツテ居リマスルノハ、唯其ノ方法ガ十分デナイガ爲ニ、色々トソコニ摩擦等ガ起ルノデ、隨分御迷惑ヲ掛ケテ居ル點ガアルダラウト思ヒマス、此ノ點ハ出來ルダケ其ノ缺點ヲ除去シテ進マナケレバナラヌト思ツテ居リマス、ソレカラ平和産業ノ可ナリノ部分ト云フモノガ、ヤハリ他ノ重工業或ハ大工業、或ハ輸出産業ト云フモノニ轉向致シテ参リマスル以上、形ハ違ヒマスルケレドモ、將來ニ於テ一般國民ノ生活安定ト云フ

コトヲ夫フコトハ絶対ニナイト私共ハ考ヘテ居リマス、又生活ノ不安定ト云フヤウナコトガ生ジテハ、是ハ由々シキ大事デアリマス、轉業ト云フコトハ起リマスルケレドモ、一般産業者ノ生活ノ安定ヲ缺クト云フコトハ絶対ニアラセテハナラヌ、斯ウ云フ決心ヲ以テ進ンデ居リマス、即チ之ヲ何ト申シマス、軍隊デ申シマスレバ縦ニ進ンデ居ツタモノガ横ニ展開スルト云フ間ノ、或ル程度ノ犠牲ト申シマス、サウ云フモノハアリ得ルノデアリマス、併シナガラチヤントソレガ整頓シマスレバ、其ノ新シキ經濟體制ニ於テ所謂總テ處ヲ得テ進ムト云フコトニ相成ルノガ理想デアアルカト考ヘマス

○坂本委員 我國ノ輸出品中ノ大宗ヲナシテ居リマスル生絲デゴザイマス、是ガ過去三四年間ノ統計ヲ見マス、年々減少シツツアルノデアリマス、然ル所只今ニ於キマシテハ多クノ織物纖維ガ統制ヲ受ケマシテ、内需ニハ之ヲ禁制セラレテ居ルト云フヤウナ場合デアリマス、唯獨リ「シルク」ダケガ統制國外ニアルノデアリマシテ、目下非常ニ内需ヲ増加致シテ居リマス、又只今外國方面ノ買焦リ等モ加ハリマシテ、本日本タリノ新聞ヲ見マス、既ニ九百五六十圓

ト云フ相場ガ出テ居ルノデアリマス、斯ウ云フ場合ニ於キマシテ政府ハ之ニ對シマシテノ最高價格ニ付キマシテ何カ御考ガゴザイマス、ソレカラ又養蠶等ニ付キマシテ増産ノ計畫ヲ御考ニナツテ居ラレマス、ウカ、此ノ點ニ付キマシテ御伺致シタイト思ヒマス、是ハ農林省ノ管轄ニナルカモ知レマセヌガ、御差支ナケレバ御回答願ヒタイト思ヒマス、増産ノ計畫ヲ立テラレルトシマス、支那方面デハ目下非常ニ蠶絲ノ勞銀ガ安イ關係カ、其ノ他色々アリマセウ、肥料等ノ關係モゴザイマセウガ、大變安ク出來ルト云フコトニナツテ居リマス、是等ニ對シマシテノ御考ハ如何デゴザイマセウカ、以上御伺致シマス

○八田國務大臣 生絲ノ問題ハ是ハ農林省所管デアリマス、私ヨリ御答致シマスコトハ差控ヘタイト思ヒマス、唯御話ノ中ニアリマシタ所ノ統制品外ノモノガ、色々ノ事情カラ内國ニ需要ガ旺盛デアツテ、是ガ非常ニ物價ヲ昂騰セシメテ居ルト云フコトハ、是ハ餘程考ヘナケレバナラヌ問題ダト思ヒマス、即チ他ノ統制サレテ居ル物價トノ關係モアリマス、是ハ一般問題トシテ十分ニ考慮シナケレバナラヌ問題ダト考ヘテ居リマス、之ニ對シテ如何ナル

對策ヲ執ルカト云フコトニ付テハ、只今成案ヲ持ツテハ居リマセヌガ、相當注意ヲシナケレバナラヌ問題デアルト云フコトダケハ考ヘテ居ル次第デアリマス

○坂本委員 只今ノ御答デ大體ニ於キマシテハ想像ガ付キマスガ、今少シク明確ニ御伺シタイ點ハ、絹ニ付キマシテモ統制ヲナサル御考ガゴザイマスカ、其ノ點ヲ御伺致シマス

○竹内政府委員 絹ニ付テノ統制ト云フノハ主トシテ價格ノ點ヲ中心ニシテノ御尋カト實ハ存ジマスガ、絹織物ノ價格統制ト云フコトハ色々見方ガ實ハアルダラウト思フノデアリマス、從來ハ生活ノ必需品竝ニ生産資材ト云フヤウナ方面ニ重點ヲ置イテ參ツテ居リマス、サウ云フ意味カラ申シマスト絹ノ關係ハ第二段トシテ考ヘラルベキ順序ノモノデアラウト思フノデアリマス、併シナガラ段々時局ガ新シイ段階ニナリマシテ、殊ニ是ハ長期ト云フコトヲ覺悟シナケレバナラヌト云フコトニナリマス、一

般的ニ物價問題トシテ絹モ此ノ考慮ノ外ニアツテハナラナイノデアリカト云フ風ニ私共考ヘテ居ルノデアリマス、殊ニ只今御話ノヤウニ若シ是ガ輸出品ノ價格ニ影響ガアルト云フヤウナ事態デゴザイマス

ナラバ、是ハドウシテモ取上ゲテ考ヘナケレバナラヌコトデアルノハ、是ハ申上ゲルマデモナイノデアリマス、具體的ニ絹織物ノ價格ヲ例ヘバ公定スルカドウカト云フ問題ニ付キマシテハ、是ハ商工省内ノ物價委員會等トモ能ク連絡ヲ執リマシテ、大局カラ考ヘテ行カナケレバナラヌ問題デアルト心得テ居リマス

○坂本委員 只今ノ御答ヲ伺ヒマスルト、當分絹ニ對シテハ統制ヲセヌ、近キ將來ニ於テハ統制ハシナイト云フ風ニ承知シテ宜シウゴザイマスカ

○竹内政府委員 サウ云フ風ニ御斷定下サツテモ、實ハ私ノ御答申上ゲタ趣旨トハ少シ違フノデゴザイマス、只今申上ゲマシタヤウニ、物ノ考ヘ方ノ順序ヲ申上ゲタノデゴザイマス、物價問題ヲ第一段ニ取上ゲマシタ時代トハ、少シク事情ガ違ツテ來テ居ル、隨テ之ヲ其ノ當時ノ考デヤリマス、サウ云フ方面ニハ手ガ伸ビナイト云フ結論ニナルノデアリマシテ、今日ハサウ云フ譯ニハ行カナクナツテ來テ居ル、事情ガ餘程違ツテ來テ居ルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、隨ヒマシテ當分ハヤラスノダト云フ風ニ御考下サイマスコトハ、私ノ申上ゲル言葉ガ足ラナイノデゴザイマセウカ、

實ハ趣旨ニ反スルノデゴザイマス、ト言ツテ直グ今ヤルノカト御尋ヲ受ケマシテモ、甚ダ當惑スルノデゴザイマシテ、今後ノ事態ノ推移ニ依リマシテハ、ドウシテモヤラナケレバナラヌ時期ガ或ハ來ルカモ知レナイ、斯ウ云フコトト御承知ヲ願ヒタイノデゴザイマス

○坂本委員 私人質問ハ之ヲ以テ打切りマス

○板谷委員長 塚本君ドウデスカ、商工大臣ニ對スル御質問ハ宜シウゴザイマスカ——松田正一君ヨリ商工大臣ニ對スル質疑ノ通告ガアルノデスカ、御席ニ見エマセヌ、非常ニ遺憾ニ考ヘルノデアリマス、此ノ委員會ニ付託サレマシタ中ニ、北海道拓殖銀行法中改正法律案ヲ除キタル殘リノ各案ニ對スル質疑ハ、大體ニ於テ終了シタモノト看做シテ差支アリマセヌカ

○松尾委員 一寸モウ一點伺ヒタイと思ヒマス

○板谷委員長 松尾君

○松尾委員 商工大臣ハ鐵道省ニ永イ間居ラレマシテ、能ク御精通ニナツテ居ルコトト思ヒマスガ、鐵道ノ廢物ガ、相當吾々ガ旅行シテ目ニ付クノデアリマス、アア云フモノハ今後物資不足ノ際ニ、同一官廳ノ關

係デゴザイマスカラ、生産擴充ノ方面ニ廻サレレバ相當多額ノモノガアルと思フ、大阪驛ノ附近ヲ見マス、城東線ナドノ新設ノ爲ニ、淀川ニ架ツタ鐵橋ガ古クナツテ、其ノ儘アル、「レール」モズツト其ノ儘ニ殘ツテ、其ノ「レール」ノ上ニ家ヲ建ツテ居ル、實ニ勿體ナイコトデスカ、アア云フ物ガ此ノ物資不足ノ際ニ鐵道省デ必要ガナケレバ——今日鑛山、石炭山等ノ鑛業ニハ相當「レール」ガ不足シテ、非常ニ高價ニナツテ困ツテ居ル、通ツテ唯一目見タダケノ感ジデスカ、是ハ相當多量ナモノガアルト云フコトガ私ハ窺ハレルノデアリマス、之ヲ此ノ際ニ何カ利用サレルヤウナ御考ハアリマセヌカ、一寸伺ヒマス

○八田國務大臣 廢品ト申シマスカ、餘剩ノ物資ヲ回收スルト云フコトハ、現下商工省ニ於テ物資ノ問題トシテ重要ナル一ツノ任務ニ相成ツテ居ルノデアリマス、之ニ付テハ既ニ相當ノ成案ヲ得テ、近ク是ガ實行ニ移ラントシツツアルト承知致シテ居ルノデアリマス、就キマシテハ一般民間ノ方面ニ之ヲ宣傳致シマシテ、其ノ成績ヲ擧ゲマスト同時ニ、官廳方面ニ於キマシテモ十分ナル協力ヲ願ヒマシテ、國家ニ所要ナル資材ニ付キマシテハ、眠ツテ居ル資材ヲ有用

化シタイト考へテ居リマス、只今ノ御注意
ハ有難ク拜承シテ置ク次第デアリマス

○板谷委員長 宜シウゴザイマスカ——改
メテ申上げマス、此ノ委員會ニ付記サレマ
シタル議案ノ中ノ、北海道拓殖銀行法中改
正法律案ヲ除イタル各案ニ對スル質疑ハ大
體ニ於テ終了シタト看做シテ差支アリマセ
ヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○板谷委員長 御異議ナシト認メマス、ソ
コデ明日ハ御承知ノ通り豫算ノ決定ノ爲ニ
休ムコトニナツテ居リマス、明後十日午前
十時カラ開會ヲ致シマシテ、其ノ際松田正
一君ノ商工大臣ニ對スル質疑ヲ、幸ニ都合
ガ出來マシタナラバ御許シスルコトニシタイ、
尙ホ厚生大臣ニ對スル塚本君ノ質疑ガアリ
マスカラ、是モ若シ都合ガ出來マシタナラ
バ、簡單ナ御質問デアレバ御許シスルコト
ニシテ、ソレノ黨議ノ御關係モアリマセ
ウガ、出來ルナラバ十日ニ討論ヲ行ツテ、
採決ニ入リタイト考ヘルノデアリマス、其
ノ旨御承知ヲ願ツテ置キタイト思フノデア
リマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後五時三十六分散會

第六類第一號 昭和十四年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外二件委員會會議錄 第七回 昭和十四年二月八日

四〇

昭和十四年二月九日印刷

昭和十四年二月九日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局